

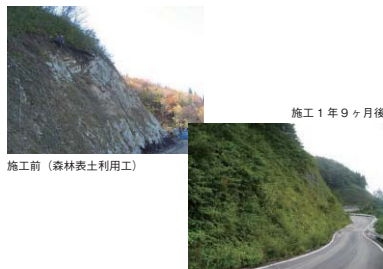
技術番号 001 ブース番号 A-01 NETIS: KT-040082-A タフグリーン工法

復旧・復興

技術番号 001 ブース番号 A-01

国土防災技術株式会社

荒廃地の潜在植生を復元する緑化工法



タフグリーン工法は、保肥・保水機能の高い「腐植土」を使用した植生基盤に「特殊短繊維」を混入し斜面に吹き付け、その上から「土壌侵食防止マット」を敷設する工法です。腐植土と土壌侵食防止マットの効果により、保肥性の高い基盤材を長期的に維持することができるため、急速緑化を必要とせず、生長の遅い在来木本種や郷土種による植生復元が可能となります。

●部署：国土防災技術株式会社 事業本部 緑環境事業部 ●TEL：03-3432-3567 ●FAX：03-3432-3576
●URL：http://www.jce.co.jp/ ●営業時間：9:00～17:00

担当者：田中賢治、田中 淳、井野友彰、森 千夏

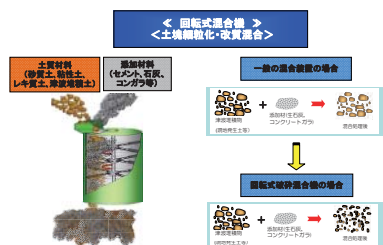
技術番号 002 ブース番号 A-02 NETIS: KT-090048-V 回転式破碎混合機による震災廃棄物有効活用

復旧・復興

技術番号 002 ブース番号 A-02

日本国土開発株式会社

処理困難な土砂から不純物を取り除き、均質に攪拌・混合され盛土に適した復興資材に改質できる工法です。



回転式破碎混合工法は、円筒内で高速回転する複数本のフレキシブルなチェーンの打撃力で、材料を破碎・細粒化（解砕）すると共に、添加材料を均一に分散させることにより破碎と混合とを同時に行うことが可能な工法です。回転式破碎混合工法を用いることで、ガレキの混入する津波堆積物や高含水比粘性土など通常では処理困難な土砂を団粒化させずに解きほぐして土砂とガレキを分離し効率よく分別することができます。また、必要に応じてコンクリートガラや土壌改良材、土壌浄化剤（不溶化）等を添加、混合処理することで復興資材としての活用が可能となります。

施工実績 セツ浜町農地災害廃棄物撤去（その4）工事
釜石市災害廃棄物処理事業（混合廃棄物処理）津波堆積物改質処理

●部署：日本国土開発株式会社 土木本部 土木部/日本国土開発株式会社 東北支店 土木部 ●TEL：本社 03-3403-3311 東北支店 022-262-2105
●FAX：022-268-0722 ●URL：http://www.n-kokudo.co.jp/soil_environment/index.html ●営業時間：8:30～17:00

担当者：本社土木本部 大坪研二
東北支店土木部 山本 仁

技術番号 003 ブース番号 A-03 Passive Wall 透湿外断熱システム

復旧・復興

技術番号 003 ブース番号 A-03

NOHARA 野原産業株式会社

外断熱は躯体の外側に断熱層を設けるため外気の寒暖から守れると同時に躯体の蓄熱効果を利用することによって建物の温度変動が小さくなり快適な環境を保てます。



パッシブウォールは熱伝導率の経年変化が小さく透湿性があるビーズ法発泡ポリスチレン断熱材を基材とした耐久性・意匠性に優れた高品質な外断熱システムです。コストパフォーマンスにおいても欧米の透湿理論・システムに基づいて国内で研究開発を行い、国産化した商品で材料・物流に対して最適なご提案が可能です。躯体の蓄熱性を利用して冷暖房費が削減され、熱伸縮低減によるクラックの減少と中性化進行を抑制し建物の長寿命化を図ることができます。

施工実績 柴田町立槻木中学校 青森県立中央病院 六ヶ所村立尾駸小学校 小川原湖交流センター
大仙市立協和小学校 五城目町立五城目第一中学校

●部署：野原産業株式会社 東北復興対策本部 ●TEL：022-782-3802 ●FAX：022-782-3805
●URL：http://www.nohara-inc.co.jp ●営業時間：9:00～18:00

担当者：佐々木克好、齋藤 浩

技術番号 004 ブース番号 A-03 環境建材

復旧・復興

技術番号 004 ブース番号 A-03

NOHARA 野原産業株式会社

東日本大震災による津波被害木などから再生したエクステリア建材です。



復興再生ウッドは復旧、復興を目指して生まれた100%リサイクル材を主原料とした木材・プラスチック再生複合材です。腐らない・害虫に侵されないという高い耐久性をベースに、人に優しい天然木の風合いを長期間維持する事が可能です。また、こうした特性を活かし、デッキ材・ルーバー材・エクステリア材等、幅広い利用が期待できます。

●部署：野原産業株式会社 東北復興対策本部 ●TEL：022-782-3802 ●FAX：022-782-3805
●URL：http://www.nohara-inc.co.jp ●営業時間：9:00～18:00

担当者：佐々木克好、齋藤 浩

技術番号 プース番号 NETIS : CB-980093-V

005

A-04

地山補強土「PAN WALL工法」

復旧・復興

技術番号 プース番号

005

A-04

PAN WALL工法 PAN WALL工法協会
CAB WALL工法 CAB WALL工法研究会


福島NEXCO白河 PAN WALL

表面工にプレキャストパネルを使用、安全な逆巻き施工によりスピーディーに急勾配斜面を築造、既設補強にも威力を発揮

PAN WALL工法は、地山補強土工法の理論に基づく斜面安定技術です。表面工にプレキャストコンクリートパネルを使用、急勾配化（垂直～5分）により改変面積を最少化、段階的な「逆巻き施工」を基本とした安全性の高い工法です。

さらに、ブロック積み擁壁などの既設構造物の補強や、耐震・防災にも威力を発揮し、復旧・復興に貢献できる最新の地盤工学技術です。これまでの施工実績は全国に550件以上、施工面積は16万㎡以上です。

施工実績 国土交通省東北地方整備局はじめ県市町に50件以上（全国の実績550件以上）

●部署：矢作建設工業株式会社東北支店
●URL：www.panwall.jp

●TEL：022-268-5241 ●FAX：022-268-2255
●営業時間：8:30～17:00

担当者：大塚 毅

技術番号 プース番号
006 A-04

CAB WALL工法

復旧・復興

技術番号 プース番号
006 A-04

PAN WALL工法 PAN WALL工法協会
CAB WALL工法 CAB WALL工法研究会

「地山」と「盛土」を一体的な構造物とする、切土・盛土複合補強土壁工法

CAB WALL工法は、従来の地山補強土技術と盛土補強土壁の技術を複合し、道路拡幅工事や谷あいの道路新設工事等に活用できる「複合補強土壁」です。従来の道路拡幅工事は、交通規制（通行止め）や軽量盛土などで対応していたが、本工法は、改変断面面積を小さくして交通規制を縮小する、現地発生土を有効利用する等、環境負荷の低減や利用者負荷の低減にも貢献できる工法です。

施工実績 岩手県県土整備工事

●部署：矢作建設工業株式会社東北支店
●営業時間：8:30～17:00

●TEL：022-268-5241 ●FAX：022-268-2255

担当者：大塚 毅

技術番号 プース番号
007 A-05

土を固めるセメント系固化材

復旧・復興

技術番号 プース番号
007 A-05

一般社団法人セメント協会

土を固めるセメント系固化材


セメントメーカー各社が「土を固める」材料（地盤改良材）としてセメント系固化材の生産・販売を開始して約40年が経過しました。この間、需要は着実に伸長しており、近年では年間650万トンを超えるまでになりました。

セメント系固化材はポルトランドセメントを母材（主材）に、固化に有効なさまざまな成分の添加、成分の調整によって製造しています。固化対象土は、従来は一般的な軟弱土が主でしたが、近年では建設発生土、高有機質土、泥土など多岐にわたっており、また、地盤改良工法の発展に伴い、浅層改良、深層改良などさまざまな地盤改良工法の分野で使用されています。このため、セメントメーカー各社は、一般軟弱土用、特殊土用などの汎用品や、高有機質土用、発塵抑制型など使用目的に応じるため、多品種の固化材を生産・販売しています。

施工実績 2011年度セメント系固化材販売数量 東北地区 65万トン（全国計 657万トン）

●部署：一般社団法人セメント協会 普及部門
●URL：http://www.jcassoc.or.jp/

●TEL：03-5200-5060 ●FAX：03-5200-5062
●営業時間：9:00～17:10

担当者：普及部門 小宮山

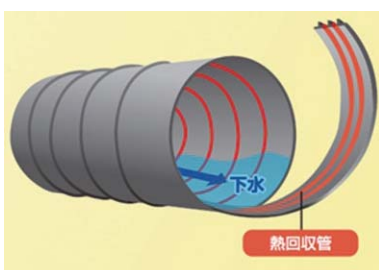
技術番号 プース番号
008 A-06

管更生 SPR 工法による下水熱利用システム

復旧・復興

技術番号 プース番号
008 A-06

SEKISUI 積水化学工業(株)

「管路内設置型下水熱回収・利用システム」


本システムは、未処理の下水が流れる下水管に、直接熱交換器を設置して下水熱を回収し、ヒートポンプを介して建物の空調（暖房・冷房）や給湯、道路融雪などに利用するシステムです。

下水の温度は外気に比べ冬季は温かく、夏季は低いため、外気利用よりも効率的にヒートポンプを運転することができます。

熱交換器の設置は需要が高まっている老朽管のリニューアル工事（更生工事）と同時に進めるため、設置コストも低く抑えることができます。

2012年度は大阪市海老江処理場をフィールドに実証を行い（B-DASHプロジェクト）環境性能に加え経済性についても一定の効果を確認しました。

●部署：積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー東北支店 東北営業所 管路更生グループ
●FAX：022-298-6047 ●URL：http://www.eslontimes.com/

●TEL：022-298-6043
●営業時間：9:00～17:30

担当者：久保、遠藤、平野

技術番号 009 プース番号 A-06 防災トイレシステム

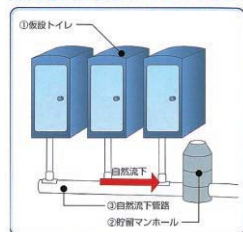
復旧・復興

技術番号 009 プース番号 A-06

SEKISUI 積水化学工業(株)

貯留機能を持たせた災害トイレシステムで被災住民の苦痛を緩和

防災貯留型仮設トイレシステム



積水化学の災害トイレは、阪神淡路大震災後、防災拠点を整備する神戸市と共同で開発を進め、実際の震災時に発生したトイレ問題の知見を生かした製品となっています。貯留機能を持つ貯留槽と、管路を学校等の避難所に設置します。貯留槽は既設の下水道本管に接続し、管路には5基トイレを設置が可能、500人規模に対応します。緊急時に、学校等に保管された組立トイレを設置し、プール等から水を汲み入れ貯留します。1回/日で弁を開閉させ、汚水を一気に下水道本管に流すことで、管路内への汚物滞留を防止し、臭気の発生も軽減します。下水道本管が損壊して放流できない時は、バキュームカー等での収集も可能です。

施工実績 岩手県矢巾町立矢巾中学校

●部署：積水化学工業(株) 環境・ライフラインカンパニー東日本支店 東北営業所 公共インフラグループ
●FAX：022-298-6047 ●URL：http://www.eslontimes.com/

●TEL：022-298-6043
●営業時間：9:00～17:30

担当者：遠藤、平野

技術番号 010 プース番号 A-06 FFU 軽量受圧板

復旧・復興

技術番号 010 プース番号 A-06

SEKISUI 積水化学工業(株)

塩害や酸性土壌に強く、狭隘な場所でも施工が簡単な地すべり防止用軽量耐食受圧板



FFU受圧板は、ガラス長繊維で強化された独立気泡を持つ樹脂発泡成形品です。天然木材とプラスチックのすぐれた長所と特長を兼ね備えた新素材で、強くても軽く耐食性にすぐれています。自由な着色で環境にマッチした美しい景観が得られ、カンタン施工で工期短縮が可能です。

施工実績 三陸道法面工事（河北地区）、日本海自動車道（神沢工区）、ニッ石ダム法面保護工事、鳴子温泉湯元急傾斜地崩壊対策工事、国道115号改築工事、胆沢ダム法面保護工事（石淵地区、本体）他多数

●部署：積水化学工業(株) 環境・ライフラインカンパニー東日本支店 東北営業所 公共インフラグループ
●FAX：022-298-6047 ●URL：http://www.eslontimes.com/

●TEL：022-298-6043
●営業時間：9:00～17:30

担当者：柴、古川

技術番号 011 プース番号 A-07 太陽電池式自発光誘導標識 セーフティブライト

復旧・復興

技術番号 011 プース番号 A-07

SEKISUI 積水樹脂株式会社

いつ何時訪れるかわからない自然災害に備え、面発光+太陽光発電により、昼夜を問わず避難誘導を明示します。



道路上に設置する無灯火の標識板は、車両であればヘッドライトによって標識の視認が可能です。歩行者の場合見やすいものではありません。太陽電池式自発光誘導標識は、交通規制標識にも採用されている太陽電池式面発光ですので、十分な日照が得られる場所ならば、商用電源工事や街路照明に頼ることなく、様々な場所に設置が可能です。「色彩・図形」を明瞭に表示できるので、文字情報だけでは伝えにくい「シンボルマーク」や「矢印」の表示も、昼間と同様に表現が可能であり、歩行者にも非常に見やすいものとなります。それにより、いつ何時訪れるかわからない自然災害時においても、昼夜を問わず避難誘導を明示できます。

●部署：積水樹脂株式会社 東北支店
●URL：http://www.sekisuijushi.co.jp/

●TEL：0224-58-7550 ●FAX：0224-56-5562
●営業時間：9:00～17:40

担当者：小川、横田

技術番号 012 プース番号 A-07 新型セパレート式ソーラー照明灯

復旧・復興

技術番号 012 プース番号 A-07

SEKISUI 積水樹脂株式会社

ソーラーパネルと発光部を分離し、日照条件の悪い山間部の避難路などでも利用可能な新型ソーラー照明灯。



東日本大震災以降、被災自治体に於いて避難誘導路、防災拠点へのソーラー照明灯設置計画が加速しています。三陸沿岸については、都市部背後の山間部へ誘導するための避難階段・スロープの設置が進みますが、リアス式海岸に伴う北斜面や覆い茂った草木により、日射量の確保が難しい箇所も多く、ソーラー照明灯の設置場所が限定されてしまいます。そこでソーラーパネルと発光部を分離し、日照条件の悪い山間部の避難路などでも利用可能な新型ソーラー照明灯を開発しました。灯具3分割により最大3基までの延長接続が可能であり、オプションで避難誘導サインの添加も可能であり、避難路整備に配慮しています。

●部署：積水樹脂株式会社 東北支店
●URL：http://www.sekisuijushi.co.jp/

●TEL：0224-58-7550 ●FAX：0224-56-5562
●営業時間：9:00～17:40

担当者：小川、横田

技術番号 013	ブース番号 A-07	面発光弾性ポール ポールコーンルミ	復旧・復興	技術番号 013	ブース番号 A-07
--------------------	----------------------	--------------------------	-------	--------------------	----------------------



積水樹脂株式会社



本体が面発光することで注意喚起し、かつ万が一車両が接触しても復元する面発光弾性ポールです。

車両、自転車、歩行者が接触しても柔軟に復元する太陽電池式点滅面発光弾性ポールです。横幅120mmの本体全体が夜間点滅発光することで光源を持たない自転車、歩行者に対し高い注意喚起効果があります。

また、ポール部には特殊ウレタン樹脂を採用しているのも万が一車両や人が接触しても傷つけにくく、柔軟に折れ曲がり復元します。

メンテナンスコストが削減できる簡易組立構造を採用しているので部材交換で補修が可能です。

●部署：積水樹脂株式会社 東北支店
●URL：http://www.sekisuijushi.co.jp/

●TEL：0224-58-7550
●営業時間：9:00～17:40

●FAX：0224-56-5562

担当者：小川、横田

技術番号 014	ブース番号 A-08	NETIS：HK-070001-V 真空吸引圧送浚渫工法	復旧・復興	技術番号 014	ブース番号 A-08
--------------------	----------------------	--	-------	--------------------	----------------------

株式会社 早水組



新しい浚渫技術による水質浄化

汚濁の発生を抑えた環境負荷軽減型の浚渫工法

真空吸引方式で直接汚泥を吸引する為、汚濁の発生が極めて少ないうえ、高性能真空発生装置と特殊吸引アタッチメントによる高含泥率での施工を実現。また管路による圧送方式の為、臭気等の発生を抑えた環境配慮型の工法である。システムも全て分割式なので、陸送運搬が可能であり、あらゆる水域で施工が出来る。アレンジ工法として浚渫船としてではなく、搭載されている上物システムだけを使用した汚泥除去も可能で幅広い用途に対応出来る工法である。

施工実績 青森県 下手浜地区（下手浜漁港）水域環境保全工事
福島県 会津若松市 ラグーン浚渫工事

●部署：土木本部 浚渫部
●URL：http://www.kk-hayamizu.co.jp

●TEL：0152-43-4551
●営業時間：8:30～17:50

●FAX：0152-45-2288

担当者：杉山、辻、布宮

技術番号 015	ブース番号 A-09	NETIS：HK-030007-V クラックバスター（コンクリートひび割れ抑制ファイバー）	復旧・復興	技術番号 015	ブース番号 A-09
--------------------	----------------------	---	-------	--------------------	----------------------

WESCOOT 株式会社 ウエスコットイースト




コンクリート・モルタルのひび割れ抑制用ポリプロピレン短繊維

クラックバスターはポリプロピレン製の短繊維で、微量をコンクリート、モルタルに混入させ、次の効果を期待するものです。1 乾燥収縮ひび割れの抑制、2 コンクリート片の剥落防止、3 耐凍結融解性能の向上、4 二次的補強用金網の代用

コンクリート工全般及び補修工に採用でき、災害関連の実績としては、防潮堤・防波堤の新設・かさ上げ工事、橋梁・高架橋・道路擁壁の新設・補修工事、のり面崩壊対策・砂防ダム関連工事、コンクリートによる耐震補強工事、土間コンクリートのかさ上げ・不陸整正工事など多岐にわたっています。

施工実績 東北自動車道杉ノ平トンネル工事、国道397号2号トンネル工事、出島道路改良工事（法面）、福島地区床版工事、小名浜港湾東港護岸築造工事 他多数

●部署：株式会社 ウエスコットイーストクラックバスター事業部
●URL：http://wescoteast.com

●TEL：011-271-7291
●営業時間：9:00～17:30

●FAX：011-271-7290

担当者：谷口陽一

技術番号 016	ブース番号 A-09	NETIS：TH-990064-V ボンテラ（天然素材マットによる浸食防止・植生回復）	復旧・復興	技術番号 016	ブース番号 A-09
--------------------	----------------------	---	-------	--------------------	----------------------

WESCOOT 株式会社 ウエスコットイースト




法面の浸食防止・植生回復を目的とした、天然素材を使用した表面被覆資材。

ボンテラ製品は法面緑化の表面被覆資材として①高い浸食防止効果②種子の流失・飛散防止③保温・保湿④長尺・軽量⑤柔軟性等の優れた特徴を持ち、自然本来の回復力を引き出します。現場の緑化目的に合わせた様々な緑化工との併用も可能です。また、緑化種子を使用しない在来植生の復元技術にも利用することができる自然に優しい工法です。

施工実績 国交省秋田河川 小勝田地区道路改良工事
国交省胆沢ダム 胆沢ダム国道付替石淵地区工事、他全国で多数の施工実績あり

●部署：株式会社 ウエスコットイースト 環境素材事業部
●URL：http://wescoteast.com

●TEL：011-271-7291
●営業時間：9:00～17:30

●FAX：011-271-7290

担当者：白石好之

技術番号 017	ブース番号 A-09	NETIS: HK-120015-A ハイドロマルチ侵食防止材	復旧・復興	技術番号 017	ブース番号 A-09
--------------------	----------------------	---	-------	--------------------	----------------------



天然繊維による吹付け用侵食防止材。施工初期の侵食を防止し長期的な植生被覆を確立する技術。

ハイドロマルチの吹付けには一般的な種子散布機を使用します。ハイドロマルチは天然の麦稈と綿素材で法面に一定の保護層を形成し、雨滴の衝撃から表土を保護します。また、風、雨、乾燥、気温など初期の植生に悪影響を及ぼす環境圧を軽減し、植生被覆による長期的な侵食防止を確立することを目的とします。災害復旧に関しては、仮復旧や取付け道路などで、速やかに裸地を被覆し防塵と緑化を施す必要のある現場などでの使用が見込めます。また使用後は、細かい天然繊維を使用している為、埋め戻しても環境に悪影響は与えません。

施工実績 上北道路犬落瀬地区法面工事 (H24)

●部署: 株式会社 ウェスコットイースト 環境素材事業部 ●TEL: 011-271-7291 ●FAX: 011-271-7290

●URL: <http://wescoteast.com/bonterra/hydromalch/> ●営業時間: 9:00~17:30

担当者: 白石好之

技術番号 018	ブース番号 A-10	NETIS: CB-020040-A コンクリート構造物の断面修復乾式吹付け工法	復旧・復興	技術番号 018	ブース番号 A-10
--------------------	----------------------	--	-------	--------------------	----------------------



付着力、耐久性に優れたポリマーセメントモルタルを独自の技術で高速、高圧で吹付け、高密度層の断面修復を行う世界トップレベルの技術

施工性: 優れた搬送性能。(水平200m・垂直150m)
振動下の天井面でも厚付け施工が可能。
独自のサイロシステムにより少人数での施工が可能。
高品質: 付着性能 ($\sigma 28 = 2.0\text{N}/\text{mm}^2$ 以上) 圧縮強度 ($\sigma 28 = 60.0\text{N}/\text{mm}^2$ 以上)
環境面: 機材の洗浄水、梱包塵の発生がなく環境面に配慮

施工実績 国交省: 下楓橋 (R112)・須川橋 (R13) 補修工事
山形県: 軽井沢川橋・諏訪橋・普洞沢橋・荒砥道橋・蔵王・山形間坂巻こ線橋補修工事 ほか
各市町: 山形県: 酒田市・山形市・米沢市他、福島県: 二本松市 岩手県: 宮古市、大船渡市

●部署: 置賜建設株式会社 環境事業部 ●TEL: 0238-23-6411 ●FAX: 0238-24-5939

●URL: <http://oitamakensetsu.jp/index.html> ●営業時間: 8:00~17:00

担当者: 大河原芳博

技術番号 019	ブース番号 A-10	NETIS: KT-090036-A 乾式吹付耐震補強工法	復旧・復興	技術番号 019	ブース番号 A-10
--------------------	----------------------	---	-------	--------------------	----------------------



乾式吹付工法は、長距離・高所への材料運搬が可能で、鉄筋裏への充填性に優れている。また一層50mm厚の吹付が容易に出来、一日当たりの施工量が多いため工期の短縮を図れる技術。

施工性: 優れた搬送性能。(水平200m・垂直150m)
河積断面阻害が少ない薄厚施工が可能。
独自のサイロシステムにより少人数での施工が可能。
鉄筋裏への充填性に優れている。
高品質: 付着性能 ($\sigma 28 = 2.0\text{N}/\text{mm}^2$ 以上) 圧縮強度 ($\sigma 28 = 60.0\text{N}/\text{mm}^2$ 以上)
環境面: 機材の洗浄水、梱包塵の発生がなく環境面に配慮

施工実績 平成24年11月 山形県西置賜郡飯豊町 国交省 手ノ子橋橋梁耐震補強工事

●部署: 置賜建設株式会社 環境事業部 ●TEL: 0238-23-6411 ●FAX: 0238-24-5939

●URL: <http://oitamakensetsu.jp/index.html> ●営業時間: 8:00~17:00

担当者: 大河原芳博

技術番号 020	ブース番号 A-11	NETIS: KK-070008-V 抵抗板付鋼製杭基礎	復旧・復興	技術番号 020	ブース番号 A-11
--------------------	----------------------	--	-------	--------------------	----------------------



道路標識柱及び道路照明柱用基礎

道路付属物 (標識柱、照明柱、道路情報板柱、CCTV柱、信号柱等) の基礎工事で、軟弱地盤、狭隘 (きょうあい) な場所に対応でき、あるいは埋設物を避けて構築する技術です。埋設物を避ける技術は、杭部とフランジ部の位置を最大500mmずらした偏心構造により、予定通りの位置に建柱が可能となります。また、東日本大震災の液状化が生じた地区で採用された本技術を調査した結果、液状化によって倒壊した事例は確認されておりません。

施工実績 国土交通省、各県及び市町村等地方自治体、各県警察本部、東日本高速道路(株)における道路付属物基礎設置工事
施工実績数: 約40000基 (年間平均施工実績: 約3000基)

●部署: 日本地工株式会社 東北支社 都市型基礎営業課 ●TEL: 022-236-3111 ●FAX: 022-236-1122

●URL: <http://www.chiko.co.jp/> ●営業時間: 8:30~17:30

担当者: 藤田英樹、阿部勇也

技術番号

ブース番号

021

A-12

ニューウォルコンⅣ型

復旧・復興

技術番号

ブース番号

021

A-12

東栄コンクリート工業株式会社

大地震対応型L型擁壁



宅地造成等規制法の改正（平成18年）に伴い、大規模地震動（設計水平震度 $kh=0.25$ のとき、安全率 $F_s > 1.0$ ）に対応した国土交通大臣認定擁壁です。今までの中規模地震動用に加えた新しいタイプで、既に復興事業の主要物件においてご採用を賜っております。擁壁の表面化粧やコーナー部分についても対応可能です。

●部署：営業部

●TEL：022-218-2881

●FAX：022-771-8231

●URL：http://www.toeicon.co.jp

●営業時間：8:30～17:30

担当者：山藤伸幸

技術番号

ブース番号

022

A-13

Cat グレードコントロール 2D ガイダンス

復旧・復興

技術番号

ブース番号

022

A-13

日本キャタピラー 東北支社

建機メーカーだからできる

「油圧ショベル内蔵型2次元ガイダンスシステム」



Cat グレードコントロールは油圧ショベルによる掘削作業においてオペレータの操作をサポートするCat 純正の油圧ショベル内蔵型2次元マシンガイダンスシステムです。ガイダンス機能をオペレータが使用することで、従来、掘削作業において必要としていた丁張りや施工中の検測作業を大幅に低減し、施工をよりスピーディーに、かつ高品質に行うことができます。また、メーカー工場での組立により高い信頼性を実現し、現場におけるセットアップ時間を大幅に短縮できます。さらに追加コンポーネントを装着することで、3次元仕様のシステムへ簡単にアップグレードすることができます。

●部署：販売促進課

●TEL：022-714-3113

●FAX：022-714-3125

●URL：http://tohoku.jpncat.com

●営業時間：8:30～17:30

担当者：佐々木、坪井

技術番号

ブース番号

023

A-13

AccuGrade（アキュグレード）

復旧・復興

技術番号

ブース番号

023

A-13

日本キャタピラー 東北支社

AccuGrade = Accuracy（正確さ）+ Grade（勾配）

建機メーカーだからできること「CATの情報化施工」



ICT（情報通信技術）を活用しデータ化された現場設計図を施工時に利用することで、より高効率で高精度な施工を実現します。更に通常建設機械への情報化施工機器の取付は非常に煩雑ですが、CATのARO（AccuGrade Ready Option）仕様のブルドーザーは、必要な配線・ブラケット・モジュール類を予め車両本体に組み込んでいる為に、短時間で取付が容易に可能です。また、建設機械と一体で開発されたマシンコントロール&ガイダンスは建設機械と同じく厳しい環境で長期間使用されることを前提に設計されており耐久性や耐震性に優れています。

●部署：販売促進課

●TEL：022-714-3113

●FAX：022-714-3125

●URL：http://tohoku.jpncat.com

●営業時間：8:30～17:30

担当者：佐々木、坪井

技術番号

ブース番号

024

A-13

ハイブリット油圧ショベル「336E H」

復旧・復興

技術番号

ブース番号

024

A-13

日本キャタピラー 東北支社

ハイブリット革命！電気を使わないハイブリット！

Cat 初ハイブリット油圧ショベルは336E Hから



キャタピラーは、稼働中にエネルギーを収集、蓄積及び放出する機能を備えている機械を、「ハイブリット」と定義づけています。336E Hは旋回減速時及び停止時のエネルギーを確保しアキュムレータに蓄圧、旋回加速時に蓄圧したエネルギーを放出することで標準モデル336Eより燃料消費量が約13%低減されます。このシステムは他社と違いキャパシタ・発電機を搭載していないのでメンテナンス時の高圧電気工事士の資格が不要です。また、アキュムレータはカウンタウエイト内に内蔵されており、スタイリングは標準機と大きな差異はありません。もちろん、ROPS規格適合キャブ・リヤビューカメラの標準装備等で安全性も配慮しております。

●部署：販売促進課

●TEL：022-714-3113

●FAX：022-714-3125

●URL：http://tohoku.jpncat.com

●営業時間：8:30～17:30

担当者：佐々木

技術番号
025 プース番号
A-14 NETIS: KT-990237-V
くい丸

復旧・復興

技術番号
025 プース番号
A-14
くい丸 君岡鉄工株式会社
人と環境にやさしい打込み杭専用材


「くい丸」は、単管（足場管）の約2.5倍の支持力を持つ、強力な打込み杭専用材です。先端が尖っているので施工しやすく、アスファルトや鉄道バラスト等の難地盤に施工することができます。短期（仮設やイベント等）で使用する場合には繰り返し使用することができるメリットがあり、また、中長期（太陽光発電の架台の基礎杭・土留め等）で使用する場合には、サビに強く雨水の溜まらない密閉構造により高い性能を発揮します。

●部署：君岡鉄工株式会社 営業部
●URL：http://kuimaru.com

●TEL：0743-82-0666
●営業時間：8:00～17:00

●FAX：0743-82-1925

担当者：君岡鉄兵

技術番号
026 プース番号
A-15 NETIS: KK-110066-A
橋りょうフレキ「BFP型」

復旧・復興

技術番号
026 プース番号
A-15

**屋外排水配管用塩ビ製フレキシブルパイプ。
地震による設備配管の二次災害を防ぐ、免震継手として使用可能。**

- ①優れた耐候性
耐候性の優れた材質により屋外使用に最適
- ②安全で安心な免震継手
阪神淡路大震災相当の揺れに対しての耐震試験をクリア。（自社基準）
高い柔軟性を持ち、加震時に前後の接続配管および配管固定部に影響を及ぼさない低反力⇒設備・配管の二次災害を防ぎます。
- ③接続の高度な汎用性
両端部接続しろは塩ビ製フレキ同外径。市販の塩ビ管管用接続部品の全てに外径接続できます。
- ④高所作業における取り回し安全性と作業の迅速化
橋梁・高架排水工事の際の高所作業でも取り回しやすい柔軟性と長さバリエーション。3次元配管への柔軟な対応で施工迅速化。

施工実績 2011年7月 陸前高田市立米崎小学校仮設住宅下水放流、2011年9月 宮古国道維持工事（横溝橋排水工事）
2012年1月 八戸大橋復旧・耐震補強工事、2013年1月 東北自動車道古川管内災害復旧工事

●部署：ユーシー産業株式会社 東京営業所
●URL：http://www.evuc.co.jp

●TEL：03-5687-1177
●営業時間：9:00～17:50

●FAX：03-5687-1188

担当者：濱口美久、小澤明弘、齋藤智範

技術番号
027 プース番号
A-15 **エバフリー「CFP型」**

復旧・復興

技術番号
027 プース番号
A-15

**埋設排水配管用塩ビ製フレキシブルパイプ。
比類ない高い柔軟性で、排水管路の免震・地盤沈下対策に最適。**

- ①排水系統（自然圧流下条件）専用の塩ビ製埋設フレキシブルパイプ
- ②比類ない高い柔軟性と埋設外圧強度の両立
阪神大震災クラスの地震動に耐える免震性（自社試験）
低反力設計で沈下による変位・地震動発生時の変位による設備・配管への二次被害防止。
硬質塩ビ管規格における埋設活加重（T-14）許容変形率基準をクリア
- ③接続の汎用性
接続しろは塩ビ管と同外径。塩ビ管接続用のあらゆる部品に外径「接着」にて接続。

施工実績 2012年4月 福島市下水道災害復旧工事（4-3）、2012年5月 南相馬市鹿島区災害復旧工事
2012年5月 いわき市公共下水道中部処理区災害復旧工事、2013年2月 いわき市県営浅貝住宅排水改修工事

●部署：ユーシー産業株式会社 東京営業所
●URL：http://www.evuc.co.jp

●TEL：03-5687-1177
●営業時間：9:00～17:50

●FAX：03-5687-1188

担当者：濱口美久、小澤明弘、齋藤智範

技術番号
028 プース番号
A-16 **大林組のまちづくり技術**

復旧・復興

技術番号
028 プース番号
A-16
株式会社大林組 東北支店
**がれき残渣を復興資材として有効活用する技術、
石炭灰を防潮堤築造に有効利用する技術を紹介します。**


- ①アップサイクルブロック
震災等の自然災害で発生したがれきの残渣を安全に有効活用する『アップサイクルブロック』を開発しました（財先端建設技術センター、(株)大林組、(株)鹿島建設、(株)熊谷組、清水建設(株)、大成建設(株)による共同開発）。被災地の復興資材として利用でき、がれき残渣の最終処分量も削減できます。
- ②石炭灰を用いた防潮堤
石炭火力発電の需要の高まりによって増加する副産物の石炭灰を防潮堤の盛土材に有効活用する技術を開発しました。不溶化技術などを駆使し石炭灰を地震時の津波・高潮対策に役立て、石炭灰の最終処分量も削減できます。

●部署：(株)大林組 東北支店 営業第二部
●URL：http://www.obayashi.co.jp

●TEL：022-267-8551
●営業時間：8:30～17:15

●FAX：022-215-4604

担当者：高橋拓馬

技術番号
029

ブース番号
A-16

大林組の除染・減容・保管技術

技術番号
029

ブース番号
A-16

復旧・復興

株式会社大林組 東北支店



舗装道路の急速除染技術、土壌を放射能濃度で分別する技術、放射線を漏らさず保管する技術を紹介します。

①バイノスRD工法【除染】
洗浄水を回収する自走式湿式ブラシ洗浄機と高性能吸着剤による回収水の浄化を組合せ、洗浄・回収が早く行えます。

②オリオンスキャンソート【減容】
中間貯蔵施設等で除去した土壌やがれきを放射能濃度によって自動で瞬時に分別するベルトコンベアです。汚染されていない物質を取り除き、廃棄物量を削減できます。

③放射線遮蔽型海水コンクリート【保管】
高水密な海水練り・海砂コンクリートを基に、重量骨材と特殊混和材を加えたコンクリートです。人体への影響が高いガンマ線をも遮蔽できる性能が備わりました。

施工実績 JAEA 除染モデル実証事業 (①②)
環境省 平成24年度川内村除染等工事 (①)

●部署：(株)大林組 東北支店 営業第二部

●URL：http://www.obayashi.co.jp

●TEL：022-267-8551

●営業時間：8:30～17:15

●FAX：022-215-4604

担当者：高橋拓馬

技術番号
030

ブース番号
A-17

エネルギーの未来を拓く下水熱利用システム

技術番号
030

ブース番号
A-17

復旧・復興

中央復建コンサルタンツ株式会社



実環境試験設備全景

管路網を対象とした簡易で低コストな下水熱利用システムが、都市における新たな熱利用形態を創出します。

弊社は、NEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）のプロジェクト「次世代型ヒートポンプシステム開発／都市域における下水管路網を活用した下水熱利用・熱融通技術」に、公立大学法人大阪市立大学、株式会社総合設備コンサルタント、関西電力株式会社、株式会社NTTファシリティーズ総合研究所、三菱重工業株式会社、株式会社トヨックスと共同で取り組んでいます。本プロジェクトでは、従来の個別システムと比較して総合効率効果1.5倍以上を確保する、低コストかつ小規模な下水熱利用・熱融通システムの開発を目的とし、実環境試験設備構築、夾雑物対策スクリーン開発、熱交換器開発等に取り組んでいます。

●部署：東北支社 業務推進室

●URL：http://www.cfk.co.jp/

●TEL：022-267-1459

●営業時間：9:00～17:00

●FAX：022-267-2151

担当者：佐藤隆彦

技術番号
031

ブース番号
A-18

職人不足対策・工期短縮SFRC工法

技術番号
031

ブース番号
A-18

復旧・復興

安田工業株式会社 仙台工場



鋼繊維補強コンクリートでねばり強い構造体を実現、職人不足対策・工期短縮となるSFRC無筋化工法の提案

「スーパークラックレス」はコンクリートに混ぜるだけでコンクリートの弱点である曲げ・引張り特性を飛躍的に強化改善する事ができる現場添加型補強用鋼繊維です。太さ0.5～0.8mm、長さ20～30mmの鋼繊維を生コンクリートに混練りする事でコンクリートのひび割れに対する抵抗性を向上、鋼繊維がコンクリートに満遍なく緊結して曲げ・引張り靱性「ねばり強さ」も格段に向上します。この結果、適用可能部位や打設箇所によっては鉄筋やワイヤーメッシュの省略も可能で、無筋化工法として工期短縮や昨今問題の職人不足対策ともなる技術です。また、鋼繊維に立体波型形状を施す事により打設表面への露出が殆ど無く、サビの発生を極めて少く抑える事ができます。

施工実績 土木工事：宮城23-016（長町・長町南とう道災害復旧）共同施工工事
冷蔵倉庫：東北第一冷蔵倉庫(株)冷凍庫 (株)フードサービスネットワーク低温物流センター

●部署：安田工業株式会社 仙台工場 販売部

●URL：http://www.ysd-kk.co.jp

●TEL：0223-23-5511

●営業時間：8:00～17:00

●FAX：0223-23-5515

担当者：大出敦史、岩佐明直

技術番号
032

ブース番号
A-19

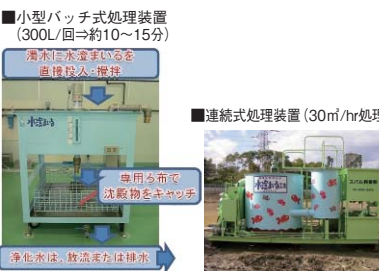
無機系凝集剤「水澄まいる」

技術番号
032

ブース番号
A-19

復旧・復興

スバル興業(株)／(株)レンタルのニッケン



「セメント濁水等を、中和しながら、水をきれいにする」無機系凝集剤【除染回収水の浄化シリーズも開発！】

水澄まいるとは、無機系凝集剤（粉体）で、本製品（1剤）を汚濁水に直接投入・攪拌するだけで【中和しながら、水をきれいにする】という「水環境保全商品」で、ラインナップは下記2種類です。

①【標準型】濁水 pH＝5～10未満
（例）矢板やシールド工法：河川や池の浚渫・護岸工事発生濁水、池のアオコ除去。

②【アルカリ型】濁水 pH＝1.0以上
（例）レイタンス水、左官道具やミキサー車洗浄水、ウォータージェット水、コアカッター水。

【本技術を応用し、除染作業で発生する汚染水浄化用凝集剤も開発！】

施工実績 「水澄まいる」は、東北地方全域。「除染回収水浄化用凝集剤」は、福島県内各所。

●部署：スバル興業株式会社 多摩営業所

●URL：http://subaru-kougyou.jp

●TEL：042-363-6365

●営業時間：8:30～17:30

●FAX：042-361-9094

担当者：阿部、羽田

技術番号
033

ブース番号
A-19

ケルヒャー「除染用バキュームスイーパー+除染用洗浄機と汚染水回収機器」

復旧・復興

技術番号
033

ブース番号
A-19

スバル興業(株)／(株)レンタルのニッケン／ケルヒャージャパン(株)

■スティクリーナーMC50
【散水+ブラッシング⇒吸引回収】

■FRV30
【高圧洗浄⇒
飛散せず排水回収】



ケルヒャー洗浄機で、「除染率アップ!」と「汚染水をすばやく回収!」

道路除染には、路面をブラッシングしながら汚染水を回収するケルヒャー・スティクリーナー (MC50)。道路付属物や住宅周辺をはじめ、細かな箇所には、飛散せず且つ回収するケルヒャー・高圧洗浄セット (FRV30等) にて除染率がアップします。回収水は、スバル興業(株)の水処理装置で処理する事により確実に放射性物質を回収致します。

施工実績 福島県内各所ほか、除染対象エリア。

●部署：スバル興業株式会社 多摩営業所
●URL：http://subaru-kougyou.jp

●TEL：042-363-6365 ●FAX：042-361-9094
●営業時間：8:30～17:30

担当者：阿部、小室

技術番号
034

ブース番号
A-19

NETIS：KK-120007-A
冠水予告警報表示システム

復旧・復興

技術番号
034

ブース番号
A-19

スバル興業(株)／(株)ITM

■山形県南陽市郡山アンダー
(山形新幹線アンダー)



■山形県米沢市

雨量計で雨量を計測し、浸水する前に冠水の注意喚起表示又は警報表示を行うシステム。

本技術は雨量を計測し冠水する前に注意喚起表示又は警報表示を行うシステムである。従来は水位センサーで冠水を検知してから警報表示のみを行っていた。本技術はコストの低減と冠水前に注意喚起表示又は警報表示ができる。

施工実績 山形県南陽市郡山地区、山形県米沢市

●部署：スバル興業株式会社 多摩営業所
●URL：http://subaru-kougyou.jp

●TEL：042-363-6365 ●FAX：042-361-9094
●営業時間：8:30～17:30

担当者：田川、小室

技術番号
035

ブース番号
A-20

NETIS：KTK-100012-A
静的締固め地盤改良工法 SDP-N工法

復旧・復興

技術番号
035

ブース番号
A-20

SDP工法研究会



地盤の液状化対策、安定対策、および沈下対策を目的とした低振動・低騒音で施工できる軟弱地盤改良工法

SDP-N工法は、回転駆動装置と強制貫入装置を組み合わせた回転貫入装置により、軟弱地盤にケーシングパイプを静的に貫入させ、改良杭造成時においても改良材の排出・打戻しを静的に行い、拡張された締固め杭を造成する環境に配慮した静的締固め地盤改良工法である。低振動低騒音で施工ができること、先端部に特殊機構を備えているため杭間地盤の締固め効果の向上が期待できること、改良材として、砂や碎石の他に再生碎石等のリサイクル材を有効活用できることを特徴とする工法である。

施工実績 ①小名浜港3号ふ頭地区岸壁(-10m)外(災害復旧)工事、②小名浜港4号ふ頭地区岸壁(-10m)外(災害復旧)工事、③小名浜港7号ふ頭地区岸壁(-13m)外(災害復旧)工事、④小名浜港4号ふ頭地区岸壁(-10m)(災害復旧)工事、⑤小名浜港藤原ふ頭地区岸壁(-12m)外(災害復旧)工事

●部署：あおみ建設(株) SDP工法研究会事務局
●URL：http://www.aomi-const.jp/

●TEL：03-5439-1021 ●FAX：03-5439-1053
●営業時間：8:30～17:30

担当者：高橋 強

技術番号
036

ブース番号
A-20

NETIS：KK-980070-A
静的締固め地盤改良工法 SDP工法

復旧・復興

技術番号
036

ブース番号
A-20

SDP工法研究会



地盤の液状化対策、安定対策、および沈下対策を目的とした低振動・低騒音で施工できる軟弱地盤改良工法

SDP工法は、回転駆動装置と強制貫入装置を組み合わせた回転貫入装置により、軟弱地盤にケーシングパイプを静的に貫入させ、改良杭造成時においても改良材の排出・打戻しを静的に行い、拡張された締固め杭を造成する環境に配慮した二重管式の静的締固め地盤改良工法である。低振動低騒音で施工ができること、改良材として、砂や碎石の他に再生碎石等のリサイクル材を有効活用できることを特徴とする工法である。

●部署：あおみ建設(株) SDP工法研究会事務局
●URL：http://www.aomi-const.jp/

●TEL：03-5439-1021 ●FAX：03-5439-1053
●営業時間：8:30～17:30

担当者：高橋 強

技術番号 037	ブース番号 A-21	NETIS : QS-100026-V LED照明器具シリーズ (減災へのご提案)	技術番号 037	ブース番号 A-21
037 A-21		LEDだからできる 減災へのご提案 — 日常にも災害にも。地域の減災・防災活動を支援します。	037 A-21	
037 A-21		LEDだからできる 減災へのご提案 — 日常にも災害にも。地域の減災・防災活動を支援します。 わずかな電力で点灯可能なLEDと、災害時にも電源を確保できる再生可能エネルギーやバッテリーの利用とを組み合わせ、災害への備えとして実用的なアイテムを紹介します。 ●照明灯は高効率LEDによる、省エネで長寿命、環境にやさしいレディオックシリーズ。 ●道路灯と防犯灯は、平常時は商用電源で点灯、停電時にはバッテリーに蓄えた電力で必要最小限の明るさで点灯を維持し、避難路の誘導と安全な通行を支援します。 ●避難場所等の案内表示板は、ソーラーとバッテリーの組み合わせで商用電源が不要であり、停電時においても避難誘導を支援します。 施工実績 仙台海川国道事務所管内(唐桑～石巻) 国道45号線の各所へ納入	037 A-21	
●部署：岩崎電気(株) 仙台営業所 ●URL：http://www.iwasaki.co.jp/		●TEL：022-393-6951 ●営業時間：9:00～17:00	●FAX：022-721-5371 担当者：第一営業課：橋本真宏	

技術番号 038	ブース番号 A-22	NETIS : QS-010005-V アーバンノーディグ工法 [HDD (誘導式水平ドリル) 工法]	技術番号 038	ブース番号 A-22
038 A-22		アーバンノーディグ工法協会 ライフライン埋設工事における環境問題・コスト削減・工期短縮などさまざまなご要望にお応えします。	038 A-22	
038 A-22		ドрилヘッドに内蔵された発信機からの電磁波を地上で探知しながら方向修正を行い計画線上下を削孔し、到達坑より発進坑側にて埋設管を引込む工法です。 ●交通渋滞、環境問題及び振動・騒音による影響を軽減 ●日進量が大きく工期を短縮 ●簡易な立坑からの施工により、土木工事費及び舗装復旧費用を低減 利用目的に合わせて埋設管の材質、形態を選定する事で様々なライフライン整備に対応します。 施工実績 真空式下水道・下水圧送・水道・電力通信・地盤改良など東北地方を始め全国220kmの実績	038 A-22	
●部署：アーバンノーディグ工法協会 事務局 ●URL：http://www.urban-nodig.jp		●TEL：03-3234-0056 ●営業時間：9:00～17:30	●FAX：03-3234-8586 担当者：鷺海、伊藤、大平	

技術番号 039	ブース番号 A-22	トリック工法【老朽管置換更新工法】	技術番号 039	ブース番号 A-22
039 A-22		アーバンノーディグ工法協会 ライフライン埋設工事における環境問題・コスト削減・工期短縮などさまざまなご要望にお応えします。	039 A-22	
039 A-22		破碎ヘッドをエアーハンマで打撃しながらワイヤーで牽引し、既設管を破碎しながら非開削にて新設管を引き込み更新する工法です。 ●交通渋滞、環境問題による影響を軽減 ●遠隔操作で作業を行いますので更新作業中は立坑内に作業員が入る必要が無く安全 ●簡易な立坑からの施工により、土木工事費及び舗装復旧費用を低減 利用目的に合わせて埋設管の材質、形態を選定する事で様々なライフライン整備に対応します。 施工実績 青森県某市・福島県某村	039 A-22	
●部署：アーバンノーディグ工法協会 事務局 ●URL：http://www.urban-nodig.jp		●TEL：03-3234-0056 ●営業時間：9:00～17:30	●FAX：03-3234-8586 担当者：鷺海、伊藤、大平	

技術番号 040	ブース番号 A-23	アーチカルバート	技術番号 040	ブース番号 A-23
040 A-23		アーチカルバート 日本アーチカルバート工業会 東北支部 アーチ形状の特長により大きい土被りに対して特に有効であり、経済性が発揮できます。	040 A-23	
040 A-23		アーチカルバートは上部がアーチ形、下部がボックス形をしているため、上部の荷重は軸方向圧縮力として伝達され部材の上部及び側壁に発生するモーメントは、ボックス形に比べて大幅に低減され高い強度をもつことができます。プレキャストアーチカルバートは「道路土工・カルバート工指針」平成21年度版に記載されております。 施工実績 ※三陸沿岸自動車道路 ※東北横断自動車道路秋田釜石線 ※日本海沿岸東北自動車道路 ※東北中央自動車道路	040 A-23	
●部署：日本アーチカルバート工業会 東北支部 SMCコンクリート(株) 内 ●FAX：022-712-9108 ●URL：http://www.arch-culvert.org		●TEL：022-722-9106 ●営業時間：8:45～17:45	担当者：安垣	

技術番号 041	ブース番号 A-24	ふとんかご代替工法（AZエルバリア工法）	復旧・復興	技術番号 041	ブース番号 A-24
		施工期間が短く緊急性の高い工事や狭小地で効果を発揮。発生土、碎石等の充填で湧水対策、法面緑化も可能。 AZエルバリアは従来のふとんかご工法に代わる新工法です。構造が単純なので普通作業員でも簡単に施工可能で、工期が短縮できます。材料が軽量なので大型重機を必要とせず、人力作業が可能のため、狭小地でも施工が簡単です。中詰材には現地発生土、碎石、割栗石などを充填できることから湧水対策、法面緑化も可能です。材質には、亜鉛-10%アルミニウム合金メッキ仕様のΦ6mm鉄線（サンAZ型ワイヤー）を使用し、耐食性は溶融亜鉛メッキの約2.5倍の耐久性を持ちます。災害復旧に迅速に対応できる工法です。			
●部署：新潟銅機株式会社 製造部 ●営業時間：8:00～16:30		●TEL：025-377-2801 ●FAX：025-377-6777		担当者：青木 淳	

技術番号 042	ブース番号 A-24	NETIS：KT-050080-A 増幅機構付油圧制震ブレース	復旧・復興	技術番号 042	ブース番号 A-24
		地震時に生じる建物の水平変形を増幅し油圧ダンパーに伝え、地震エネルギーを吸収する制震装置です。 「増幅機構付油圧制震ブレース（トグル制震構法）」は、架構内のブレースにトグル（テコの原理）機構を取り入れ地震による建物の変形を2～3倍に増幅して鍛造品を使用したコンパクトで強靱な回転支承部を介して確実に油圧ダンパーに伝え、地震の振動エネルギーを効率よく吸収する制震装置です。耐震改修工事では、在来工法より補強箇所を減少できコスト削減・工期短縮が可能となり設置箇所が少ないため、廃材の発生量が在来より少なく環境への影響が低減されます。大きな地震時の余震にも制震効果があり、建物内部の書棚・備品等の落下転倒防止効果を発揮します。			
●部署：耐震推進室 ●URL：http://www.gohsyu.co.jp/~jyouetsu/		●TEL：0258-95-4111 ●FAX：0258-95-3641 ●営業時間：8:00～17:00		担当者：大竹俊博	

技術番号 043	ブース番号 A-25	NETIS：HR-060002-V ESR工法	復旧・復興	技術番号 043	ブース番号 A-25
		自走式土質改良機の能力を最大限活用した合理的な土質改良工法です。品質と経済性に優れています。 「ESR工法」とは、当組合が独自に確立した事前調査から品質管理に関する方法と、自走式土質改良機を組み合わせた土質改良工法です。自走式土質改良機とは、土質改良専用開発された機械で、施工時にバックホウ等のような粉塵の発生はほとんどなく品質のばらつきも少ないという特徴があります。しかし従来工法同様、施工管理方法が不明確である等の問題を残していました。そこで、当組合では試行錯誤を行い、室内と現場の土の密度及び含水比の違いに応じた改良材添加量の設定方法等、事前調査から品質管理に関する方法を確立しました。これにより合理的な土質改良が可能となり、品質と経済性に優れた改良土を供給できます。			
●部署：新潟県土質改良事業協同組合 事務局 ●URL：http://niigata-sia.or.jp		●TEL：0250-43-1222 ●FAX：0250-43-1222 ●営業時間：9:00～17:00		担当者：伊藤和浩、樋浦和則、小林大士、佐藤 学、大塚賢太	

技術番号 044	ブース番号 A-25	NETIS：HR-010010-A ハイパワースノーフェンス工法（HSF工法）	復旧・復興	技術番号 044	ブース番号 A-25
		落石エネルギーE=250KJ程度、最大積雪深5m程度まで対応可能な雪崩・落石兼用柵 ・雪崩予防柵（せり出し防止柵、堆雪柵）、または防雪対策と落石防護の兼用柵として適応でき、250KJ程度の落石エネルギーに対応可能です。 ・地盤を大口径ボーリング工法等で削孔した後、杭式基礎として支柱を建て込むことができ、比較的脆弱な地盤の場合でも設置が可能です。 ・大規模な掘削を伴わないため、残土の発生や樹木の伐採を最小限に抑えられます。 ・景観に合った色彩の塗装を施すことができます。			
●部署：和光物産株式会社 防災事業部 ●URL：http://www.wako-bussan.com		●TEL：025-233-3111 ●FAX：025-233-3122 ●営業時間：8:30～17:30		担当者：内山幹男、石山正恵	

技術番号
045

ブース番号
A-26

NETIS : SK-000018-A
逆台形型擁壁「バランス工法擁壁」

復旧・復興

技術番号
045

ブース番号
A-26

株式会社 丸万コンクリート



「バランス工法擁壁」の形状が秘める合理性は、コンクリート擁壁のあらゆる可能性を広げます。

バランス工法擁壁とは、コンクリート擁壁であり、擁壁下部幅より上部幅の方が広い逆台形構造にして、その擁壁自重と土圧をバランスさせることにより安定を図る擁壁です。従来の重力式擁壁ともたれ擁壁の各々が持つ利点を融合した擁壁で、擁壁の底版幅を小さくできるため、背面の掘削土量を低減する事ができます。擁壁構築には石肌模様のプレキャストブロックを使用することにより、施工の効率化や景観性、耐久性の向上を図っています。

施工実績 ・新屋敷交差点改良工事（仙台河川国道事務所管内）・新庄国道北地区維持工事（山形河川国道事務所管内）・相馬地区道路構造物（磐城国道事務所）・一般県道十日町山形線歩道整備工事（山形県）・道路災害復旧工事0152-10（秋田県）・永和台2号線他1線道路改良工事（仙台市）・蔵王地区災害復旧工事（山形市）他全国200件以上

● 部署：営業部
● URL：http://maruman-con.co.jp

● TEL：0233-22-6822
● FAX：0233-22-9652

担当者：山科、高橋

技術番号
046

ブース番号
A-27

NETIS : KT-110018-A
恒久注入材 ソイルサポートエース

復旧・復興

技術番号
046

ブース番号
A-27

恒久注入研究会



薬液注入工法に使用する恒久注入材、耐震補強、液状化対策に有効な注入材料

超微粒子スラグを主材とし、特殊水ガラスを用いる事により、任意の硬化時間（数秒～数時間）の設定を可能とした恒久注入材。地盤における強度増加、不透水地盤を形成することにより耐震補強、非液状化地盤を構築する事が可能な薬液注入工法用材料です。本材料は、主材である超微粒子スラグ、主材の強度促進と硬化時間を形成する超微粒子アルカリカルシウム、硬化時間を制御する特殊水ガラスを混合反応させることで、浸透性、強度、長期耐久性に優れ、安定した固結体の形成が可能です。二重管ストレーナ工法、ダブルパッカ工法でも使用でき、多岐にわたる施行目的や様々な地盤に対応することができます。

施工実績 青森県八戸市坂牛川河川維持工事、塩釜大日向汚水ポンプ場耐震補強工事、宮城県大日向市道路改築事業、富山県下新川海岸直立堤災害復旧その4工事、熊本県熊本市浦川内地区震災対策農業水利施設整備事業

● 部署：事務局
● URL：http://www.clean-material.jp

● TEL：048-953-7550
● 営業時間：9:00～17:00

● FAX：048-949-2102
担当者：佐藤和男、佐久間孝夫、利田靖治

技術番号
047

ブース番号
A-28

ストロンチウム、セシウム吸着材『エフティライト』

復旧・復興

技術番号
047

ブース番号
A-28

**富士チタン工業株式会社
日廣産業株式会社**

**ストロンチウム、セシウムを安定的に吸着する
高機能人工ゼオライト『エフティライト』で効率的な除染に貢献します。**

独自の技術・ノウハウを生かして開発した高機能人工ゼオライトは、セシウムだけでなくストロンチウムを効率的に吸着することができます。少量の使用量でも吸着性能が高いため、除染において汚染廃棄物の減容化が期待できるほか、合成ゼオライトに比べて低コストでの使用が可能です。また、分子構造による細孔や多孔質な表面構造により、鉛、水銀など重金属やアンモニアなどの脱臭性能も高く、環境保全をはじめとする様々な用途で利用いただけます。

● 部署：富士チタン工業株式会社 電子材料事業部 営業管理部
● FAX：0463-32-0122
● URL：http://www.fuji-titan.co.jp/

● TEL：0463-32-0120
● 営業時間：9:00～17:30

担当者：長澤 剛

技術番号
048

ブース番号
A-29

スマートコラム工法[®]

復旧・復興

技術番号
048

ブース番号
A-29

人と地球の架け橋に **竹中土木 東北支店**



狭い住宅地でも格子状地盤改良による液状化対策（TOFT 工法）を可能にした小型機械による地盤改良工法

スマートコラム工法は、TOFT 改良壁に必要な施工品質（改良壁の一体性など）を小型機械でも確保可能にした地盤改良工法です。TOFT 工法による液状化抑止効果は、阪神大震災や東日本大震災においても実証されており、この度、施工機械を小型化することで、戸建て住宅地のような狭い場所での施工にも対応可能となりました。本工法は小型機でありながら、改良径φ1000mm（単軸、2軸）、最大改良深度20mの能力を備え、大型機と同等の地盤改良壁を構築可能です。スマートコラム工法を開発したことで、当社の地盤改良技術として様々な施工条件への対応が可能となりました。

● 部署：技術・生産本部 技術開発部
● URL：http://www.takenaka-doboku.co.jp/

● TEL：03-6810-6215
● 営業時間：8:30～17:15

● FAX：03-6660-6304
担当者：小西一生

技術番号 049	ブース番号 A-30	NETIS : CB-03Q057-V 泥土再資源化技術 E3 (イーキューブ) システム	復旧・復興	技術番号 049	ブース番号 A-30
		建設汚泥・浚渫土砂・津波堆積土砂等の高含水泥土の再資源化技術 イーキューブシステムは、泥土の流動程度に応じ、高分子凝集剤および固化材を添加し、約30秒程度の攪拌・混合により、粒状に固化した処理土を連続的に生成し、土質材料として路体・路床材、埋戻し材や堤体材料等に再利用することができます。本技術は、特殊連続ミキサーによって連続処理を可能とし、従来技術と比べ大幅なコストダウンを図っています。また様々な泥土性状や要求品質に対応するため、20種類以上の固化材のバリエーションがあります。			
一般社団法人 泥土リサイクル協会		施工実績 仙台地下鉄築造工事から発生した建設汚泥処理 原発耐震補強工事に伴う排泥処理			
●部署：一般社団法人 泥土リサイクル協会 事務局 ●URL：http://deido-recycling.jp		●TEL：0587-23-2713 ●営業時間：8:30～17:00		●FAX：0587-23-2734 担当者：野口真一	

技術番号 050	ブース番号 A-30	廃石膏ボードを安全安心な固化材にリサイクル	復旧・復興	技術番号 050	ブース番号 A-30
		廃石膏ボードの破砕・剥離(分離)・焼成・不純物不溶化技術を紹介 石膏を主体とした固化材の特徴は、水硬性石膏中の半水石膏が二水石膏に変化して中性領域で固化します。このため、処理土も中性です。また、固化反応が早く数10分で反応が終了するため泥土を短時間で処理することができます。更に、重金属等の有害物を含まないため環境に優しい材料です。処理土は、土地造成等の埋め戻しとして再利用されるほか植生土壌としても使用することができます。しかし、石膏単体の固化材では、一般的にその強度は低いほか、水にさらされた場合、再泥化してしまうため、石膏系固化材の強度を改良した、弱アルカリ系の固化材をご紹介します。			
一般社団法人 泥土リサイクル協会		担当者：野口真一			
●部署：一般社団法人 泥土リサイクル協会 事務局 ●URL：http://deido-recycling.jp		●TEL：0587-23-2713 ●営業時間：8:30～17:00		●FAX：0587-23-2734	

技術番号 051	ブース番号 A-30	宮城県改良土協会による県内改良土の工事間利用ならびに復興資材への積極的活用	復旧・復興	技術番号 051	ブース番号 A-30
		建設発生土を最大限、環境負荷の少ない方式でリサイクルするシステムを提案 「建設発生土リサイクル率100%」を目指し、震災復興に向けて改良土を復興資材に積極的に活用することで復興資材不足を解消する一施策としてご提案します。例えば、小規模現場から出る建設発生土や、工事期間のずれ等から再利用されていない建設発生土については、県内各地のストックヤード（公的管理地又は民間施設）に一次仮置き保管し、工事間での利用時期の調整を行い、必要に応じて土質改良機を使用して、現場条件合致するよう含水比低減や粒度調整等を行うことで発生土が必要な他現場への供給を実現します。			
一般社団法人 泥土リサイクル協会		担当者：野口真一			
●部署：一般社団法人 泥土リサイクル協会 事務局 ●URL：http://deido-recycling.jp		●TEL：0587-23-2713 ●営業時間：8:30～17:00		●FAX：0587-23-2734	

技術番号 052	ブース番号 A-31	NETIS : TH-100024-A トンネル工事用電気集じん器 e'-DUSCO	復旧・復興	技術番号 052	ブース番号 A-31
		驚異的な低消費電力で、人体に有害な微細粉じんを捕集して、トンネル工事の作業環境を快適にします。 放電限界を追求したブレード式電極構造を採用することにより、これまでの坑内作業用集じん機の中で、フィルター式の弱点であった電力消費を大幅に低減し、電気式の弱点であった断線による運転停止を無くしました。また、2400m³/minの大風量によるエアーカーテンを形成しながら、ファン動力はたったの30kWを実現。フル運転した場合に、フィルター式と比較して年間約760万円の電気料金を節約し、484tのCO₂削減に貢献します。更に人体にとって最も有害な0.2～5μmの微細粉じんを有効に捕集します。			
古河産機システムズ株式会社		施工実績 国道108号花洲山4号トンネル工事			
●部署：古河産機システムズ株式会社 第2営業部 ●URL：http://www.furukawa-sanki.co.jp/		●TEL：03-3212-6575 ●営業時間：8:45～17:30		●FAX：03-3212-0279 担当者：第2営業部 参事 横山知久	

技術番号
053

ブース番号
A-31

放射性飛灰セメント固形化装置

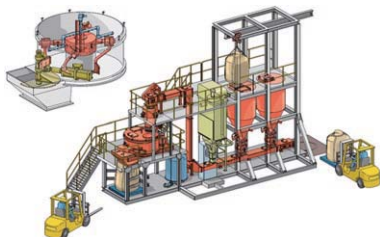
復旧・復興

技術番号
053

ブース番号
A-31

△ 古河産機システムズ株式会社

放射性飛灰をセメントで混練するさいに 被曝、飛散を防止する対策を施した固形化装置



焼却場で増加しながらも、移動ができない8,000Bq/kg超100,000Bq/kg以下の放射性飛灰にセメントを混練することで、移動可能な8,000Bq/kg以下にすることが可能。作業員の被曝対策、飛散対策に、最小限の手作業で済むよう設計し、ホッパー内を負圧化し飛散を防止する装置、リンクプレート式リンクスクレーパコンベヤで密閉搬送を行う装置を備えています。

● 部署：古河産機システムズ株式会社 第3営業部
● URL：http://www.furukawa-sanki.co.jp/

● TEL：03-3212-6575
● 営業時間：8:45～17:30

● FAX：03-3212-0279

担当者：第3営業部 部長代理 山崎直樹

技術番号
054

ブース番号
A-32

放射性物質分級減容化工法（車載型超音波土壌洗浄装置）

復旧・復興

技術番号
054

ブース番号
A-32

△ あおみ建設株式会社

超音波により汚染土壌等を効率的に洗浄除染し、細粒分を選択的に除去することで、汚染土壌の減容化を図ります



洗浄対象土壌に加水し高濃度の泥水として、超音波振動素子を配置した洗浄槽にて、超音波を照射しながら泥水を循環させることで、土粒子から汚染物質の付着している微粒子を引き剥がします。さらに、洗浄槽には高圧洗浄装置を装備し、キャビテーションジェット水を併用することで、より効率的で効果的な土壌の洗浄を行います。洗浄土壌の粒子の大きさによる沈降速度の違いを利用して、洗浄された粗粒分を分級し、さらに泥水を固液分離することで汚染物質が付着している細粒分を分級・除去することができ、汚染された土壌の減容化が図れます。

施工実績 平成24年度第2回福島県除染技術実証事業

● 部署：土木本部 技術開発部
● URL：http://www.aomi-const.jp

● TEL：03-5439-1014
● 営業時間：8:30～17:30

● FAX：03-5439-1052

担当者：岡島、吉原、榊原

技術番号
055

ブース番号
A-33

箱型擁壁「フリーウォール・キャッスルウォール」

復旧・復興

技術番号
055

ブース番号
A-33

△ 箱型擁壁協会
東北支部・東日本合同本部

急速性・排水性・安全性・環境性・経済性・修復性を追求した擁壁工法



箱形擁壁は、階段状に積み上げることの特徴とし、耐震実験等を行い「可とう性を有するもたれ式擁壁」として建設技術審査証明書を取得しています。コンクリートを使用しない、排水効果が大きい、自由な線形等、大震災復旧に必要な、条件を満たした最適な工法をご覧ください。

施工実績 利府町役場
平成22年度利促道改第1号都市計画道路 浜田駅前赤沼線道路改良工事 高さ5m 長さ98m
青森河川国道事務所 戸門道路改良舗装工事
能代河川国道事務所 長走地区歩道工事

● 部署：箱型擁壁協会東日本合同本部
● URL：http://www.hakogata.com/

● TEL：06-6390-8552
● 営業時間：9:00～17:00

● FAX：06-6390-8553

担当者：小野綾子

技術番号
056

ブース番号
A-34

スーパーリードiGジョイント

復旧・復興

技術番号
056

ブース番号
A-34

△ 日成産業株式会社

DK 第二建設株式会社

道路橋用モジュール型伸縮装置（SLJ・iGジョイント）



橋軸方向、橋軸直角方向、および上下方向の三次元移動に対応するモジュール型伸縮装置。
・適応伸縮量は0～600mm。（横軸方向）。±300mm（橋軸直角方向）。
・アラミド繊維配合のシールゴムはCRゴムの柔軟性を損なうことなく高強度、高耐久性を発揮し、高止水性能を実現。
・防音緩衝装置（SSIA）は、輪荷重を適度に分散し衝撃を吸収、緩和し、伸縮装置本体の耐久性を向上させる。また、車両通過音を低減出来、近隣住民の騒音による負荷を軽減する。（セルタイプ）
・シールゴムをはじめ、供用中の部品交換が可能である。
・小遊間から大遊間までそれぞれのタイプを用意。

施工実績 岩木川橋（青森県）、川口橋（秋田県）、長倉大橋（岩手県）、新白石大橋（東北地整）、出羽大橋（山形県）など

● 部署：日成産業株式会社 本社営業部
● URL：http://www.nis-sei.co.jp

● TEL：011-741-5062
● 営業時間：8:45～17:45

● FAX：011-741-5073

担当者：樺島 洋、小林伸之

技術番号 057 プース番号 A-34 NETIS: QS-090019-A

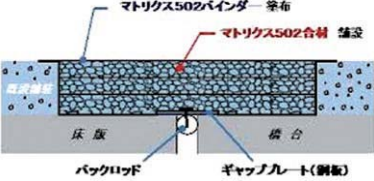
MMジョイント (マトリクス502埋設型ジョイント)

復旧・復興

技術番号 057 プース番号 A-34

日成産業株式会社

第二建設株式会社



防水性・耐久性・施工性に優れた埋設ジョイント

- ・高い防水性……マトリクス502バインダーがマトリクス502合材を完全に密封し一体構造となり内部への水の浸入を防ぎ、橋梁の長寿命化を実現します。
- ・優れた耐久性……耐流動性(復元力)が高く、耐摩耗性に優れているため、わだちや段差が生じにくい材料です。低温時の伸び特性、弾性に優れ、ひび割れが生じにくい材料です。
- ・容易な施工性……構造がシンプルのため施工時間が短くなります。舗設には転圧作業機械以外の施工機械が必要ありません。マトリクス502バインダーの現場溶解には自動温度管理付きの専用溶解機を使用し、品質管理も万全です。

施工実績 上落合橋(福島県)、高速道路、一般道(国土交通省、都道府県、市町村)

●部署: 日成産業株式会社 本社営業部
●URL: <http://www.nis-sei.co.jp>

●TEL: 011-741-5062
●営業時間: 8:45~17:45

●FAX: 011-741-5073
担当者: 樺島 洋、小林伸之

技術番号 058 プース番号 A-35 NETIS: HR-990077-V

MLT工法

復旧・復興

技術番号 058 プース番号 A-35

株式会社MLTソイル



硬質地盤掘削工法(プレボーリング工法)。特殊スクリューにより礫、玉石、転石等で威力を発揮。

MLT工法は礫、玉石、転石などの硬質地盤に杭、鋼矢板等を打ち込む際のプレボーリング工法。特殊スクリューにより掘削土砂を孔壁に圧縮する。孔壁の自立と特殊スクリュー形状によりスクリューに対する摩擦抵抗を低減することで硬質地盤を効率良く削孔できる。先端ヘッドをその地層に合わせて交換できるためあらゆる地層に対応。スクリュー摩擦の低減により削孔機に対する反力が小さくなりベースマシンを従来型三点支持杭打機より40%程度コンパクト化。機動性向上で狭い場所でも施工可能。施工用途は基礎杭、土留杭、鋼矢板プレボーリング、地中支障物撤去、既存構造物コンクリート穿孔など幅広く適用できる。

施工実績 山元海岸堤防補強工事(国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所発注)
酒田港北港地区防波堤(北)(改良)築造工事(国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所発注)

●部署: 株式会社MLTソイル 営業部
●URL: <http://www.mltsoil.co.jp>

●TEL: 025-259-9005
●営業時間: 8:00~17:00

●FAX: 025-259-2230
担当者: 畠山寛之、小倉 岳

技術番号 059 プース番号 A-36 NETIS: KK-980012-V

万能土質改良機による建設発生土再利用システム

復旧・復興

技術番号 059 プース番号 A-36

(株)オクノコトー



低品質な建設発生土を良質な土材料に土質改良する工法

本技術は、土質性状の異なる2種類あるいは3種類の建設発生土を組合せて混合処理(粒度調整や強度改善)し、利用用途に応じた品質の盛土材を製造するものです。また、混合処理目的により石灰・固化材を添加することも可能です。本技術の利用により、従来処分していた「不良土」を有効活用することができます。設備は、土砂ホッパ・計量コンベア・投入コンベア・万能土質改良機・排出コンベア等の組合せからなり、万能土質改良機は、4軸直列混合方式、同時計量混合方式の採用により均一な品質の混合処理土の製造が可能です。本技術により製造された混合処理土は、主に堤防強化事業やスーパー堤防事業の盛土材として活用されています。

施工実績 仙台河川国道事務所 仙台湾南部海岸深沼南工区北部第一復旧工事
北上川下流河川事務所 鳴瀬川船越地区外築堤工事、鳴瀬川中流部掘削改良工事、
鳴瀬川左岸地区掘削改良工事、鳴瀬川二郷地区掘削改良工事

●部署: 土質改良事業部
●URL: <http://www.okunokotoh.jp>

●TEL: 072-675-0388
●営業時間: 8:00~17:00

●FAX: 072-671-9565
担当者: 松本

技術番号 060 プース番号 A-36 NETIS: KK-120039-A

「すきとり表土」分別工法

復旧・復興

技術番号 060 プース番号 A-36

(株)オクノコトー



土木工事等で発生する「すきとり表土」から草根茎を除去し、土砂を再利用する工法

本技術は、土木工事等で発生する「すきとり表土」(草根茎が付着した土砂)を「解砕」して草根茎と土砂に効率よく「分別」し、土砂を再利用する工法です。表土分別装置は、回転するドラム内を「解砕エリア」と「分別エリア」に区分し、「解砕エリア」では回転ドラムとは別駆動の解砕羽根による打撃で土塊を解砕し、「分別エリア」ではふるい網により土砂と草根茎に分別します。設備は、土砂ホッパ、投入コンベア、表土分別装置、排出コンベア(アンダー)、排出コンベア(オーバー)等の組合せからなります。

施工実績 塩釜港湾・空港整備事務所 仙台空港B滑走路外(災害復旧)改良外工事
仙台空港(災害復旧)用地造成工事

●部署: 土質改良事業部
●URL: <http://www.okunokotoh.jp>

●TEL: 072-675-0388
●営業時間: 8:00~17:00

●FAX: 072-671-9565
担当者: 松本

技術番号
061

ブース番号
A-37

NETIS : KT-100110-A

安全建設気象モバイル KIYOMASA

技術番号
061

ブース番号
A-37

株式会社ライフビジネスウェザー



●部署：現場支援グループ
●URL：http://kiyomasa.lbw.jp/

NETIS唯一の気象予測!! 現場の空をお守りする 緊急災害対策システム!

- ・雨や風は、工事中止基準に条件を合わせ、設定値以上の予測をメールで知らせてくれる
- ・雷と竜巻は、危険性が高い場合にアラームを送信。熱中症は、具体的な対応策まで表示
- ・帳票出力機能で過去気象データを取り出し、工事中止の証明や技術提案の履行証明に
- ・スピーカーや回転灯などと連携でき、警報を確実に届けてくれる
- ・衛星電話に対応し、携帯やPCが使えない環境でも天気急変を知る事ができる

施工実績 全国3000現場以上の実績のうち、東北地方整備局143件 東北地方の自治体96件
 ・女川漁港宮ヶ崎岸壁災害復旧工事・災害廃棄物処理業務（気仙沼ブロック（南三陸処理区））・北上川下流長面・釜谷地区築堤工事・仙台湾南部海岸深沼南工区第1復旧工事※警報装置連動使用・災害廃棄物処理業務（巨尾名取ブロック（山元処理区））など

●TEL：03-3668-6142 ●FAX：03-3668-6145
 ●営業時間：24時間年中無休

担当者：佐藤、櫻本、高橋

技術番号
062

ブース番号
A-37

NETIS : KT-100110-A

安全建設気象モバイル KIYOMASA “KAIHO”

技術番号
062

ブース番号
A-37

株式会社ライフビジネスウェザー



●部署：現場支援グループ
●URL：http://kiyomasa.lbw.jp/

津波・高波・高潮などの危険を直ちに通知 東北復興のための気象・海象予測&警報システム★

- ①最大一週間先までの波の予測や週間天気図をグラフとマップで表示
- ②波は有義・最大波と周期、風は平均風速だけでなく最大瞬間風速まで表示
- ③作業・出航場所などピンポイントで3地点登録でき、沿岸100kmまで対応
- ④津波警報をメールで受信でき、到達時刻や津波の高さの確認もできる
- ⑤海上警報や高波・高潮等の警報を直ちにメールで通知
- ⑥スピーカーや回転灯などと連携でき、警報を確実に届けてくれる

施工実績 全国150地点を超える実績。相馬港本港地区防波堤（沖）（災害復旧）本体工事、その他、石巻港や釜石港などの復旧工事で利用中。

●TEL：03-3668-6142 ●FAX：03-3668-6145
 ●営業時間：24時間年中無休

担当者：佐藤、櫻本、高橋

技術番号
063

ブース番号
A-37

NETIS : CB-090021-V

新KIYOMASA 粉塵飛散対策システム

技術番号
063

ブース番号
A-37

株式会社ライフビジネスウェザー



●部署：現場支援グループ
●URL：http://kiyomasa.lbw.jp/

◆◆周辺環境対策に粉塵飛散予測◆◆ 1日2回のメールで確認 的確な散水計画を

【予測】 KIYOMASAの高解像度気象予測データを使用。風向・風速・湿度・地面状態などさまざまな要素を取り入れて、粉塵の飛びやすさをマップと指数で表示。

【特長】 粉塵がどの方向に飛びやすいかを視覚的に判断できる。1時間ごと24時間先までの表示で時間ごとの対応が可能。午前・午後の1日2回メールで配信。

【効果】 発注者や周辺住民にデータを公開し環境対策のアピールに。効果的な散水計画を立て水や時間のロスを削減し環境にも配慮。朝礼や会議でのメール確認で作業員の意識づけに。工場やその他の飛散物に対して応用可能。

施工実績 全国5現場 東北地方向けに新規リリースしました。

●TEL：03-3668-6142 ●FAX：03-3668-6145
 ●営業時間：24時間年中無休

担当者：佐藤、櫻本、高橋

技術番号
064

ブース番号
A-38

NETIS : CB-090021-V

FILL WALL 工法

技術番号
064

ブース番号
A-38

FILL WALL工法協会・ウォールプロテクト工法協会



●部署：矢作建設工業(株) 東北支店
●URL：http://yahagi.co.jp

盛土補強土壁工法 FILL WALL 工法

FILL WALL工法の画期的な点は、従来の盛土補強土壁工法が、支圧抵抗または摩擦抵抗のいずれか一方の効果により安定を保っているのに対し、支圧抵抗と摩擦抵抗の両方を組み合わせ、双方の効果で安定を保つ点である。

盛土材と補強材との相互の拘束効果により、盛土全体を安定させている事に加え、支圧抵抗と摩擦抵抗を効果的に組み合わせ、補強材1本当たりの負担する引抜き抵抗力を高める事を可能にした。また初期変状の低減や施工性の向上が図れ、複合防災、生活道路盛土等に有効な工法である。

施工実績 平成23年度 入谷地区構造物工事（仙台河川国道事務所）

●TEL：022-268-5241 ●FAX：022-268-2255
 ●営業時間：8:30～17:00

担当者：大塚 毅

技術番号 065 ブース番号 A-38 ウォールプロテクト工法

復旧・復興

技術番号
065
ブース番号
A-38

FILL WALL工法協会・ウォールプロテクト工法協会

コンクリートはく落防止工法 ウォールプロテクト工法



ウォールプロテクト工法はポリウレタ樹脂を使用したコンクリートはく落防止工法です。従来のシート張や塗装工法では複雑な形状への対応が困難でしたが、当工法は吹付けガンによる施工のため、適用範囲が広く施工性に優れています。目標強度に応じて2種類のラインナップがあり、対象構造物の規模や重要度、施工条件に合わせてより経済的な設計が可能となりました。また、施工工程が少ないため、工期の短縮が図れ、特に鉄道工事や幹線道路規制など時間制限のある場合に有効な技術です。現在までに、NEXCO、愛知県、名古屋鉄道など多くの実績を有しています。

●部署：矢作建設工業(株) 東北支店
●URL：http://yahagi.co.jp

●TEL：022-268-5241
●営業時間：8:30～17:00

●FAX：022-268-2255

担当者：大塚 毅

技術番号 066 ブース番号 A-39 津波避難の階段工「エールプレート」

復旧・復興

技術番号
066
ブース番号
A-39

インフラテック株式会社

軽量で施工性に優れた、階段蹴上げ部に特化した残存型枠です。津波避難の階段構築に多くの採用を頂いています。



GRC（耐アルカリ性ガラス繊維補強セメント）製なので、15mmという薄肉形状で、コンクリートの打設圧に対抗できる強度を有します。従来の合板型枠による型枠工事は、蹴上げ部1段ずつ細かく分かれており煩雑でした。エールプレートを使用すると、残存型枠なので脱型工程が不要であるとともに、作業効率も大幅にアップします。

施工実績 国道6号常磐バイパス緊急時避難階段（磐城国道事務所）
国道45号山田道路津波避難階段（三陸国道事務所）
仙台東部道路津波避難階段（NEXCO東日本）

●部署：インフラテック(株) 総合技術研究所 研究開発課
●URL：http://www.infratec.co.jp/

●TEL：0995-65-6998
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：0995-64-5801

担当者：蓬原康志

技術番号 067 ブース番号 A-39 道路路肩の防草工「GSボードライト」

復旧・復興

技術番号
067
ブース番号
A-39

インフラテック株式会社

GRCの特長を生かし、軽量化による優れた施工性をもつ道路の環境改善を目的とした法面草押え版です。



GSボードライトは、歩道部・車道部に設置し雑草による車両の視線誘導の障害、歩行者の通行障害を防ぎ、除草作業の問題を解消した製品です。その他、以下の特徴があります。

- ・GRC素材の薄肉版で軽量ですので、人力での運搬・施工が可能で施工性がよく、生コン車やクレーン車による交通規制も短くて済みます。
- ・専用金具により版を強固に連結し、天端コンクリートを打設するため、軽量でも強風等でめくれる心配がなく、隙間からの雑草の育成を抑制します。
- ・雑草へのタバコの投げ捨てなどによる火災の発生を防止します。

施工実績 釜石仙人峠道路（三陸国道事務所） 日本海沿岸道路（秋田河川国道事務所）
仙台北部道路（仙台海川国道事務所） 宮守東和道路（岩手河川国道事務所）等

●部署：インフラテック(株) 総合技術研究所
●URL：http://www.infratec.co.jp/

●TEL：0995-65-6998
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：0995-64-5801

担当者：島 佳奈子

技術番号 068 ブース番号 A-40 箱抜用「ワインディングパイプ」

復旧・復興

技術番号
068
ブース番号
A-40

(株)栗本鐵工所 東北支店

コン柱、照明灯用コンクリート基礎の型枠用パイプ。陸打堤防カーテンウォール向け鋼管杭等の箱抜きパイプ。マスコンクリート防止冷却用パイプ。



ワインディングパイプはリブ付スパイラル鋼管として様々な用途として使用出来ます。通常、箱抜は木枠等で施工しますが、本工法は材料が薄肉厚の鋼板であり、コンクリートや土砂に対する適応性があるので、捨て型枠として利用出来ます。また、管体形成されている螺旋状のリブとハゼにより、外圧に対して高い抵抗力を持ち、パイプとコンクリートの付着力を増大させ、形状的にもパイプの内面とコンクリートを強固に一体化させます。現場へは寸法リスト通りの長さ加工して納入致します。よって、現場での取り廻し易さ・施工の簡略等により、生産性向上に寄与出来ます。

施工実績 道路の各種照明灯基礎、標識基礎、携帯電話基地局アンテナ基礎の型枠パイプ。
下工、堤体向けマスコンクリート防止冷却用パイプ。

●部署：建材事業部 東北営業課
●URL：http://www.kurimoto.co.jp

●TEL：022-227-1882
●営業時間：8:30～17:25

●FAX：022-227-1884

担当者：梶木恒介

技術番号
069

ブース番号
A-41

NETIS: KT-130010-A

フル・ファンクション・ペープ (FFP)

復旧・復興

技術番号
069

ブース番号
A-41

株式会社 ガイアート T・K



排水性機能と防水機能を併せ持つ多機能型排水性舗装

フル・ファンクション・ペープの特徴
 ①排水機能と防水機能の2つの機能を併せ持つ ②耐流動性と骨材飛散抵抗性に優れている ③散布した凍結防止剤を保持し凍結防止機能の持続性を高める ④路面が粗面となり、ブラックアイスバーンになり難い ⑤排水性舗装と同様の路面のキメ深さが得られ、タイヤ路面騒音値が低減される

FFPの提案箇所
 a) 寒冷地域の冬期路面対策が必要な幹線道路 b) 坂道や曲線部、トンネル出入口等すべり抵抗が求められる道路 c) 橋面舗装

施工実績 H24.7 県単道路補修工事(橋梁補修) A=300㎡(秋田県発注 秋田県秋田市)
 H24.10 津谷松岡舗装補修工事 A=2,860㎡(宮城県気仙沼土木事務所 宮城県気仙沼市)
 H24.12 落合道路改良舗装工事 A=5,460㎡(東北地方整備局岩手河川国道事務所 岩手県遠野市)

●部署: 東北支店 営業部・工事部
●URL: <http://www.gaeart.com>

●TEL: 022-352-9377 ●FAX: 022-352-9388
●営業時間: 8:30~17:30

担当者: 林、佐藤、小池、浜崎

技術番号
070

ブース番号
A-41

NETIS: KT-090058-A

延長床版システムプレキャスト工法

復旧・復興

技術番号
070

ブース番号
A-41

株式会社 ガイアート T・K



橋梁遊間部の伸縮装置を土工部に移すもので、環境(騒音・振動)対策に優れた工法

延長床版システムプレキャスト工法の効果
 ①車両による騒音・振動の低減 ②土工部の沈下による段差の防止 ③橋梁に対する衝撃の緩和
 ④遊間部からの漏水での桁端・支承の劣化の防止で、橋梁の健全度を維持 ⑤スムーズな走行性、快適な乗り心地 ⑥ライフサイクルコストの削減 ⑦震災時に緊急輸送車両の通行帯確保 ⑧現在供用中の橋梁補修にも対応可能

施工実績 H17.11 銚子橋(鋼・PC複合橋)工事(宮城県 常磐道)、H18.12 あさか野バイパス針生高架橋(福島県 国道4号)、H20.6 三陸自動車道日野渡橋(下り)(宮城県登米市)、H21.3 あさか野バイパス針生高架橋(福島県 国道4号)、H21.3 三陸自動車道日野渡橋(上り)(宮城県登米市)

●部署: 東北支店 営業部・工事部
●URL: <http://www.gaeart.com>

●TEL: 022-352-9377 ●FAX: 022-352-9388
●営業時間: 8:30~17:30

担当者: 林、佐藤、小池、浜崎

技術番号
071

ブース番号
A-41

NETIS: CB-020006-V

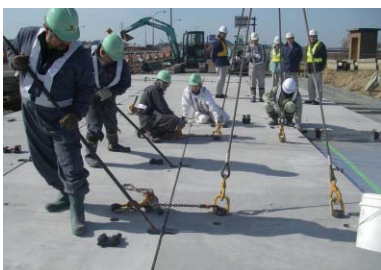
高強度PRC版

復旧・復興

技術番号
071

ブース番号
A-41

株式会社 ガイアート T・K



急速施工が可能で維持管理がしやすい、高品質・高耐久のコンクリート舗装版

高強度PRC版の特長
 ①急速施工を可能にした高品質のプレキャスト版 ②高強度コンクリート(60N/㎠)を使用 ③剛性を高めるためラチストラス鉄筋を使用 ④重加重に対して充分な耐荷性、耐久性を有するコッター式継手の採用 ⑤不同沈下対策としてリフトアップが可能 ⑥コッター式継手により版の目地部にプレストレスを導入

高強度PRC版の提案箇所
 a) 道路舗装…重交通路線・交差点・トンネル・アンダーパス・路面下空洞化対策等 b) 空港舗装…エプロン・誘導路の新設・補修等 c) …クレーン走行路・コンテナ版

施工実績 H24.7~11 勾当台地区舗装修繕工事 A=4,630㎡(仙台河川国道事務所発注 宮城県仙台市 R4号)

●部署: 東北支店 営業部・工事部
●URL: <http://www.gaeart.com>

●TEL: 022-352-9377 ●FAX: 022-352-9388
●営業時間: 8:30~17:30

担当者: 林、佐藤、小池、浜崎

技術番号
072

ブース番号
A-42

高性能洗浄装置を用いた汚染土壌の除染・減容化システム

復旧・復興

技術番号
072

ブース番号
A-42

佐藤工業(株) 東北支店



高圧ジェット水流とマイクロバブル渦崩壊を利用した2段階洗浄による放射能汚染土壌の除染・減容化システム

本システムは高圧ジェット水流を用いた土壌洗浄技術である「SKオンサイト土壌浄化システム」と、マイクロバブルを利用した当社独自の濁水処理システムを組合せた新技術です。グラウンド等のすき取り土壌を高圧ジェット水流装置とマイクロバブル渦崩壊装置で2段階の洗浄を行った後、振動ふるい・サイクロン装置で分級することにより、回収する洗浄土の放射能濃度の大幅な低減(除染効果)と最終処分が必要な放射性廃棄物の量の大幅な削減(減容効果)が可能です。またマイクロバブルを用いた浮上分離濁水処理装置により得られた処理水は土壌洗浄水として再利用し、除染作業完了後は処理水の放射能濃度を測定して安全性を確認後、放流します。

施工実績 ・(独立行政法人 日本原子力研究開発機構)平成23年度「除染技術実証試験事業」
 ・(福島県泉崎村)泉崎村公共施設除染作業業務

●部署: 多角化事業統括部 土壌・水関連事業ユニット
●URL: <http://www.satokogyo.co.jp/>

●TEL: 03-3661-2650 ●FAX: 03-3661-1604
●営業時間: 9:00~17:30

担当者: 楠岡弘康、菅谷洋一、片野富雄

技術番号
073

ブース番号
A-43

NETIS : CB-990024-V

プレキャストコンクリート基礎工「ベースブロック」

復旧・復興

技術番号
073

ブース番号
A-43

丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店



法覆工に使用する基礎工のプレキャスト製品

従来、河川・海岸等に用いられている護岸基礎工は、現地での型枠組立・コンクリート打設・型枠撤去といった工程により構築されてきました。しかし、降雨による河川の増水等による、水替設備の増設や作業員の増員等、工程の長期化に繋がる要因となっていました。こうした問題点を解決することを目的に開発された「ベースブロック」は、製品を敷設した後、中詰めコンクリート打設を行うことにより、護岸基礎工の構築が図れる製品です。

適用場所：現場条件に応じて、製品規格を選択することができ、スムーズな施工及び安全な作業環境の提供を実現し、平成21年度 準推奨技術（新技術活用システム会議（国土交通省））に選定されました。

海岸堤防タイプにおいては津波越流時の洗掘対策にも効果的であり、粘り強い構造を早急に構築することが可能です。

施工実績 仙台湾南部海岸堤防復旧工事（東北地方整備局 仙台河川国道事務所）
馬淵川沼館地区堤防護岸工事（東北地方整備局 青森河川国道事務所）
貝の浜西・本屋敷 海岸災害復旧工事（仙台地方振興事務所）
松ヶ島工区農地海岸堤防災害復旧工事（宮城県東部地方振興事務所）

●部署：丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店
●URL：http://www.maruei-con.co.jp

●TEL：022-716-7781
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：022-265-8113
担当：仙台支店 営業課

技術番号
074

ブース番号
A-43

NETIS : CB-030066-A

大型矢板護岸「笠コンウォール」

復旧・復興

技術番号
074

ブース番号
A-43

丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店



大型矢板護岸プレキャスト工法

概要：大型笠コンクリート工をプレキャスト化した「笠コンウォール」は、困難である河川側（海側）での作業を不要とし、工期短縮、安全性・施工性の向上を実現した二次製品です。

特長：鋼矢板（鋼管矢板）に合わせた製品形状の内部に中詰めコンクリートを打設し構築できるため、従来困難であった支保工及び河川側（海側）足場工が不要となり、型枠工、鉄筋工等の特殊作業を大幅に低減することができます。製品表面部への修景加工も容易で、景観にも配慮できます。また、船舶の係留施設となる矢板式係船岸には類似品「ポートウォール」により対応が可能です。（CBK-040005）

施工実績 宮古港出崎地区－7.3m岸壁災害復旧工事（東北地方整備局 釜石港湾空港事務所）
女川漁港宮ヶ崎岸壁災害復旧工事（宮城県東部地方振興事務所）
女川漁港－7m岸壁災害復旧工事（宮城県東部地方振興事務所）
相馬港災害復旧工事（福島県相馬港湾建設事務所）

●部署：丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店
●URL：http://www.maruei-con.co.jp

●TEL：022-716-7781
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：022-265-8113
担当：仙台支店 営業課

技術番号
075

ブース番号
A-43

NETIS : CB-990025-V

矢板護岸「笠コンフレーム」

復旧・復興

技術番号
075

ブース番号
A-43

丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店



矢板式護岸プレキャスト工法

概要：現場打ち笠コンクリート工をプレキャスト化した「笠コンフレーム」は、困難である河川側（海側）での作業を不要とし、工期短縮、安全性・施工性の向上を実現した二次製品です。

特長：製品の高さ調整および固定が容易に行える専用金具を使用することで迅速な布設を可能とし、内部に中詰めコンクリートを打設することにより構築できるため、従来困難であった支保・足場工、型枠工、鉄筋工、溶接工等の特殊作業を排除することができます。また製品表面部への修景加工が容易で、景観にも配慮できます。

施工実績 舟入川・落し堀・高瀬川・橋本堀 排水路災害復旧工事（東北農政局 仙台東土地改良建設事業所）
梅田川河川災害復旧工事（仙台土木事務所）
黒松岡地災害復旧工事（仙台市役所）
二級河川隈待川・甲子川 災害復旧工事（岩手県沿岸広域振興局）

●部署：丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店
●URL：http://www.maruei-con.co.jp

●TEL：022-716-7781
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：022-265-8113
担当：仙台支店 営業課

技術番号
076

ブース番号
A-43

NETIS : CB-100008-A

プレキャスト高潮堤防護岸工法

復旧・復興

技術番号
076

ブース番号
A-43

丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店



高潮堤防護岸の構築における工期短縮を実現！

従来、河川・海岸の高潮堤防護岸工事では、緩勾配面への型枠設置や円形型枠などの熟練作業や、止水板およびスリップバーの設置により収縮目地スパン毎での施工が原則とされてきました。そこで、「プレキャスト高潮堤防護岸工法」は、製品を敷設後、現地でのコンクリート打設により、現場打ちと同様の仕様・性能を確保し、波返工・基礎工及び被覆工の構築が図れるコンクリート埋設型枠工法です。

施工実績 浜川歩道設置工事（東北地方整備局 磐城国道事務所）

●部署：丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店
●URL：http://www.maruei-con.co.jp

●TEL：022-716-7781
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：022-265-8113
担当：仙台支店 営業課

技術番号 077 プース番号 A-43 NETIS: CB-110051-A

プレキャストパラペット

復旧・復興

技術番号 077 プース番号 A-43

丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店

河川堤防の嵩上げを可能とした特殊堤



従来、洪水などによる越水対策で河川堤防の嵩上げを行う場合、盛り土や自立式の現場打ちコンクリート擁壁で構築されてきました。しかし、この場合、堤防天端幅が狭くなったり、河川側からの鉄筋組立、型枠設置に伴う危険作業及び足場、転落防止柵の設置が必要で長い工期を要していました。プレキャストパラペットは、堤防の天端に敷設することにより構築できる自立式の特殊堤で、大幅な工期短縮、スムーズな施工、安全な作業環境の提供を実現した製品です。

施工実績 鶴田川河川災害復旧工事（宮城県北部土木事務所）

●部署：丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店
●URL：http://www.maruei-con.co.jp

●TEL：022-716-7781
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：022-265-8113

担当者：仙台支店 営業課

技術番号 078 プース番号 A-43

残存型枠ブロック

復旧・復興

技術番号 078 プース番号 A-43

丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店

岸壁復旧工事の「腹付け工」のプレキャスト化



震災で崩壊した岸壁の復旧工事では、①工期短縮、②施工性、③安全性が求められています。これらの課題をふまえて、潜土の施工の容易さ、波力の検討等、改良を重ねて開発されたのが残存型枠ブロックです。

残存型枠ブロックは、方塊ブロック式、ケーソン式、セルラーブロック式、L型ブロック式、重力式などさまざまな岸壁復旧工事における「腹付け」でのプレキャスト化を実現しました。

施工実績 鮎川漁港岸壁復旧工事（宮城県東部地方振興事務所）
出島・寺間漁港岸壁復旧工事（宮城県東部地方振興事務所）

●部署：丸栄コンクリート工業株式会社 仙台支店
●URL：http://www.maruei-con.co.jp

●TEL：022-716-7781
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：022-265-8113

担当者：仙台支店 営業課

技術番号 079 プース番号 A-44

ソーラーLED

復旧・復興

技術番号 079 プース番号 A-44

青森環境開発株式会社

太陽光充電式LEDランプで「電気代ゼロ」！ 地球環境にやさしく、災害停電時に対応した照明システムです！



ソーラー
LED照明灯

東日本大震災の教訓を生かし開発したソーラー・LED照明灯です。地震等で夜停電した場合、津波警報が出て避難する時真っ暗で逃げ場がありません。手元の懐中電灯だけでは迅速な非難は不可能です。オプションになりますが、この街路灯に震感センサーと避難誘導サインの組合せで避難誘導灯の役割を果たします。住宅街から避難場経路に設置することで、住民の皆様を迅速に誘導することができます。

標準タイプの照明灯は、コントローラーは防水構造（保護構造基準IP68）で結露、水害でのトラブルを防ぎます。日没後8時間フル点灯で、バッテリーが充電状態で約3日間無充電使用が可能な設計になっています。

施工実績 大槌町 50基・山田町 24基・釜石市 50基・野田村 26基・気仙沼市 移動式基礎付
キタイプ 2基

●TEL：017-718-3344
●URL：http://www.aokankyo.com

●FAX：017-718-3345
●営業時間：9:00～17:00

担当者：高森公嗣

技術番号 080 プース番号 A-45 NETIS: KT-020065-V

SPADシステムによるエコチューブ工法（袋詰脱水処理工法）

復旧・復興

技術番号 080 プース番号 A-45

株式会社 ピーエス三菱

堆積泥土を透水性の袋に充填して脱水・減容化する工法で、 放射性物質汚染土の封じ込めと保管にも適用可能



エコチューブ工法は、透水性の袋に浚渫土などの高含水比堆積泥土を充填し、パッケージ化することで脱水・減容化するとともに、盛土や埋土材料として有効利用することが可能な工法です。東日本大震災の津波被害で閉塞した水路土砂を除去したのちに、地盤沈下・冠水箇所への有効利用が可能です。更に本工法は、放射性物質汚染土を袋に充填することで、脱水・減容化と袋体内への封じ込めが可能です。エコチューブに収められた高濃度の放射性廃棄物は、遮へい効果の高い銅スラグコンクリート製容器に保管することも可能です。銅スラグコンクリートは、産業副産物をリサイクル資源として活用するもので、比重が大きく良好な遮へい性能を保有しています。

施工実績 石巻市釜下水路浚渫

●部署：技術本部 技術部
●URL：http://www.psmic.co.jp/

●TEL：03-6385-8052
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：03-3536-6953

担当者：佐伯博之、加藤卓也、道端秀治、村井康康

技術番号
081

ブース番号
A-46

耐震・液状化対策 ジオ・ダブルサンド工法

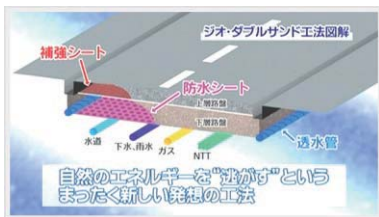
復旧・復興

技術番号
081

ブース番号
A-46

(株)茜谷

**広範囲の耐震、液状化対策を初めて可能にした、
自然のエネルギーを逃がすという全く新しい発想の工法です。**



本技術は、上層部の補強シートと下層部の防水シート及び透水管によって構成される。平常時には路面の圧密沈下やクラックを防止し、地震時には、流砂現象発生時、水分のみを透水管に導き、シートによって砂の噴出を迎える。よって舗装の破壊を防ぎ、緊急車両の通行が可能となる。さらに道路の長寿命化にも貢献できる一石三鳥の工法である。また価格が安く、施工性に富み、地震に強い工法である。地下埋設物にも容易に対応でき、イニシャルコスト・ランニングコスト共に、他工法の追随を許さない画期的な技術である。用途も道路・防潮堤・公園・グラウンド・宅地・波止場等、多岐にわたる。

施工実績 ①成田市市道(千葉県成田市) ②バルナショッピングセンター駐車場(茨城県稲敷市)
③平成24年度地震災害による道路修繕工事(千葉県香取市)

●部署：(株)茜谷 特販部
●URL：http://www.akaneya-sa.jp

●TEL：0234-26-1811 ●FAX：0234-26-1815
●営業時間：8:00～17:00

担当者：吉宮邦雄、茜谷聡

技術番号
082

ブース番号
A-47

NETIS: GS-090004-A WILL工法 (スラリー揺動攪拌工法)

復旧・復興

技術番号
082

ブース番号
A-47

WILL工法協会

WILL工法 (スラリー揺動攪拌工法)



WILL工法は、機動性に富むバックホウタイプベースマシンの先端に取り付けた揺動攪拌機構および特殊掘削補助装置により硬質地盤(N値40未満程度)から粘性土まで、幅広い土質に対応可能な中層混合処理工法です。オペレーターは、専用管理装置でリアルタイムに施工状況の確認が可能となり、改良体の品質向上に繋がっています。また、施工においては機動性に富むため機械移動時間が軽減され、日当たり施工量が増加します。東日本大震災の復旧事業においては、支持力増強・液状化対策などの目的で活用されています。

施工実績 大洗鹿島線災害復旧工事梶山工区
平成24年度巨理・山元農地海岸特定災害復旧事業海岸堤防災害工事

●部署：WILL工法技術委員会
●URL：http://www.will-koho.com

●TEL：092-513-0031 ●FAX：092-513-0032
●営業時間：9:00～17:00

担当者：市坪天士

技術番号
083

ブース番号
A-48

盛土の液状化変形抑制工法 (SECURE-G工法)

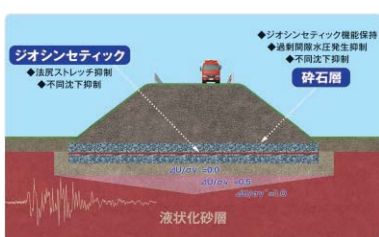
復旧・復興

技術番号
083

ブース番号
A-48

(株)ジオシンセティックス変形抑制工法研究会

津波多重防護施設の耐震性向上に活用できます。



非液状化層の碎石層の中に盛土底辺ストレッチ抑制補強材を敷設することにより、側方流動を無対策時の50パーセントレベル以下には抑え、沈下量を無対策時の70パーセントレベル以下には抑えて、かつ天端の不同沈下を大きく抑えます。

●部署：一般社団法人 ジオシンセティックス変形抑制工法研究会
●FAX：03-5844-3154 ●URL：http://secure21.com

●TEL：03-5844-3152
●営業時間：9:00～17:30

担当者：久保幹男

技術番号
084

ブース番号
A-49

サーファペイント ナノ化された中空ビーズを持つ遮熱断熱塗料 水分透過0%、ナノ分子、低価格を実現

復旧・復興

技術番号
084

ブース番号
A-49

(株)CRTワールド

汚れがつかない遮熱塗料、太陽光パネルの自己洗浄コーティング、コンクリートや木部を紫外線や汚染物質から守る長寿命保護剤などをご紹介します。

ナノテクノロジーに裏付けられた高性能環境資材で、すべての製品が水性で、施工性・安全性も高く長寿命です。塗るだけで低コストに環境問題や節電、エネルギー効果改善、素材の劣化防止などに高い効果を発揮します。建物の屋根、外壁、内壁、窓ガラス、エクステリア、床、タイル、ウッドデッキ、太陽光パネルなどあらゆる場所、さまざまな素材が抱える問題を改善することができます。また工場や食品加工場、冷凍倉庫などの床をスピーディに補修できる無機セラミック補修材もご紹介いたします。

出展資材：遮熱断熱塗料・汚れのつかない遮熱塗料・太陽光パネル防汚コート・浸透性保護剤・外壁防汚コートetc

施工実績 東北地方施工実績：仙台市戸建て住宅(屋根外壁遮熱塗装)、南三陸市幼稚園(ウッドデッキ・屋外通路保護)、弘前市事務所(屋上遮熱塗装)、弘前市役所(太陽光パネル防汚コーティング)

●部署：(株)CRTワールド 環境部
●URL：http://www.crt-shitaiji.com

●TEL：048-480-5321 ●FAX：048-479-8787
●営業時間：9:00～18:00

担当者：井桁

技術番号 プース番号 NETIS: KK-010027-V

085

A-50

電磁式流速・流向計

復旧・復興

技術番号 プース番号

085

A-50

JFEグループ



JFE アドバンテック 株式会社



樋門や樋管の流速・流向を高精度に測定、遠隔制御を強力にサポート

本装置は主に河川の樋門や樋管の流向（順流・停止・逆流）・流速を電磁式により直接検出します。内水位と外水位の差と水面の監視だけでは判別できない逆流を検知します。昨今の水害などの安全対策として、今後の樋門・樋管などの遠隔監視・ゲート制御用センサーとして最適です。水面検知機能付で空中露出時の誤動作を防止します。

施工実績 雄物川・赤川・最上川・阿武隈川流域など20箇所以上

●部署：水環境事業部 東北営業グループ
●URL：http://www.jfe-advantech.co.jp/

●TEL：022-711-7535
●営業時間：9:00～17:30

●FAX：022-711-7534

担当者：菊池秀次、藤村哲也、相原耕二

技術番号 プース番号

086

A-50

投込圧力式水位計

復旧・復興

技術番号 プース番号

086

A-50

JFEグループ



JFE アドバンテック 株式会社

多彩な分野・用途に対し、幅広い品揃えで対応している
投込圧力式水位計。水位監視や制御、観測に利用可能

河川や海水、上・下水、薬液に至るまで。多彩な分野・用途に対し、幅広いラインナップで対応しております。専用差動トランスを組み込んだ水位検出器は、堅牢な構造で衝撃に強く、故障が少なく、主要部に避雷回路を組み込み耐雷性抜群です。検出部には当社独自技術のペロフラム方式を採用することにより、寒冷地での凍結、ヘドロ堆積にも高い耐性を実現し樋門・樋管などの遠隔監視・制御用センサーとして最適です。

施工実績 東北地方整備局、県流域下水道事務所、市町村上下水道、東北農政局、東北電力、等

●部署：水環境事業部 東北営業グループ
●URL：http://www.jfe-advantech.co.jp/

●TEL：022-711-7535
●営業時間：9:00～17:30

●FAX：022-711-7534

担当者：菊池秀次、藤村哲也、相原耕二

技術番号 プース番号 NETIS: KK-050041-A

087

A-50

高精度河川用超音波流量計

復旧・復興

技術番号 プース番号

087

A-50

JFEグループ



JFE アドバンテック 株式会社

低周波・大出力センサー、流速分布解析ソフトにより、
洪水・高濁度水・広幅河川の高精度・連続流量観測を実現

低周波・大出力センサーの実用化により洪水時の高濁度下、下流域等の広幅河川に対応可能となり、実測流速とシミュレーションの組合せで洪水から低水位状態まで無人で高精度連続観測が行えます。流量情報の他にも流速、流向情報を得られるため河川情報が充実しリアルタイムでの情報をご活用頂けます。また、汽水域での観測も可能です。

施工実績 津軽農業水利事業岩木川左岸弓袋排水路、東北電力木戸川第3発電所、柳瀬発電所

●部署：水環境事業部 東北営業グループ
●URL：http://www.jfe-advantech.co.jp/

●TEL：022-711-7535
●営業時間：9:00～17:30

●FAX：022-711-7534

担当者：菊池秀次、藤村哲也、相原耕二

技術番号 プース番号

088

A-50

プレキャスト・ハイブリッド防潮堤

復旧・復興

技術番号 プース番号

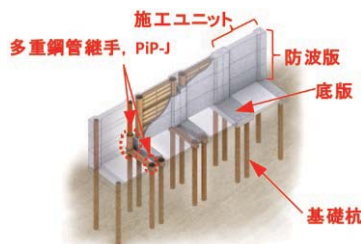
088

A-50

JFEグループ



JFE エンジニアリング株式会社

プレキャスト・ハイブリッド防潮堤は現地急速施工、狭隘地での
施工性向上、粘り強い構造を可能とする工法です。プレキャスト部材
のため、現地資材の需給動向に対して影響が大幅に軽減できます。

本工法は鋼とコンクリートのハイブリッド構造のプレキャスト部材（底版、防波版）と基礎杭から構成され、大幅に工期短縮が可能です。プレキャスト部材のため、現地資材の需給動向に対して影響が大幅に軽減できます。

支持層まで打設した基礎杭に底版と防波版を差し込み、隙間にグラウトを充填して一体化します。底版・基礎杭の結合部に多重鋼管継手（PiP-J）を適用することにより、コンパクトな断面ながら高耐力の防潮堤を実現しています。

●部署：鋼構造本部沿岸鉄構事業部営業部
●URL：http://www.jfe-eng.co.jp/

●TEL：045-505-7982
●営業時間：8:30～17:15

●FAX：045-505-8937

担当者：若菜、佐藤

技術番号
089

ブース番号
A-50

既設栈橋補強工法【深梁、ストラット工法】

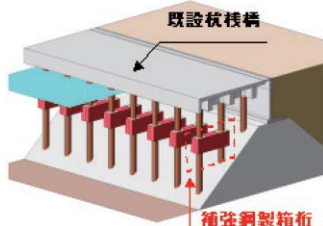
復旧・復興

技術番号
089

ブース番号
A-50

JFEグループ

JFE JFEエンジニアリング株式会社



『深梁、ストラット工法』は、床版を壊すことなく
栈橋の耐力を向上できる、既設栈橋の急速補強工法です。

杭式栈橋は、『劣化に対する長寿命化』『岸壁の増深に伴う本体補強』『震災による損傷や沈下に対する復旧』および『今後想定される大地震への対応』などの理由から、補修や補強などの計画が増えてきています。

本工法は、既設栈橋の杭同士を連結することにより、既設栈橋の耐力を向上させる工法です。床版を撤去せずに作業が可能であり、浮力を利用した施工方法とするため、大型起重機船も必要とせず、急速施工が可能です。栈橋上での作業を最小にできるため、岸壁の部分供用などの施工条件などに適応できる補強工法です。

●部署：鋼構造本部沿岸鉄構事業部営業部
●URL：http://www.jfe-eng.co.jp/

●TEL：045-505-7982
●営業時間：8:30～17:15

●FAX：045-505-8937

担当者：若菜、佐藤

技術番号
090

ブース番号
A-50

既設矢板岸壁補強工法【がんばんL(る)工法[®]】

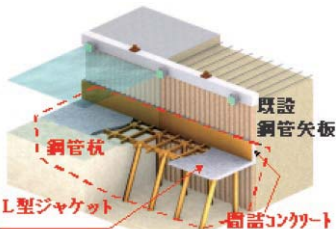
復旧・復興

技術番号
090

ブース番号
A-50

JFEグループ

JFE JFEエンジニアリング株式会社



【がんばんL(る)工法[®]】は、岸壁法線を変えずに
既設の矢板岸壁を補強する、経済的な急速施工工法です。

今後、既設の矢板岸壁では、老朽化による補強延命、あるいは、増深、耐震強化などでの機能向上が必要とされています。【がんばんL(る)工法[®]】は、既設矢板の前面海底部に、杭で固定されるL形ジャケットを設置し、矢板に作用する土圧の一部をジャケットにも負担させることにより、矢板岸壁を補強する工法です。L形ジャケットと矢板の間にはコンクリートを施工し、一体化させます。

『岸壁法線を変えない』『地盤改良工法より経済的』『岸壁前面からの施工により、岸壁を供用しながらの補強も可能』『岸壁エプロン部の地盤改良がなく、既設建屋などの移設が不要』等の特長を有します。

●部署：鋼構造本部沿岸鉄構事業部営業部
●URL：http://www.jfe-eng.co.jp/

●TEL：045-505-7982
●営業時間：8:30～17:15

●FAX：045-505-8937

担当者：若菜、佐藤

技術番号
091

ブース番号
A-50

港湾における防災商品

復旧・復興

技術番号
091

ブース番号
A-50

JFEグループ

JFE JFE建材株式会社



津波による漂流物を捕捉する減災技術や、高耐久な港湾築堤マットで
安全・安心な街・港湾づくりに貢献します。

①「津波バリアー」は、津波により発生した漂流物を水際で捕捉し、災害を減じる減災技術です。支柱間を捕捉スクリーンで結んだ構造で、漂流物の衝撃エネルギーを支柱の変形及び捕捉スクリーンの伸びで吸収します。「津波バリアー」は、高潮・津波バリアー研究会との共同研究によるものです。
②「ラグーンマット[®]」は、亜鉛めっき線にポリエチレン樹脂を密着被覆した線材を使用した高耐久な港湾築堤マットです。ポリエチレン樹脂は港湾の防食マニュアルを参考に標準被覆膜厚2.0mmとしています。中詰材には一般的な天然石材の他に、鉄鋼スラグを使用した人工石材を使用することもできます。

施工実績 ①「津波バリアー」：北海道（釧路港、十勝港、えりも港など）、高知県（須崎港）
②「ラグーンマット[®]」：茨城県（鹿島港）、東京都など

●部署：土木技術部
●URL：http://www.jfe-kenzai.co.jp/

●TEL：03-5644-1221
●営業時間：9:00～17:35

●FAX：03-5644-5413

担当者：浅井、吉田

技術番号
092

ブース番号
A-50

円筒シェル構造「プランクドーム」

復旧・復興

技術番号
092

ブース番号
A-50

JFEグループ

JFE JFE建材株式会社



プランクドームは、デッキプレート（プランクシート[®]）を曲げ加工して
ボルト接合により組み立てた円筒シェル構造です。

プランクドームは、軽くて高強度という優れた構造特性を有し、柱・梁が無く、大空間を短期間で構築できます。部材は工場ユニット製作され、組立てはボルトによるため、施工性の向上・コスト低減を図ることが可能です。スパンや高さ並びに長さのバリエーションが豊富なため、大きさや容量が自由に設定でき、一時避難所や備蓄倉庫としても使用できます。通常のデッキプレートと比べて板厚が厚いので、廃棄物処理施設の上屋などの過酷な条件下でも使用されています。また、プランクドームと遮蔽材を組合せた「プランクシールドドーム」は、放射線量の低減を図ることができます。

●部署：建材技術部
●URL：http://www.jfe-kenzai.co.jp/

●TEL：03-5644-1223
●営業時間：9:00～17:35

●FAX：03-5644-5413

担当者：渡辺、安岡、関

技術番号
093 ブース番号
A-50**夜間の道路で安心な走行環境を提供する防護柵商品**

復旧・復興

技術番号
093 ブース番号
A-50

JFEグループ

JFE JFE 建材株式会社



業界初。どんな角度から見ても視線誘導効果が抜群のボルトを標準装備したJFEガードレールです。

周囲の景観に調和したダークブラウン色のガードレールは、従来の白色に代わって近年急速に普及してきましたが、夜間は見えにくく危険であるという問題がありました。JFE 建材ではこの問題を解決するため、車のヘッドライトでドライバーの視認性を高める再帰反射ボルトを開発し、ガードレールに標準で装備することで景観と安全に大きく貢献致します。

施工実績 国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所 久慈地区環境整備工事
国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所 水沢管内舗装補修工事
国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所 古川・鳴子地区道路付属施設設置工事
宮城県東部土木事務所 南釜谷崎外道路災害復旧工事 ほか

●部署：道路技術部
●URL：http://www.jfe-kenzai.co.jp/

●TEL：03-5644-1265 ●FAX：03-5644-5413
●営業時間：9:00～17:35

担当者：松藤、岡本

技術番号
094 ブース番号
A-50**地震、強風に強い！安全性を追求した鉄骨構造の住まい「フレームキット®」**

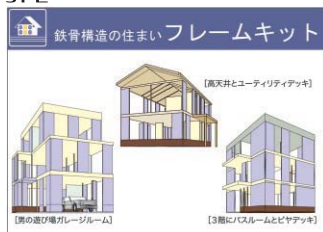
復旧・復興

技術番号
094 ブース番号
A-50

JFEグループ

JFE 鋼板 株式会社

JFE



強く、自由で、住みやすい！

平屋から3階建てまで、安全で長寿命住宅はJFEフレームキットで！

鉄骨と構造設計の共創から生まれた新しい構造体です。「JFE フレームキット®」は、木造軸組工法（在来工法）の柱、梁、筋交、土台などを鉄骨に置き換えたものです。鉄骨は耐久性、耐食性に優れた高耐食性溶融めっき鋼板を使い、合理的な構造設計に基づいて骨組みを組立てる鉄骨プレカット住宅用構造体です。鉄骨造の利点を生かしながら、自由な設計と従来にない大きな空間がとれることが特長です。これからの住宅に求められる安全・長寿命・住みやすさを兼ね備えた理構成部材 想的な住まいづくりが実現します。

●部署：東北支店
●URL：http://www.jfe-kouhan.co.jp/

●TEL：022-223-8591 ●FAX：022-267-1516
●営業時間：8:30～17:05

担当者：加藤、野田

技術番号
095 ブース番号
A-50**金属屋根における耐震改修のおすすめ**

復旧・復興

技術番号
095 ブース番号
A-50

JFEグループ

JFE 鋼板 株式会社

JFE



軽くて地震に強い『金属屋根』

同じ震度の地震でも、長い周期の成分が多い『長周期』タイプと短い周期の成分が多い『短周期』タイプがあります。それぞれ、どの周期成分が多いかで建物被害に特徴がでます。『長周期』タイプの揺れは“建物全体が大きく揺れる”特徴があり、また『短周期』タイプの揺れは“建物が小刻みに揺れる”という特徴があります。地震発生エリアの予測はある程度できても、どのように揺れるかまで予測するのは困難です。この2つの揺れに備える対策として、軽くて地震に強い金属屋根をお勧め致します。

●部署：東北支店
●URL：http://www.jfe-kouhan.co.jp/

●TEL：022-223-8591 ●FAX：022-267-1516
●営業時間：8:30～17:05

担当者：加藤、野田

技術番号
096 ブース番号
A-50**自然に優しい鋼の道、メタルロード工法**

復旧・復興

技術番号
096 ブース番号
A-50

JFEグループ

JFE JFE シビル株式会社



多柱式立体ラーメン構造のため耐震性に優れ、主に中山間部の急傾斜地における道路建設に適します。

- ・多柱式立体ラーメン構造で耐震性に優れ、本設道路に使用できます。
- ・短尺軽量のプレハブ部材で構成され、部材運搬や架設が容易で施工性に優れます。
- ・手延べ施工により、既存交通を確保しながら拡幅工事を行うことができます。
- ・地形や植生など自然環境への影響が最小限で済み、環境保全に優れます。
- ・地形条件に合わせて杭、桁を配置できるため、柔軟性に富んだ計画が可能です。

施工実績 ・長井ダム県道代替西板平下地区（国土交通省 東北地方整備局 長井ダム工事事務所）
・津軽ダム県道代替二ツ井線宮元地区（国土交通省 東北地方整備局 津軽ダム工事事務所）
・国道347号 宇津野、柳瀬道路改良（宮城県北部土木事務所）
ほか国土交通省、各都道府県を中心に全国で430件

●部署：社会基盤事業部 メタルロード営業部
●URL：http://www.jfe-civil.com/doboku/metalroad/

●TEL：03-3864-3661 ●FAX：03-3864-7319
●営業時間：9:00～17:45

担当者：手島孝義、片岡 大

技術番号 プース番号 NETIS: KT-080011-A

097

A-50

高周波数の音響波を用いた音響トモグラフィ地盤探査

復旧・復興

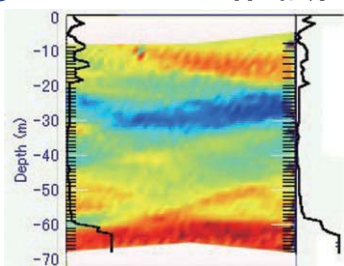
技術番号 プース番号

097

A-50

JFEグループ

JFE JFEシビル株式会社



高周波数の音響波を用いて見えない地下を見える化！ 基礎構造の経済性向上に貢献します。

- ・特殊な音波を用いて地下の様子を非破壊で可視化します。
- ・基礎構造物構築、軟弱地盤対策、推進工事の地盤調査に力を発揮します。
- ・地盤を正確に把握できるため、安全で経済的な設計ができます。
- ・地下障害物や空洞の位置や大きさを知ることができます。
- ・既設構造物の下や交通量の多い場所でも調査できます。

施工実績 ・地盤空洞調査（宮城県、民間、2011）
・炭坑跡空洞調査（福島県、民間、2010）

●部署：社会基盤事業部 都市基盤営業部
●URL：http://www.jfe-civil.com/doboku/ontomo/

●TEL：03-3864-2982

●FAX：03-3864-7319

●営業時間：9:00～17:45

担当者：中谷雅也

技術番号 プース番号

098

A-50

車両や車椅子による避難も可能にするメタルパーク®

復旧・復興

技術番号 プース番号

098

A-50

JFEグループ

JFE JFEシビル株式会社



津波避難と仮設避難所機能を兼ね備え、 平常時においても付加価値の高いビル型駐車場

平常時には自走式駐車場として機能し、災害時には避難活動で活躍する消防士、消防団等の車両での避難が可能になるので、活動される皆さまの安全確保を目的とした避難所として利用できます。また救援を待つ間の避難民の生命を守るための基本的機能を持つことが可能です。ゆるやかな車路は、高齢者や車椅子を必要とする方々の避難経路としても有効です。外壁がないので津波の波力を受けにくい構造です。1層2段から5層6段までを標準化しており、多様な敷地形状に対応するために、昇降方法も複数取り揃えています。また国土交通省または日本建築センターの認定を取得した高い信頼性を誇ります。

●部署：システム建築事業部 立体駐車場営業部
●URL：http://www.jfe-civil.com/ricchu/index.html

●TEL：03-3864-5296

●FAX：03-3864-5844

●営業時間：9:00～17:45

担当者：中西祐士

技術番号 プース番号 NETIS: CB-040062-V

099

A-50

テールアルメ工法 A3

復旧・復興

技術番号 プース番号

099

A-50

JFEグループ

JFE商事 テールワン 株式会社

JFE



～半世紀に渡る信頼と実績～

抜群の実績と安心感を誇るスタンダードタイプのテールアルメ

フランス語で「補強土」を意味するテールアルメ工法は、1963年に開発されて以来、日本国内でおよそ1,000万㎡におよぶ実績を有する工法です。これまでのノウハウを駆使して経済性を向上させたテールアルメ A3、これからのスタンダードタイプのテールアルメです。

●部署：JFE商事テールワン株式会社 東部営業本部 仙台事業部
●URL：http://www.terrearmee.com

●TEL：022-225-8366

●FAX：022-225-8360

●営業時間：9:00～17:45

担当者：永倉、斉藤

技術番号 プース番号 NETIS: CG-100020-A

100

A-50

アクアテール35

復旧・復興

技術番号 プース番号

100

A-50

JFEグループ

JFE商事 テールワン 株式会社

JFE



～日々進化を続けるテールアルメ～

安定感を増した壁面材と盛土材料の厳選で水辺に特化。

水辺専用の補強土壁として初めてNETISに登録されました。

アクアテール35は、様々な水辺のシチュエーションでも適用できるテールアルメです。分厚い壁面材は組立時の安定感が抜群。流水に対する安定性を確保しつつ、塩害地域での適用にも向いています。施工性もテールアルメと一緒なので、短期間で水辺構造物の施工が可能です。

●部署：JFE商事テールワン株式会社 東部営業本部 仙台事業部
●URL：http://www.terrearmee.com

●TEL：022-225-8366

●FAX：022-225-8360

●営業時間：9:00～17:45

担当者：永倉、斉藤

技術番号 101 ブース番号 A-50 NETIS: CB-980117-V
NEW テクスパン

復旧・復興

JFEグループ

JFE商事 テールワン 株式会社
JFE


NEW コンセプトアーチとして3種類の標準タイプが登場

テクスパン工法は3点ヒンジの静定構造物であり、薄いアーチ部材と盛土との一体化を図る工法です。

従来は、現場状況に合わせたオーダーメイドタイプが主流でしたが、JFE 商事テールワン(株)では3タイプの標準化したアーチに特化。標準化アーチの検討条件に見合えば、これまでのオーダーメイドに比べ、簡単且つ安価なテクスパンを提供いたします。

●部署: JFE商事テールワン株式会社 東部営業本部 仙台事業部
 ●FAX: 022-225-8360 ●URL: <http://www.terrearmee.com>

●TEL: 022-225-8366
 ●営業時間: 9:00~17:45

担当者: 永倉、斉藤

技術番号 102 ブース番号 A-50
JFE の鋼管杭向け機械式継手

復旧・復興

JFEグループ

JFE JFEスチール株式会社



JFE の鋼管杭向け機械式継手により、現場での継杭作業を容易かつ確実に短時間で完了させることができます。

JFE の鋼管杭向け機械式継手は、回転嵌合式で多条平行ねじ構造の「ハイメカネジ™」、回転が不要な差込式で打撃工法による施工も可能な「カシーン®」、地滑り抑止杭用で厚肉の鋼管にも対応可能な「JFEネジール®」から、用途や施工条件に応じて選択することが可能です。いずれも、継杭作業時間が現場溶接と比べて大幅に短縮が可能で、容易かつ確実に接合でき、圧縮・引張・曲げに対して鋼管杭本体と同等以上の強度が確保されます。

●部署: JFEスチール(株) 建材センター 建材開発部
 ●URL: <http://www.jfe-steel.co.jp/products/construction/items/kashin/index.html>

●TEL: 03-3597-4518
 ●FAX: 03-3597-4530
 ●営業時間: 9:00~17:30

担当者: 岡 由剛

技術番号 103 ブース番号 A-50
JFE の建築構造用高強度鋼材

復旧・復興

JFEグループ

JFE JFEスチール株式会社



JFE の製造技術により、高強度かつ高靱性、高溶接性の建築構造用鋼材を提供できます。

JFE が世界に先駆けて開発したTMCP (Thermo Mechanical Control Process: 熱加工制御) 技術を適用することにより、高強度かつ高靱性、高溶接性の建築構造用鋼材HBLシリーズを提供できます。強度クラスは引張強度に応じて、490N/mm²鋼「HBL325B・C」、520N/mm²鋼「HBL355B・C」、550N/mm²鋼「HBL385B・B-L・C」、590N/mm²鋼「HBL440B・C」をレパートリーとして取り揃えています。何れの鋼種についても国土交通大臣認定を取得しています。

●部署: JFEスチール(株) 建材センター 建材開発部
 ●URL: <http://www.jfe-steel.co.jp/products/building/items/hbl385/index01.html>

●TEL: 03-3597-3562
 ●FAX: 03-3597-3825
 ●営業時間: 9:00~17:30

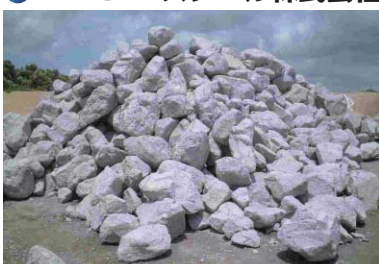
担当者: 高木伸之、村上行夫、伊藤高一

技術番号 104 ブース番号 A-50 NETIS: KT-100071-A
JFE の鉄鋼スラグ水和固化体

復旧・復興

JFEグループ

JFE JFEスチール株式会社



JFE の鉄鋼スラグ水和固化体は、自然石やコンクリート製品に代わる製品で、天然資源保護、CO₂削減、海域環境改善の機能を併せ持つ環境資材です。

JFE の鉄鋼スラグ水和固化体は、鉄鋼副産物の「高炉スラグ微粉末」、「製鋼スラグ」と水をコンクリートのようになじかし、水和反応を利用して固化させるもので、使用目的に応じて必要な形状、寸法に成形することができます。人工石材や波消ブロックなど、自然石やコンクリート製品などに代わる環境資材としてご利用いただけます。工事用資材のほかに、藻場礁などの環境整備資材としての実績も多々あります。

●部署: JFEスチール(株) スラグ事業推進部
 ●URL: <http://www.jfe-steel.co.jp/products/slag/ff/index.html>

●TEL: 03-3597-3635
 ●FAX: 03-3597-3415
 ●営業時間: 9:00~17:30

担当者: 鈴木 操

技術番号
105

ブース番号
A-50

非破壊検査技術と環境技術での調査技術ソリューション

復旧・復興

技術番号
105

ブース番号
A-50

JFEグループ



JFE テクノリサーチ 株式会社



赤外線カメラによる応力解析

材料の試験、評価、解析および環境技術・調査をご提案いたします。

高性能赤外線カメラを使用し、材料の応力分布や欠陥検出などの非破壊検査技術をご紹介します。

また、大気、水質、土壌等の環境調査を行い、環境に対するリスクアセスメント技術をご提案します。

●部署：JFEテクノリサーチ(株) 東京営業所
●URL：http://www.jfe-tec.co.jp

●TEL：03-5821-6826

●FAX：03-5821-6855

担当者：熊田

技術番号
106

ブース番号
A-50

電気設備の施工・補修技術

復旧・復興

技術番号
106

ブース番号
A-50

JFEグループ



JFE 電機株式会社


鉄鋼の現場で培ってきた各種技術（保守、機器設計制作）や過酷な環境での設備ノウハウをベースにお客様に最適な提案を行います。

■塩水冠水した電動機の絶縁回復（例：左写真）
全国ネットの電機工場で大規模設備を利用し、数多くの電動機を早期に絶縁回復出来ます。

■遮断器など重要電気設備の延命化ソリューションを提供致します。

■各種大規模電気工事（空港、東京ゲートブリッジ、大学等）の実績も多数あります。

●部署：営業本部
●URL：http://www.jfe-densei.co.jp

●TEL：03-5405-8110

●FAX：03-5405-8865

●営業時間：8:30～17:00

技術番号
107

ブース番号
A-50

機械設備の総合エンジニアリング技術

復旧・復興

技術番号
107

ブース番号
A-50

JFEグループ



JFE メカニカル株式会社


製鉄所で培われた高度な技術力でお客様のお役に立ちます。

当社は、製鉄所における機械系設備分野での機能分担会社として、永年にわたり設備の建設やメンテナンス業務に携わってきました。製鉄所で培われた高度な技術力を有していることは言うに及ばず、「クレーン等をはじめとする各種産業機械製作」「各種設備診断技術」にも多くの実績を有しています。

「各種設備の設計・製作・据付工事」「提案型・問題解決型のメンテナンス工事」「各種産業機械製作」「大型鉄鋼構造物製作」等で、お客様のお役に立ちます。

●部署：営業本部 京浜営業部
●URL：http://www.jfe-m.co.jp/

●TEL：044-299-5497

●FAX：044-270-6216

●営業時間：8:30～17:10

担当者：小野田康男

技術番号
108

ブース番号
A-50

仮設橋梁

復旧・復興

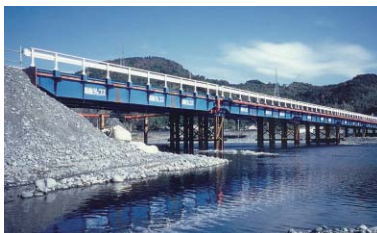
技術番号
108

ブース番号
A-50

JFEグループ



ジェコス株式会社


ジェコス仮設橋梁は、工事用栈橋や迂回路橋等様々な用途や荷重条件に対応できる鋼鉄桁のプレファブ橋梁です。

- ・応急橋、災害復旧、工事用栈橋は勿論、橋梁架け替え時の迂回路橋としても利用可能です。
- ・各部材は軽量で運搬、施工し易いので、現場搬入後は迅速に組立てて供用できます。
- ・適用スパンは14m～36m迄の2mピッチ。幅員は2m単位で制限なく可能です。
- ・主桁高さは、条件に応じて3タイプ（桁高＝1049mm、1200mm、1495mm）
- ・道路橋示方書に準拠しており強度が高く、一般交通の通行も可能です。
- ・リース方式で再利用するので経済的で、スクラップ等発生せず環境負荷は低減します。

●部署：橋梁事業推進部

●TEL：03-3660-0767

担当者：古室、小林

NIKKO 日工セック株式会社



ステップ1枚を動かすだけでタラップ全体のステップが同時に可動、15～70度の11段階でワンタッチ調整が可能

さまざまな傾斜角度である法面・斜面等の工事現場において、その角度調整が一括にて行えるユニット型の傾斜自在階段です。アルミ合金製で軽量かつ、長さ（1400mm・2450mm・3850mm）ステップ幅（450mm・600mm・740mm）とバリエーションも豊富に取り揃えており、安全な昇降通路の確保と施工時間の短縮が可能になります。その他、建築工事や常設設置階段としても利用されており、津波対策等避難通路としても数多く採用されています。

●部署：日工セック株式会社 東北営業所
●URL：http://www.nikkosec.co.jp

●TEL：022-266-2601

●FAX：022-266-2604

担当者：馬場 正

株式会社 清都組



20mを1日/回で打設。工期短縮とコスト削減に加え常に品質が確認できる。打設高が自由に取れ目視施工可能な工法。

1.【工程短縮】MAX20mまで1回で打設可能。2.【職人不足解消】職人3：7作業員の割合で十分施工可能。3.【打継ライン減少】コールドジョイントラインが平になる。更に、コンクリート天端が波打たない。4.【安全対策】足場から打設可能で安全性が高い。5.【品質】打設ホースを曲げることで直接コンクリートが落ちず分離がない。目視でパイプ掛けが可能であり、パネル溝にサネを入れることで砂走り防止。

施工実績 宮城県：新鳴合橋新設工事
岩手県：下閉伊地区道路工事

●部署：管理課
●URL：http://www.kiyotogumi.jp

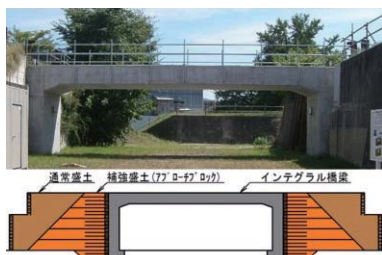
●TEL：0133-64-7050

●FAX：0133-64-7051

●営業時間：8:00～18:00

担当者：清都一章

東急建設株式会社



高耐震性・低建設コスト・低維持管理コストを実現した新橋梁形式

補強盛土一体橋梁とは、インテグラル橋梁の背面盛土を補強土構造とし、橋梁と背面盛土とをジオテキスタイルを介して一体化させた橋梁です。インテグラル橋梁は、支承を有しないため、従来式橋梁と比べ、地震時の支承部の損傷やメンテナンスの問題は解消されましたが、橋桁の温度伸縮に伴う背面盛土の沈下とそれに伴う土圧の増加が新たな問題となっていました。この欠点への対処として、橋梁背面盛土に補強土工法を採用するとともに、橋梁と一体化することにより、高い耐震性の確保と背面盛土の沈下を抑制する新橋梁形式を確立しました。本技術は、(公財)鉄道総合技術研究所、東急建設、鹿島建設、鉄建建設、複合技術研究所、クラレの6社で共同開発されました。

施工実績 北海道新幹線 中学校線Bv
三陸鉄道北リアス線復旧工事 松前川橋りょう、コイコロベ沢B、ハイベ沢B

●部署：土木本部 土木技術設計部
●URL：http://const.tokyu.com/

●TEL：03-5466-5322

●FAX：03-3797-7547

●営業時間：9:00～18:00

担当者：白仁田

東急建設株式会社



放射性物質に汚染された防火水槽やため池などの水を浄化する除染技術

池や湖沼での水質改善を目的に開発された濁水処理装置について放射性物質の吸着・浄化作用もあることに着目しました。東日本大震災以降、除染作業に活用できるよう実験及び改良を重ね、新しい浄化装置として開発しました。本装置は車載型でコンパクトであるため防火水槽やプール、小規模な調整池のたまり水に対して効果を発揮いたします。

施工実績 平成24年度第1回福島県除染技術実証事業にて福島県内防火水槽で実施

●部署：土木本部 環境技術部
●URL：http://const.tokyu.com/

●TEL：03-5466-5183

●FAX：03-3797-7547

●営業時間：9:00～18:00

担当者：椿 雅俊

技術番号
113 ブース番号
A-54 NETIS: KT-100020-A
STB-MC 工法

復旧・復興

技術番号
113 ブース番号
A-54

株式会社 東洋スタビ

セメント系固化材をMC製造機で湿潤感を持たせ、発塵抑制型固化材として利用する工法



STB-MC工法は、浅層地盤改良で使用する固化材の粉塵を、固化材に少量の水を加えることによって抑制する工法です。MC製造機を現地に設置し、MC製造機のミキサーで固化材と少量の水を混合し、固化材を湿らした状態で使用します。発塵抑制効果は、従来の発塵抑制型固化材と同等です。荷姿がバラの固化材を使用するので、散布専用機での施工が可能になり、均一な散布ができます。また、空袋のゴミを減量できます。多量の固化材を使用する現場において、従来の発塵抑制固化材を使用するよりもコストが低減できます。

●部署：株式会社 東洋スタビ 営業部2部 ●TEL：0585-32-3617 ●FAX：0585-32-4170
●URL：http://www.toyostb.co.jp ●営業時間：8:00～17:00

担当者：下野、遠藤

技術番号
114 ブース番号
A-54 浅層地盤改良技術（STB工法）

復旧・復興

技術番号
114 ブース番号
A-54

株式会社 東洋スタビ

土の安定性と耐久性を図り、工期短縮・低コストを実現する方法



STB工法は、軟弱地盤や軟弱土を混合精度が良いスタビライザーを用いて改良する浅層地盤改良工法です。深度は、1.2mまで改良できます。主にセメント系や石灰系の固化材を用いる化学的固結改良工法と、単独では利用できない建設発生土を、購入土と粒度改良することにより再利用する物理的改良工法があります。道路の路体・路床・路盤改良、粒度改良による防潮堤の建設、構造物・建築物の基礎下の改良など幅広く利用できる工法です。

施工実績 ・災害廃棄物処理業務（石巻ブロック）
・多賀城工区津波堆積土砂改良工事
・仙台湾関上北釜工区南部復旧工事

●部署：株式会社 東洋スタビ 営業2部 ●TEL：0585-32-3617 ●FAX：0585-32-4170
●URL：http://www.toyostb.co.jp ●営業時間：8:00～17:00

担当者：下野、遠藤

技術番号
115 ブース番号
A-55 NETIS: CB-980012-V
パワーブレンダー工法

復旧・復興

技術番号
115 ブース番号
A-55

パワーブレンダー工法協会

複雑な互層地盤も鉛直に連続して混合する技術は均質な改良体を造成するので液状化対策に有効である。



本技術は原位置土と改良材を攪拌混合して改良材の化学反応により土質性状を安定させる機械攪拌工法である。改良材の供給方式は、スラリー噴射方式、粉体噴射方式、地表散布方式がある。スラリー噴射方式は平成23年度推奨技術（新技術活用システム検討会議（国土交通省））に選定された。改良形式は全面、格子（帯）、杭が選択でき、格子状に地中壁を配置すれば液状化時の土圧に対する測方流動の防止ができる。地盤条件は粘性土N値≧10程度、砂質土N値≧20程度、着底層N値≧50程度で、最大改良深度は13m超まで。地中変位量は離隔1mで1cm以下の実績を有する。最小作業幅は5m程度、最小改良幅は1mである。

施工実績 北上下流河川事務所 江合川北小牛田下流地区築堤工事
北上下流河川事務所 江合川別所中流地区築堤工事
湯沢河川国道事務所 雄物川上流大巻樋門外工事
津軽ダム工事事務所 津軽ダム黒滝第1改良工事

●部署：事務局 ●TEL：03-3681-8533 ●FAX：03-3681-8533
●URL：http://www.power-blender.com ●営業時間：8:30～17:30

担当者：平江、伊藤

技術番号
116 ブース番号
A-55 NETIS: CB-100013-A
ヒートソイル工法

復旧・復興

技術番号
116 ブース番号
A-55

パワーブレンダー工法協会

蒸気でスラリーを高温化、安定処理土も昇温し2～3時間で地山強度が得られる早期強度の技術である。



互層地盤も鉛直に攪拌混合して均質な改良体を造成するパワーブレンダー工法のスラリー噴射方式にボイラの蒸気を加えて、セメント系改良材の特徴である「養生温度が高いほど水和反応が活発になる」ところに着目した技術である。

メリット①短期強度の発現 従来技術と比べ数時間で地山強度に復元することや数日で設計強度に達することが多い。
メリット②近接施工が可能 早期強度の実現は一時的に強度低下が懸念される円弧すべり対策等では特に効果がある。
メリット③厳冬の品質確保 混練水が低温時に懸念された強度不足、また早期強度は添加量の低減が可能な場合がある。

施工実績 津軽農業水利事業所 小田川二期農業水利事業 大沢内ため池護岸（その2）工事
津軽農業水利事業所 小田川二期農業水利事業 藤枝ため池護岸（その2）工事

●部署：事務局 ●TEL：03-3681-8533 ●FAX：03-3681-8533
●URL：http://www.power-blender.com ●営業時間：8:30～17:30

担当者：平江、伊藤

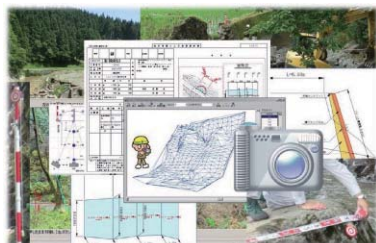
技術番号
117ブース番号
A-56

災害復旧効率化支援システム (Photog-CAD)

復旧・復興

技術番号
117ブース番号
A-56

JACIC 一般財団法人 日本建設情報総合センター



デジタルカメラを用いた写真測量技術にCAD機能を融合した災害査定設計書作成の支援ツール

Photog-CADは災害復旧事業費の申請書類（査定設計書）が効率的に作成できるソフトウェアです。一つのソフトで、家庭用デジタルカメラを用いた写真測量技術による三次元測量を行い、内蔵するCAD機能を使って設計作業、総合単価を用いた積算、帳票作成もできます。デジタルカメラによる写真測量のため、離れた位置からの撮影によって、現地調査は安全性を確保しながら省力化できます。図形情報は他のCADソフトに受け渡すデータ形式（SXF・DXF等）への出力もできます。CAD機能によって災害査定申請資料の編集作業を容易にして、電子的な情報共有を促進することができます。

●部署：一般財団法人 日本建設情報総合センター 東北地方センター
●FAX：022-223-9673 ●URL：http://www.gis.jacic.or.jp/gis/photog/

●TEL：022-217-3231
●営業時間：9:15～18:00

担当者：葛西敏彦

技術番号
118ブース番号
A-57

RICOH 写真管理サービス SnapChamber (スナップチェンバー)

復旧・復興

技術番号
118ブース番号
A-57RICOH
imagine. change

リコー・ジャパン株式会社



スマートデバイス・クラウドサービスを使った写真管理サービスです。スマートデバイスを使って現場写真撮影と電子黒板作成をカンタンに行えます。作成した写真はクラウドに保存でき、写真情報の自動表示や検索、撮影箇所の地図表示がおこなえます。また、複合機との連携によりパソコンを使わずに提出写真の帳票作成・印刷・保存ができます。

スマートデバイスを使って現場写真の撮影と写真情報の入力をおこないます。写真情報の入力は音声入力に対応しており、入力結果は「デジタル写真管理基準」に沿った電子黒板になります。撮影済み写真はクラウドに保存することができ、写真の検索や地図表示もカンタンに行えます。またリコーの複合機と連携することで提出用の写真帳票作成や印刷・保存が今までにないカンタンな操作でおこなうことが出来ます。

●部署：リコー・ジャパン株式会社MFP・プリンター事業センター アセットPMO ●TEL：03-6278-2742

担当者：室 幸治、井上和樹

技術番号
119ブース番号
A-58

NETIS：KT-980135-V

LDis (エルディス) 工法

復旧・復興

技術番号
119ブース番号
A-58

◎ 小野田ケミコ株式会社 東北支店

低変位高圧噴射攪拌工法



LDis工法 (Low Displacement Jet Column Method；エルディス) は、固化材スラリー供給を必要最小量に抑えたとともに、施工時に原土の一部を地表に排土することにより地盤中の体積増加を低減し、施工変位を抑制する低変位高圧噴射攪拌工法である。また、施工管理システムは施工中の深度・吐出圧力・吐出量・回転数等が総合的に管理でき、高い改良品質が確保できることを特徴としている。Dy使用は、吐出量を1.5倍にすることで、より大口径の改良体を造成し、工期およびコストを縮減することができる。

施工実績 東北地方整備局：二線堤内ノ浦地区工事、旧北上川護岸対策工事、大須切地区道路改良工事

●部署：小野田ケミコ株式会社東北支店営業部
●URL：http://www.chemico.co.jp/

●TEL：022-308-3440 ●FAX：022-304-4340
●営業時間：9:00～17:40

担当者：古澤、保坂

技術番号
120ブース番号
A-58

NETIS：KT-050086-V

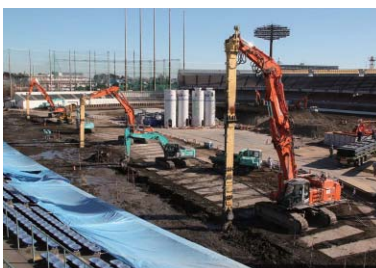
ツイン・ブレードミキシング工法

復旧・復興

技術番号
120ブース番号
A-58

◎ 小野田ケミコ株式会社 東北支店

中層混合処理工法



ツイン・ブレードミキシング（以下TBと略記する）工法は、先端部の左右両側に取り付けた大径攪拌翼を鉛直方向に回転させるTB攪拌装置を用い、深度13mまでの中層領域を効率よく攪拌混合する原位置固化処理工法である。TB攪拌装置を土中に入らしながら、攪拌装置先端部より固化材スラリーを吐出し、改良対象土と固化材スラリーを強制攪拌混合する。TB攪拌装置により、従来の工法よりも適用深度が深く、施工能力、改良品質に優れている。

施工実績 東北地方整備局：阿武隈川下流野田地区上流堤防災害復旧工事、阿武隈川下流野田地区下流堤防災害復旧工事、江合川福沼上流地区築堤工事

●部署：小野田ケミコ株式会社東北支店営業部
●URL：http://www.chemico.co.jp/

●TEL：022-308-3440 ●FAX：022-304-4340
●営業時間：9:00～17:40

担当者：古澤、保坂

技術番号 プース番号 NETIS: KT-040011-V

121

A-58

NJP (エヌ・ジェイ・ピー) 工法

復旧・復興

技術番号 プース番号

121

A-58

小野田ケミコ株式会社 東北支店

空気連行型超高压噴射攪拌地盤改良工法



NJP (エヌ・ジェイ・ピー) 工法は、多重管ロッドに装着した特殊モニターから、圧縮空気を連行させながら固化材スラリーを超高压噴流によって噴射し、地盤と攪拌混合させることにより、短時間に大口径の改良体を造成する工法である。また、地中で改良時に噴出させた圧縮空気は、孔壁内を通して、切削排泥土を安定的かつ確実に地上に排出させるため、施工時の地盤変位等を抑制し、低変位な施工が可能である。

施工実績 青森県：高屋敷沢火山砂防（1号砂防堰堤）工事、福島県：常磐火力発電所消火用水タンク
復旧工事、東北地方整備局：仙台湾南部海岸深沼北工区北部第3復旧工事

●部署：小野田ケミコ株式会社東北支店営業部
●URL：http://www.chemico.co.jp/

●TEL：022-308-3440
●営業時間：9:00～17:40

●FAX：022-304-4340

担当者：古澤、保坂

技術番号 プース番号

122

A-59

アスファルトの再加熱工法「ストリートプリント」

復旧・復興

技術番号 プース番号

122

A-59

トミナゴコーポレーション株式会社

ストリートプリントとは、既存のアスファルト舗装を石畳やレンガ敷きのように美しく加工する工法です。



アスファルトは数々の優れた長所を誇る舗装材ですが「劣化しやすい」「見た目が貧弱」という難点が付きもの。しかしストリートプリントを用いれば見た目が美しく耐久性に優れたアスファルト舗装が実現します。アスファルトの欠点を解消し、付加価値を創造する最先端工法です。日本のいたる所にアスファルト舗装がされています。その現行のアスファルト舗装をそのまま利用し美しい街を創っていく。今使われているものを利用することで廃棄物などを出さなくてすむ。資源に限界があるこの地球に生きる人間としてまた企業としてほんの少しでも環境に役立てばと思っています。

施工実績 岩沼市大手町2号線（宮城県岩沼市大手町）ストリートプリント500㎡
綿掛公園（山形県天童市老野森1丁目）ストリートプリント120㎡

●部署：トミナゴコーポレーション株式会社 東北支店
●URL：http://www.tominaga-corp.com

●TEL：092-589-4878
●営業時間：9:00～18:00

●FAX：092-589-4915

担当者：菊池孝之

技術番号 プース番号

123

A-60

新日鐵住金グループの直立プレキャスト防潮堤

復旧・復興

技術番号 プース番号

123

A-60

新日鐵住金
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL


- ・想定される津波の波高に応じて、最適な構造を選定可能です。
- ・綿密な技術検討に基づき、施工性も十分に配慮しています。

新日鐵住金グループでは沿岸部防災・減災インフラである防潮堤分野において、想定される津波の波高に応じた各種直立プレキャスト防潮堤を提案しています。場所打ちコンクリート防潮堤と比較すると、工場製作した信頼性の高いプレキャスト部材を現地搬入することにより、現場資材調達難を解消するとともに工期の大幅な短縮が可能です。また、重力式壁体と異なり、引き抜き抵抗の強いNSエコパイル・RSプラス工法など鋼管杭による根入れを有するため、強大な津波に対して粘り強く抵抗し、優れた耐波性能を発揮します。各種直立プレキャスト防潮堤を適材適所で使い分けることにより、各地の条件ニーズに最適な防潮堤を構築することができます。

●部署：新日鐵住金株式会社 東北支店建材室
●URL：http://www.nssmc.com/

●TEL：022-227-2771
●営業時間：9:00～17:20

●FAX：022-264-1031

担当者：北村、上野尾(カミエノ)、黒澤

技術番号 プース番号

124

A-60

新日鐵住金グループが提案する建築構造技術

復旧・復興

技術番号 プース番号

124

A-60

新日鐵住金
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL


集合住宅

物流倉庫

事務所

柱のない大空間

可動間仕切りの自由空間

迅速な再建・復興まちづくりの加速に、鋼構造・鉄骨造建築を！

復旧・復興の本格化にともない、生コンや骨材などの現地資材の調達難や鉄筋・型枠工などの工事従事者の恒常的な人手不足による今後の復興の遅れが懸念されています。新日鐵住金グループでは、土木インフラ分野はもとより、建築分野においても、梁・柱・接合・床材・屋根材・免震震デバイス・システム建築など各種部材商品・ソリューションを取り揃えております。S造により地震や災害にも強く、将来の用途変更にも柔軟に対応可能な自由度の高い大空間の実現、工場生産・安定品質の鋼材による建設現場の作業負担軽減・短工期化などを実現できます。従来は鉄筋コンクリート造（RC造）での採用例が多い災害公営住宅や病院・学校・官公庁庁舎等の公共建築物から一般民間の建築物に至るまで、迅速な「まちづくり」実現のための選択肢の一つとして、S造建築物のご検討・採用について提案いたします。

●部署：新日鐵住金株式会社 東北支店建材室
●URL：http://www.nssmc.com/

●TEL：022-227-2771
●営業時間：9:00～17:20

●FAX：022-264-1031

担当者：堀、岡本、藤井(武)

技術番号
125

ブース番号
A-61

NSSG プレキャスト防潮堤

復旧・復興

技術番号
125

ブース番号
A-61

ジオスター株式会社
土木・セグメント事業部 仙台営業所



**鋼管杭で支持された上部RC防潮堤をプレキャストで対応。
急速施工とコンクリート資材不足に貢献出来ます。**

『NSSG プレキャスト防潮堤』は鋼管杭基礎プレキャストコンクリート部材を強固に一体化し、防潮堤を築造できる工法です。施工性・耐久性に優れており、急速施工が可能です。構造規模が大きいため分割して製作をして現場にて組立てる方式です。フーチング部材は鋼管杭頭部と接合し、縦壁はプレキャスト部材同士の接合で最も実績のあるモルタル充填式継手を使用します。壁高が高くても分割製作して現地組立が可能です。

●部署：ジオスター株式会社 土木・セグメント事業部 仙台営業所 震災復興対策グループ ●TEL：022-221-8631
●FAX：022-221-8631 ●URL：http://geostr.co.jp ●営業時間：9:00～18:00

担当者：市川、中谷

技術番号
126

ブース番号
A-61

プレキャスト樋門

復旧・復興

技術番号
126

ブース番号
A-61

ジオスター株式会社
土木・セグメント事業部 仙台営業所



樋管部を高強度のプレキャスト製品として樋門を築造する工法である。

従来は現場打ちコンクリート製剛支持樋門に対応していたが、現場打ちのため工期が長期にわたること、剛構造であるため地盤変形に追随せず、基礎部の空洞化が起こり、堤体の安定性に問題があった。プレキャスト樋門は縦方向の計算に基づいて、PC鋼材で縦方向を一体化するプレキャストブロック工法であり、地盤の変形に応じた可とう継手函体を配置することが可能な信頼性の高い工法です。

施工実績 ※砂鉄川坂田排水樋門 ※北上川南境排水樋管 ※鳴瀬川新田排水樋門 ※雄物川小種樋門

●部署：ジオスター株式会社 土木・セグメント事業部 仙台営業所 ●TEL：022-221-8631
●FAX：022-221-8631 ●URL：http://geostr.co.jp ●営業時間：9:00～18:00

担当者：永井、小渡

技術番号
127

ブース番号
A-61

ビックボックス

復旧・復興

技術番号
127

ブース番号
A-61

ジオスター株式会社
土木・セグメント事業部 仙台営業所



**分割組立式大型プレキャストボックスカルバートであり、
道路・水路・地下河川等の函渠や開削トンネル等に適用できる。**

本技術は、合理的に多分割されたプレキャスト製品を組立て、超大断面ボックスを築造する工法である。レベル2地震を考慮し、頂版・側壁・底板接合部の継手に、大変形時の繰り返し荷重にも耐えるモルタル充填式継手を用いている。本技術の活用により全体工事費縮減と大幅な工期短縮が期待できる。

施工実績 ※浪岡五所川原道路 ※湯沢横手道路 ※赤湯バイパス ※あぶくま高原自動車道路

●部署：ジオスター株式会社 土木・セグメント事業部 仙台営業所 ●TEL：022-221-8631
●FAX：022-221-8631 ●URL：http://geostr.co.jp ●営業時間：9:00～18:00

担当者：永井、小渡

技術番号
128

ブース番号
A-62

短工期かつ省力施工のスタンパッケージ (システム建築商品)

復旧・復興

技術番号
128

ブース番号
A-62

新日鉄住金エンジニアリング株式会社



**建築部材の「標準化」、設計・施工等のプロセスの「システム化」により、短工期とコスト
ダウン、安定した品質を実現。工場・物流施設・事務所・店舗等を対象に復興を支援。**

当社が長年培った鋼構造エンジニアリング力により、建物を構成する、構造（基礎、鉄骨）・屋根・外壁・建具の各システムに豊富な部材をラインナップ。鉄骨部材では、新開発「SPウェーブフレーム」により鋼材重量を従来のH形鋼に比べ約30%低減。これらシステムを基に、建物の規模・形状に関して自由度高い設計により、お客様の多様なニーズに対応。高品質でありながら、短工期（在来工法に比べて1/3短縮）、省力施工、経済的価格を実現する建築商品として復興を支援。

※今般の震災で、被災地での施工実績案件に大きな損傷なく、災害に強い建築商品としてご評価頂いている。

●部署：東北支店 建築・鋼構造営業室 ●TEL：022-227-2763 ●FAX：022-227-9122
●URL：http://www.eng.nssmc.com ●営業時間：9:00～17:20

担当者：小磯 広、高山咲子

技術番号
129

ブース番号
A-62

NETIS: HR-030028-V

急速施工が可能なパネルブリッジ(合成床版橋)

復旧・復興

技術番号
129

ブース番号
A-62

新日鉄住金エンジニアリング株式会社



軽量・低桁高・急速施工を実現。～震災復興の橋梁新設で短工期施工(5か月)の実績あり。人工地盤での活用も可能。

パネルブリッジは鋼板・コンクリート合成床版と主桁をプレファブ一体化した新しい合成床版橋である。道路橋の架け替え更新工事で求められる死荷重低減、桁高制限(低構造高)、急速簡易施工、車線毎の分割施工などのニーズに応えるため、性能設計を基本とした平成14年の道路橋示方書改定後に開発され、NETIS登録して着実に実績が増加中。H23年度、従来技術に対して工程、品質・出来形、安全性、施工性でより優れているとの事後評価を得た。震災復興として、沿岸部の防災強化に資する人工地盤(ex. ピロティ式で上部を駐車場・作業場等に利用)としても活用が可能。

施工実績 仙台製油所構内 サンプリッジ(JX日鉱日石エネルギー株)、一般国道101号 泊橋(秋田県)、一般国道46号 館坂橋取付橋梁(東北地整 岩手河川国道)、桐沢橋(岩手県西和賀町)、芝坪橋(宮城県田尻町)

●部署: 東北支店 建築・鋼構造営業室
●URL: <http://www.eng.nssmc.com>

●TEL: 022-227-9121 ●FAX: 022-227-9122
●営業時間: 9:00~17:20

担当者: 佐竹、高野

技術番号
130

ブース番号
A-63

NETIS: GS-120023-A

省合金二相ステンレス鋼

復旧・復興

技術番号
130

ブース番号
A-63

新日鉄住金ステンレス(株)



高強度・高硬度・高耐食により薄肉・軽量化を実現し、コスト削減可能な省合金二相ステンレス鋼。

当社の『省合金二相ステンレス鋼』は、河川内設備などの公共施設にNSSC2120とS32304を適用する新技術として、NETISへの登録を認められました。新技術は、成分バランスを最適とすることで、微細な組織をオーステナイト・フェライトの二相組織とし、高強度・高硬度を実現しております。

当技術は、製鉄関連設備・ケミカルタンカー・水処理・土木等、幅広い分野への採用が拡大しつつあり、震災影響により倒壊した東北地区のダム・堰・水門等の河川設備の復旧・復興に寄与できるものと考えております。

●部署: 厚板営業部 厚板室
●URL: <http://www.ns-sc.co.jp/>

●TEL: 03-3276-4800 ●FAX: 03-3276-4925
●営業時間: 9:00~17:20

担当者: 猪原、末次、江目、志村、勝 遠山

技術番号
131

ブース番号
A-64

セーフガードタワー 津波避難タワー

復旧・復興

技術番号
131

ブース番号
A-64

NSMP 日鐵住金建材株式会社 東北支店



「安全」・「エコ」・「デザイン」と3つの特徴をもつ鉄骨ラーメン構造津波タワー

高い建築物や高台が無い沿岸部の住民を津波から守ることを目的とした避難タワーです。津波襲来時に想定される荷重(「津波」に対し構造耐力上安全な建築物の設計法等に係る技術的助言)(国土交通省)により算出)に対して、耐震性と変形性能に優れた「コラム-H構造(鉄骨ラーメン構造)」を採用することで高い安全性を確保しています。また柱梁接合部にダイヤフラム不要の「NDコア」を使用することで加工数・溶接箇所数が大幅に低減され、消費電力の低減と加工工期の短縮を実現できます。さらに、高い意匠性を備えた新建材を使用することで、環境にマッチした柔軟で多彩な発想を可能にします。

施工実績 日鐵住金建材(株)仙台製造所内(仙台市と津波避難施設として防災協定締結 H24.11月)(静岡県、三重県、大阪府)

●部署: 日鐵住金建材株式会社 プロジェクト営業推進班
●URL: <http://www.ns-kenzai.co.jp>

●TEL: 022-221-4573 ●FAX: 022-265-6553
●営業時間: 9:00~17:30

担当者: 南 敏勝、岩城真一郎

技術番号
132

ブース番号
A-64

マリンバリア 鋼製防潮堤

復旧・復興

技術番号
132

ブース番号
A-64

NSMP 日鐵住金建材株式会社 東北支店



「多重防御」を重視したまちづくりに対応する鋼製防潮堤

「マリンバリア」は既設防潮堤の嵩上げや、道路や住宅エリアに設置する二線堤に適用出来る軽量な角型鋼管と透光性のあるポリカーボネートを用いた鋼製防潮堤です。

【特長】

- ①従来のコンクリートの防潮堤と比べて、工期の短縮および省力化が図れる
- ②採光と景観を確保し、津波の状況を視覚的に捉えることが可能
- ③既設防潮堤をコンクリートで嵩上げすることなく機能強化でき、道路や住宅エリアに設置する二線堤にも適用可能であり、多重防御を重視したまちづくりに対応

施工実績 現在は無し。提案多数。

●部署: 日鐵住金建材株式会社 東北支店 土木営業室
●URL: <http://www.ns-kenzai.co.jp>

●TEL: 022-221-4573 ●FAX: 022-265-6553
●営業時間: 9:00~17:30

担当者: 水原崇之、伊藤良太、我妻孝行

技術番号
133ブース番号
A-64**ノンフレイム工法**

復旧・復興

技術番号
133ブース番号
A-64

復旧・復興

●NSMP 日鐵住金建材株式会社 東北支店

**【国土交通大臣賞・経済産業大臣賞 大臣賞W受賞工法】
斜面の樹木を伐採せずに施工できる、画期的な斜面防災工**

地中の安定な地盤まで打ち込まれた鋼棒（ロックボルト）と、地表面の支圧板で崩れやすい土を押さえ込みます。さらに支圧板同士をワイヤロープで連結してネットワーク構造を構築し、かけ崩れを防ぐ工法です。

【特長】

- ①施工後ももとの景観・景観を保全
- ②工期短縮・コスト削減
- ③優れた適用性（狭隘、高所といった条件でも適用可能です。）



施工実績 釜沢地区防災王子（郡山国道事務所） 浅布山工事（宮城北部森林管理署） 東北自動車道福島管内道路保全工事（東日本高速道路株式会社） 仙台市立八木山小学校法面災害復旧工事（仙台市） 他 全国で110万㎡、1000件を超える施工実績あり

●部署：日鐵住金建材株式会社 東北支店 土木営業室
●URL：http://www.ns-kenzai.co.jp

●TEL：022-221-4573
●営業時間：9:00～17:30

●FAX：022-265-6553

担当者：水原崇之、伊藤良太、我妻孝行

技術番号
134ブース番号
A-65**NETIS：TH-020042-V
泥土（ヘドロ）再資源化工法「ボンテラン工法」**

復旧・復興

技術番号
134ブース番号
A-65**ボンテラン工法研究会****繊維質物質を用いた高含水比泥土リサイクル技術**

本工法は、東北大学大学院の高橋弘教授と（株）森環境技術研究所が共同開発した技術で、建設汚泥や浚渫土砂等の高含水比泥土に古紙破砕物（ボンファイバー）と固化材（セメント系or石灰系）を添加・混合することにより、優れた強度特性や高い耐久性を有する盛土材に再資源化する工法です。

最新の研究では、液状化強度特性を検討するため繰返し三軸非排水試験を実施した結果、ボンテラン改良土は砂質土の約13倍もの液状化抵抗率を確認しました。

また、本工法は平成16年の新潟中越地震で発生した泥土の再資源化工法として採用され、迅速な災害復旧に貢献し、内閣府他が主催する第6回産学官連携功労者表彰において「国土交通大臣賞」を受賞しました。

施工実績 ・鳴瀬川大谷地地盤対策工事：国土交通省東北地方整備局北上下流河川事務所
・浜尾地区築堤工事：国土交通省東北地方整備局福島工事事務所
・仙台東部共同溝工事：国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所
国：64件、都道府県：104件、市町村：135件、民間：39件、合計342件

●部署：ボンテラン工法研究会 事務局
●URL：http://www.bonterrain.jp/

●TEL：0233-32-0022
●営業時間：9:00～18:00

●FAX：0233-22-0932

担当者：森 勇人

技術番号
135ブース番号
A-66**NETIS：TH-99039-A (SIMAR)
前田建設の液状化対策技術**

復旧・復興

技術番号
135ブース番号
A-66**前田建設工業株式会社****安全・安心な社会をつくる前田建設の地盤の耐震補強・液状化対策工法、マルチジェット工法・SIMAR工法・MAGAR工法**

- マルチジェット工法 大口径任意形状の地盤改良 揺動式高圧噴射攪拌工法。
硬化材をエアートともに超高压（40MPa）で噴射し、大口径・任意形状の地盤改良体を作成する工法である。
- SIMAR/シマール工法 砂質土地盤の液状化対策、吸水型振動棒締固め工法。
液状化対策工法として従来から行われている振動棒締固め工法（ロッドコンパクション）に吸水機構を付加することで、締固め改良効果を飛躍的に向上させた工法である。
- MAGAR/マガール工法 既設構造物直下の地盤改良、自在ボーリングによる薬液注入工法。
高精度の位置感知システムで計測を行ないながら、自由な方向に削孔を行なう自在ボーリング技術を用いた工法である。

●部署：前田建設工業株式会社 総合企画部 広報グループ
●URL：http://www.maeda.co.jp/

●TEL：03-5217-9514
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：03-5217-9614

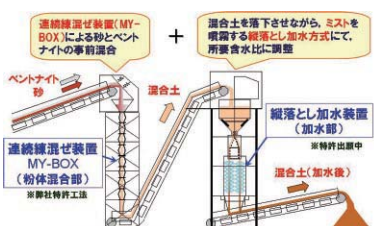
担当者：堂森宏三

技術番号
136ブース番号
A-66**処分場の遮蔽材構築技術：ミストブレンダー**

復旧・復興

技術番号
136ブース番号
A-66**前田建設工業株式会社****ベントナイト混合土や、一般廃棄物最終処分場の遮水層を、大量かつ高品質に製造可能なシステムです。**

放射性廃棄物および放射性汚染廃棄物等の処分におけるバリア材に適用されるベントナイト混合土や、一般廃棄物最終処分場の遮水層を、大量・高品質に製造可能なシステム。核の1つである「粉体混合部」には、当社独自のユニークな連続練混ぜ装置「MY-BOX」を採用。もう一つの核「加水部」には、混合土を自由落下させながら多点的にミストを噴霧する加水装置を新たに開発しました。吸水すると強い粘り気を発揮し、強く練るほど均質な混合が困難になるベントナイトの特性を考慮し、機械的な強制攪拌を用いず、通過させるだけで混合・加水を行うシンプルな機構を採用することで、高品質なベントナイト混合土を連続的に製造可能としました。



●部署：前田建設工業株式会社 総合企画部 広報グループ
●URL：http://www.maeda.co.jp/

●TEL：03-5217-9514
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：03-5217-9614

担当者：堂森宏三

技術番号
137

ブース番号
A-66

高台移転事業の促進に向けたCIMツール

復旧・復興

技術番号
137

ブース番号
A-66



前田建設工業株式会社

東北被災地の高台移転事業（大規模土工）に寄与する
MAEDAのCIMツール


CIMとは、Construction Information Modelingの略で、建設事業の生産性向上を目的としたシステム・概念の総称です。MAEDAのCIMはICT（情報通信技術）の活用を中心に従来型施工技術の合理化と、収集データの3D画像化など情報の価値を高める工夫で、施工品質の向上を実現します。東北被災各地で計画されている高台移転事業も、大規模土工を伴う再開発事業となることから、土配計画の立案段階から、盛土材の品質管理に至るまで一元管理を行うツールとしての導入効果が期待できます。

施工実績 檜葉町除染工において、除染前後のモニタリングデータに計測地点の位置情報を付与することにより、測定と同時にマッピング化を実現。発注者から高評価を得る。

●部署：前田建設工業株式会社 総合企画部 広報グループ
●URL：http://www.maeda.co.jp/

●TEL：03-5217-9514
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：03-5217-9614

担当者：堂森宏三

技術番号
138

ブース番号
A-67

NETIS：HR-090012-A
イージーラーメン橋

復旧・復興

技術番号
138

ブース番号
A-67

一般社団法人 イージースラブリッジ協会

構造的・施工性・経済性に優れた複合門形ラーメン橋（橋台部ジョイントレス構造）



支間長が20m程度までの複合門形ラーメン橋の築造工法であり、上下部工の剛結方法が単純・確実であるのが特徴である。上下部工を一体化したことにより地震や津波に対して強い構造である。主桁は、H形鋼に孔明け加工を施したものを採用しているため、材料調達が容易であり、桁製作日数も短期間で済む。主桁重量が軽く取扱いも容易なため、狭小箇所での架橋が可能で、現場施工は短期間で済む。下部工や基礎工の縮小、支承や伸縮装置の省略など建設コストや維持管理コストも大幅に低減できるため、新設橋や既設橋の架替に適する工法である。

施工実績 諏訪橋、山形県鶴岡市中山地内、平成23年9月竣工

●部署：一般社団法人 イージースラブリッジ協会事務局
●URL：http://www.esb-jp.com/

●TEL：076-264-1184
●営業時間：9:00～18:00

●FAX：076-264-1175

担当者：西 圭二郎、青山和宏、中井良彰、徳野光弘

技術番号
139

ブース番号
A-68

NETIS：CG-990013-A
アッシュクリートType II

復旧・復興

技術番号
139

ブース番号
A-68



株式会社 安藤・間

アッシュクリートType IIによる盛土施工
— 相馬共同火力発電における試験施工 —


石炭火力から産出される石炭灰を大量に有効利用し、盛土材料として適用する技術であるアッシュクリートType IIはすでに25万㎡（石炭灰30万t）の施工実績があります。震災で沈下した地域の高上げや防潮堤の材料としても使用することができます。相馬共同火力発電所においても産出する石炭灰を使用し、寒冷地において適用可能であることを試験施工で確認しました。

施工実績 アッシュクリートType II適用確認調査（相馬共同火力発電株式会社）

●部署：土木事業本部 土木設計部 基礎技術グループ
●URL：http://www.ad-hzm.co.jp

●TEL：03-6234-3670

担当者：坂本 守

技術番号
140

ブース番号
A-68

アライグマラジカル工法

復旧・復興

技術番号
140

ブース番号
A-68



株式会社 安藤・間

天然素材の界面活性剤を用いて、
舗装面を効果的に高圧洗浄して除染し、排水も回収する工法。


「アライグマラジカル工法」は、標準的な洗浄水圧15MPaよりも高い圧力帯で、株式会社カネカが開発した天然素材の界面活性剤を用いて放射性物質が付着している舗装面を高圧洗浄すると同時に、排水も回収する工法です。界面活性剤により放射性物質が付着している粒径の細かな土砂分を舗装面より浮き上がらせることができ、除去率が最大80%、概ね50～60%の安定した除染効果が実証実験でも確認されています。洗浄用機械としては、ダムのコンクリート面の清掃用の「アライグマ」を改良した「RD（アールディー）」と新規に導入する「RD-II」があり、「RD-II」は除染廃棄物の輸送時の道路清掃等での活用も期待できます。

施工実績 伊達市霊山町石田東部・月舘町東部地区除染作業業務委託（福島県伊達市）

●部署：土木事業本部 環境エンジニアリング部
●URL：http://www.ad-hzm.co.jp

●TEL：03-6234-3625

担当者：石原吉雄

技術番号

141

ブース番号

A-69

NETIS : CB-100048-A

規格化された落橋防止装置

技術番号

141

ブース番号

A-69

復旧・復興

株式会社 駒井ハルテック



設計の簡素化、コマプレートの採用による取り付け易さ・手戻り防止により全体工期短縮・コスト縮減が可能。

本製品は、「設計荷重別に規格化し設計された部材」を、「適切に品質を管理された工場で作成」し、「現場において早く容易に取り付けること」を目的として、施工者の立場で開発した製品が「らくらくブラケット」で、取付け角度の制約を受けないヒンジ形ピン構造のブラケットにより規格化した落橋防止装置である。従来は現場状況毎に取付け角度を実測し設計・製作していたもので、本製品の活用により、設計の簡素化、全体工程の短縮・コスト縮減が期待できる。

●部署：生産本部 工事グループ 工事計画部 架設計画課

●TEL：06-4391-0820

●FAX：06-4391-0821

●営業時間：8:50～17:40

●URL：http://www.komaihaltec.co.jp/BRIDGE/tecinfo.html

担当者：三輪浩二

技術番号

142

ブース番号

A-69

NETIS : CB-100051-A

橋梁下部工の耐震補強工法

技術番号

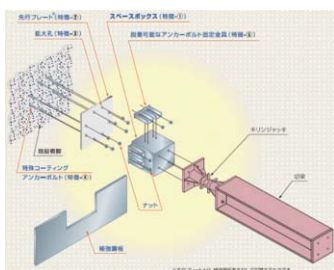
142

ブース番号

A-69

復旧・復興

株式会社 駒井ハルテック



橋梁下部工鋼板巻き立て耐震補強工事での山留め支保工の切梁盛替え不要とした、先行取付鋼板型切梁受け金具。

本製品は、橋梁下部工の鋼板巻き立て耐震補強工事の山留工で用いる先行取付鋼板型切梁受け金具で、従来は切梁の盛替えを必要としていたが、本製品の活用により、切梁断面の大きさに合わせた鋼板を切梁部に先行して設置しておくことで、切梁の盛替えが不要となり、コスト縮減・工期短縮が期待できる。

●部署：生産本部 工事グループ 工事計画部 架設計画課

●TEL：06-4391-0820

●FAX：06-4391-0821

●営業時間：8:50～17:40

●URL：http://www.komaihaltec.co.jp/BRIDGE/tecinfo.html

担当者：三輪浩二

技術番号

143

ブース番号

A-70

ウォータージェット工法

技術番号

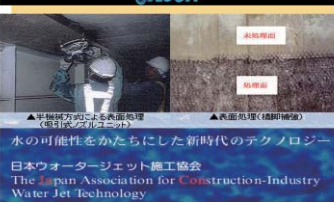
143

ブース番号

A-70

復旧・復興

JACON 日本ウォータージェット施工協会



土木建築分野からプラント、自動車、電子家電、医療分野で採用されている信頼の厚い工法です

ウォータージェット工法は高速の水噴流により対象物を破碎するため、ブレーカ、削岩機とは異なり①対象物に与える変形、ひずみ、残留応力が少なく、マイクロクラックもほとんど発生させない②圧力、流量を設定することで鉄筋を傷めずにコンクリートの変状部だけを選択除去できる③圧力調整によって塗膜や付着物を除去できる④ノズルが対象物に接触しないため遠隔操作化ができる⑤振動や固体伝播音が小さいなどの多くの特徴を有した工法です。

施工実績 土木分野（橋梁、道路、山岳トンネル、ダム、導水路など） 建築分野（RC構造物、高層ビルなど） 種々の補修工事などに採用されています。

●部署：日本ウォータージェット施工協会 事務局

●TEL：03-3256-4068

●FAX：03-3252-2313

●営業時間：9:00～17:00

●URL：http://www.jacon.jp/

担当者：時間誠剛、磯部隆寿、岡本修一、江村 寛、高木幸雄、秋岡 猛(事務局)

技術番号

144

ブース番号

A-71

NETIS : SK-030010-V

高耐久型セメント系木質舗装 ウッドクリート

技術番号

144

ブース番号

A-71

復旧・復興

株式会社佐藤渡辺 東北支店



災害廃棄物の再生利用可能 耐久性があり、適度な硬さで歩きやすい木質舗装

ウッドクリートは、建設発生木材や間伐材からなるウッドチップを使用し、セメントを結合材とした木質舗装です。初期養生後、表面を洗い出すことにより木のもつ風合いを活かした仕上がりになります。

□サイズ等によっては、災害廃棄物の利用が可能です。

□セメントを使用しており微生物による腐朽劣化が起こりにくく耐久性に優れます。

□他の木質舗装に比べ路面温度が10℃～20℃低くなります。

施工実績 東北地方で54,000㎡以上

●部署：東北支店 営業部

●TEL：022-261-8761

●FAX：022-262-8496

●営業時間：8:30～17:30

●URL：http://www.watanabesato.co.jp

担当者：三浦武雄、五十嵐裕治

技術番号 145 ブース番号 A-72 NETIS: KT-070089-A **スパンザウォール**

復旧・復興

技術番号 145 ブース番号 A-72

地中構造物研究会



ハーフプレキャスト製の大型ボックスカルバート

スパンザウォールはプレキャストの持つ施工性と現場打ちコンクリートの経済性を併せ持ったハーフプレキャスト製の大型ボックスカルバートです。オールプレキャストに比べて経済性に優れます。適用幅員は標準で6m～16mですが、現地の条件により検討します。大断面の地下横断道路、橋梁ボックス、共同溝、下水道などにご使用下さい。
○なお、工期をさらに短縮したい場合は、頂版部の現場打ちコンクリートを省いたオールプレキャストのタイプもあります（ただし、底版部は現場打ちコンクリート）。

●部署：研究会事務局（羽田コンクリート工業株式会社内） ●TEL：03-3556-0467 ●FAX：03-3556-0474
●営業時間：8:30～17:30

担当者：大黒 寛

技術番号 146 ブース番号 A-73 **プレキャスト・ガードフェンス（PGF）**

復旧・復興

技術番号 146 ブース番号 A-73

プレキャスト・ガードフェンス協会



車両の対向車線への突破事故を防ぐ剛性防護柵

プレキャスト・ガードフェンスは、剛性防護柵の必要性が認識され始めた平成10年6月、旧建設省、旧日本道路公団、セメント協会による防護柵の共同研究により誕生しました。当協会のプレキャスト・ガードフェンスは日本道路協会の「防護柵の設置基準・同解説」、「車両防護柵標準仕様・同解説」に準拠しています。
○乗員の安全性を確保しつつ、車両の突破事故を防ぐプレキャスト・ガードフェンスを中央分離帯、路側、壁高欄にご使用下さい。

施工実績 東北地方整備局管内及びNEXCO東日本等 実績多数

●部署：協会事務局（羽田コンクリート工業株式会社内） ●TEL：03-3556-0467 ●FAX：03-3556-0474
●URL：http://precast-guardfence.com ●営業時間：8:30～17:30

担当者：大黒 寛

技術番号 147 ブース番号 A-74 NETIS: TH-020011-V **マルチレベル工法**

復旧・復興

技術番号 147 ブース番号 A-74

マルチレベル工法・マルチ搬送（横引）工法研究会



【工期短縮・コスト縮減】

プレキャスト二次製品をクレーン等を使用せず、安全・正確・迅速に据付する工法

- ①大幅な工期短縮を実現：熟練度に左右されず、簡単・迅速に据付出来るので、工期が大幅に短縮され、現場経費が軽減される。
- ②安全性の飛躍的向上：クレーン等の大型重機類を使用せず据付作業が出来るので、安全性が飛躍的に向上する。またCO₂排出量も大幅に削減出来る。
- ③設計強度の確保：基礎コンクリートとPCコンクリート製品との空隙に生モルタルを充填することで、設計の意図する強度が得られる。従来のドライモルタル上に据付する方法に比べ、耐震性・耐久性に優れている事を今回の震災で確認・実証した。

施工実績 仙台河川国道事務所 舟井沢地区道路改良工事、秋田県 平鹿平野かんがい排水事業第01506号
青森河川国道事務所 扇田知久歩道設置工事、宮城県 長沼ダム滝沢水路設置工事
郡山市 168号雨水幹線公共下水道築造工事、名取市 下増田第1排水区幹線築造工事
その他 全国140件以上

●部署：マルチレベル工法・マルチ搬送（横引）工法研究会 本部（株）新幹産業 ●TEL：022-247-7677
●FAX：022-247-7681 ●URL：http://www5.ocn.ne.jp/~shinkan ●営業時間：8:30～18:00

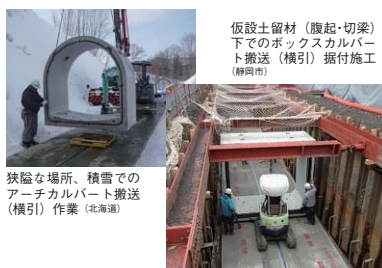
担当者：佐々木、森、菅野

技術番号 148 ブース番号 A-74 NETIS: TH-020011-V **マルチ搬送（横引）工法**

復旧・復興

技術番号 148 ブース番号 A-74

マルチレベル工法・マルチ搬送（横引）工法研究会



プレキャスト製品をクレーン施工が困難な高架下・仮設道路の確保出来ない狭隘な所への搬送（横引）据付工法

- ①高架下や仮設道路が確保できない場所へのコンクリート二次製品の搬送（横引）・据付が可能。
- ②走行ガイドに沿って走行することにより、直線部・曲線部の搬送（横引）が可能。
- ③雨や冬期の積雪などの天候にも施工対応が可能。
- ④マルチレベル工法との併用により、搬送先での据付が迅速・安全・正確に出来る。

施工実績 東北農政局 最上川右岸幹線用水路（その7）工事 浜の町区間（その2）工事
皆瀬6号幹線（その2）工事
郡山市 摺上川右岸雨水渠8-1号涵渠布設工事、名取市 下増田汚水・雨水幹線築造工事
宮城県土地改良事業団体連合会 白石用水路改修工事 その他 全国50件以上

●部署：マルチレベル工法・マルチ搬送（横引）工法研究会 本部（株）新幹産業 ●TEL：022-247-7677
●FAX：022-247-7681 ●URL：http://www5.ocn.ne.jp/~shinkan ●営業時間：8:30～18:00

担当者：佐々木、森、菅野

技術番号
149

ブース番号
A-75

NETIS: TH-010015-A
TMS型ガードパイプ A種2段型

復旧・復興

技術番号
149

ブース番号
A-75

KOBELCO 神鋼建材工業株式会社



TMS型ガードパイプ A種に2段のタイプが新登場

国土交通省東北地方整備局と神鋼建材工業が共同で開発したTMS型ガードパイプにA種2段の路側用・中央分離帯用が新登場

【特長】

- ・ガードレールに比べ、透過性が良く圧迫感がありません。
- ・路側用と中央分離帯用との併設で整合性が取れ、すっきりとした景観を演出します。
- ・従来型3段タイプと比較しコストダウンとなります。

●部署：神鋼建材工業株式会社 東北支店
●URL：http://www.shinkokenzai.co.jp/

●TEL：022-263-2271 ●FAX：022-225-5449
●営業時間：9:00～17:30

担当者：大海

技術番号
150

ブース番号
A-75

ウェーブガード（ポリカーボネート防潮壁）

復旧・復興

技術番号
150

ブース番号
A-75

KOBELCO 神鋼建材工業株式会社



防潮堤より越流した海水から建屋を守ります

「ウェーブガード」は、防潮堤から越流した海水を建屋への流入を防ぐ為に設置するものです。

【特長】

- ・透光性のあるポリカーボネートを使用することにより、透光の確保が可能です。
- ・指定条件に応じた柱仕様およびポリカ板厚を選定します。
- ・小型の施工機械で組立可能です。
- ・シーリングを施工することにより、遮水性を向上させます。（完全止水を保障するものではありません。）

●部署：神鋼建材工業株式会社 東北支店
●URL：http://www.shinkokenzai.co.jp/

●TEL：022-263-2271 ●FAX：022-225-5449
●営業時間：9:00～17:30

担当者：大海

技術番号
151

ブース番号
A-75

省エネシステム『Gモード』搭載クローラクレーン

復旧・復興

技術番号
151

ブース番号
A-75

KOBELCO コベルコクレーン株式会社



コベルコの最新クローラクレーン『Gシリーズ』に搭載された省エネシステム『Gモード』は、燃料消費量削減、経済性向上、周辺騒音低減に大きく貢献します。

『Gモード』とは、コベルコのクローラクレーン『マスターテックGシリーズ/BM-Gシリーズ』の7機種すべてに標準搭載されたオートアイドルストップ（AIS）、Gエンジン、Gウインチの3つの省エネ機能の総称です。

AIS：クレーン作業でのアイドル状態を感じて自動的にエンジンを停止する技術です。
Gエンジン：軽負荷作業時にエンジン回転数をローアイドル相当で、モーター容量制御によりウインチの最大巻上げ巻き下げ速度を確保する技術です。

Gウインチ：燃費の良いエンジン回転数まで下げても、ポンプ制御によりウインチ最大速度での作業を可能とする技術です。これらの3つの機能により燃料消費量を従来機比最大25%カットできます。

施工実績 ・相馬港2号埠頭港湾災害復旧工事（福島県） ・広野町汚染廃棄物仮置場工事（福島県）

●部署：営業企画部 営業企画室
●URL：http://www.kobelco-cranes.com/jp/

●TEL：03-5789-2930 ●FAX：03-5789-3372
●営業時間：9:00～17:35

担当者：曾谷雄也

技術番号
152

ブース番号
B-09

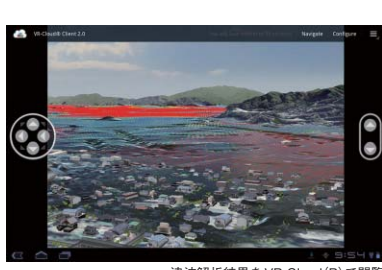
津波 / 避難解析

復旧・復興

技術番号
152

ブース番号
B-09

株式会社フォーラムエイト



津波解析結果をVR-Cloud(R)で閲覧

リアルタイム3D・VRシミュレーションをクラウドで！

津波・避難解析を可視化、ハザードマップに活用

バーチャルリアリティをクラウドで実現したVR-Cloud(R)はAndroidにも対応。防災のキーとなるモバイルソリューションです。地震、津波、土石流などの解析結果や避難経路をUC-win/Roadで可視化し、VR-Cloud(R)を用いてハザードマップとして活用可能。住民に対する津波リスクの認知や防災意識向上を図るための、広報展示システムとしても役立ちます。

【関連製品】

- ・BCP作成支援ツール
- ・スパコンクラウド
- ・自治体ソリューション
- ・防災、避難誘導ソリューション
- ・震災対策ソリューション

施工実績 建設コンサルタント
地方整備局、自治体

●部署：仙台事務所
●URL：http://www.forum8.co.jp

●TEL：022-208-5588 ●FAX：022-208-5590
●営業時間：9:00～

担当者：川島 優

技術番号 153 ブース番号 B-20 グリーンマウンド

復旧・復興

技術番号 153 ブース番号 B-20

清水建設株式会社

ローテク・ローコストの都市システムで津波被害を軽減します



「グリーンマウンド」は、環境に優しい緑の丘を利用した耐津波型の都市システムです。海岸線近くにちどりに配置する「消波型マウンド」と津波被害の可能性のある居住域に配置する「避難型マウンド」から構成されます。「消波型マウンド」は、津波の流速や到達距離を低減します。「避難型マウンド」は、平常時には地域住民のコミュニティの核となり、非常時には避難場所となるスペースを提供します。

東北地方に建設する場合、マウンドの構成材料として災害廃棄物を用いることで、廃棄物の再利用にも貢献できます。また、マウンド上部を災害対策用の備蓄倉庫として活用することもできます。

●部署：東北支店 営業部
●URL：http://www.shimz.co.jp/

●TEL：022-267-9133
●営業時間：8:30～17:10

●FAX：022-267-9170

担当者：佐野 真、若林雅樹、土田一輝、佐藤修子

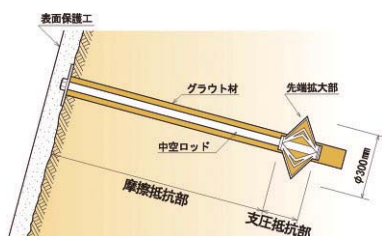
技術番号 154 ブース番号 B-42 NETIS：KT-990162-V ミニアンカー工法

復旧・復興

技術番号 154 ブース番号 B-42

岡三リビング株式会社

先端拡大型補強材の支圧抵抗を利用した地山補強技術



ミニアンカー工法は、先端に拡大部を有する補強材の地盤内での引抜き抵抗により、石積み・ブロック積み擁壁等の変状における補強、急傾斜地や切土斜面等の崩壊を防ぐ補強土工法です。補強材はロッドとロッド先端の拡大部から構成されており、先端拡大部の支圧抵抗とアンカー一体の摩擦抵抗によって引抜き抵抗を発揮します。従来の摩擦のみを期待する補強材と比較して、「摩擦抵抗+支圧抵抗」によりアンカー長を短くしたりアンカー打設本数を少なくすることが可能となり、工期の短縮や工費の縮減が可能となります。

施工実績 東北地方 9件（全国 80件）

●部署：岡三リビング株式会社 東北支店
●URL：http://www.okasanlivic.co.jp/

●TEL：022-263-2446
●営業時間：9:00～17:30

●FAX：022-263-8998

担当者：帆刈将彦、青田陽介、柿沼秀幸

技術番号 155 ブース番号 B-44 耐放射線性に優れたゴム材料

復旧・復興

技術番号 155 ブース番号 B-44

早川ゴム株式会社

高濃度放射線レベルにおいて耐久性を向上させたゴム材料



高濃度放射線レベルにおいて耐久性を向上させたゴム材料として、日本原子力研究開発機構殿と共同開発した材料です。耐放射線性に優れた特性を持つ材料の開発・実用化は寿命の延伸による材料コストの削減のみならず、放射線廃棄物の発生量低減、点検保持・交換作業などにもなる作業者の被曝量低減も図る事ができます。材料特性を生かし大変位可とうジョイント・Oリング・シート・フレコンバック・不定形シール材等各種製品を取り揃えております。また放射線遮蔽ゴムの開発・製品化にも成功し各種サイズご用意しております。

●部署：耐放射線環境ゴム推進チーム
●URL：http://www.hrc.co.jp

●TEL：03-3642-1180
●営業時間：9:00～17:45

●FAX：03-3643-6288

担当者：浅倉、佐藤、山本

技術番号 156 ブース番号 C-08 塗膜剥離除染塗料「アレスRXPリセット」

復旧・復興

技術番号 156 ブース番号 C-08

ALESCO 関西ペイント株式会社

特殊水性塗料を塗布し、乾燥剥離によって放射性物質の除去を行なう環境と調和した除染工法



屋上防水面等に固着した放射性物質に対して、特殊水性塗料を塗布し乾燥剥離することにより放射性物質の除去を行なう新技術除染工法。・水を殆ど使用しない。・汚染物質の飛散がない。・塗膜の乾燥が速く、天候の影響を受けにくい。・施工に特別な技能を必要としない等、環境と調和した除染工法である。

■平成24年度第2回福島県除染技術実証事業 実地試験 実施選定工法。

●部署：関西ペイント販売株式会社 東北販売部
●URL：http://www.kansai.co.jp

●TEL：東北：022-287-3521 東京：03-3732-8111
●営業時間：8:30～17:00

●FAX：022-287-3522

担当者：東北販売部 木田、早坂
建築塗料本部(東京) 笹川

技術番号 157 プース番号 C-54 **バイオエクストロン工法・アーメックス工法** 復旧・復興 技術番号 157 プース番号 C-54

株式会社 中部安全施設



バキューム付
サーフェスクリーナ

沈殿汚泥濾過装置



○バイオエクストロン高圧洗浄及びバキューム回収による除染効果
○アーメックスウエットブラスト及びバキューム回収による除染効果

○バイオエクストロン水溶液の高圧洗浄とバキューム回収による除染効果・水溶液の衝撃力、動圧、脈動負荷、キャビテーション現象、くさび効果等の物理的効果・イオン結合効果・フリージング効果・界面活性効果
○アーメックスウエットブラストとバキューム回収の除染効果・研掃、研磨、剥離等の物理的効果・対象物表面に与えるダメージが極めて少ない効果・界面活性効果

●部署：株式会社 中部安全施設 環境事業部 ●TEL：0594-21-4504 ●FAX：0594-22-5314
●URL：http://www.chuan.jp ●営業時間：8:00～17:00 担当者：渡邊一三、渡邊一史

技術番号 158 プース番号 E-02 **まちづくり事業の展開** 復旧・復興 技術番号 158 プース番号 E-02

長大グループ
基礎地盤コンサルタンツ株式会社

スマートシティ構想例(弘前市)



再生可能エネルギーを活用したスマートシティコンセプトによる「まちづくり事業」を展開します。

地域の活性化のために再生可能エネルギーを用いたスマートシティ構想をベースに、地域のエネルギー政策や公共施設への電力の供給等を総合的に検討し具体化方策を評価する。再生可能エネルギーには風力発電、太陽光発電、地熱発電などがありこれらのエネルギーを、地域に供給し、地域の産業や農業事業育成のために利用する、いわゆる地産地消で活用しまちづくりを行う。

施工実績 平成24年度弘前市スマートシティ共同研究業務（青森県弘前市）

●部署：基礎地盤コンサルタンツ株式会社 新エネルギー開発部 ●TEL：03-6861-8848 ●FAX：03-6861-8894
●URL：http://www.kiso.co.jp ●営業時間：9:00～17:00 担当者：青野史規、古川武志

技術番号 159 プース番号 F-04 **トリアス（応急用橋梁）** 復旧・復興 技術番号 159 プース番号 F-04

IHI IHIグループ



トリアス（応急組立橋）は独自に開発した緊急施工性、経済性の高い汎用型組立橋梁です。

どんな場所でも簡単に架設できるトリアスは、あらかじめ工場で橋桁用のパネルを作り、現地で橋の長さ、幅に合わせて組み上げる仮橋です。同じ大きさのパネルを用いることで、現地での架設手順の統一化が図られ、架設の工事期間を大幅に短くできることから、地震、大雨やがけ崩れに伴い発生した道路損壊、橋梁損壊の迂回路、災害復旧時の仮橋として、迅速に重要な生活道路を確保します。弊社ではこのトリアスを鉸桁タイプとトラスタイプを保有することで、応急組立橋としてどのような現場でも簡単に、しかも短期間に車両や歩行者を通せる橋を提供できます。架設が容易で安心して多方面にトリアスをご使用いただけます。

●部署：株式会社 IHI インフラ建設東北支店 ●TEL：022-266-8658 ●FAX：022-223-7962
●営業時間：8:30～17:30 担当者：秋山好広

技術番号 160 プース番号 F-30 **ソイルセパレータ・マルチ工法による津波堆積物の分級・リサイクル技術** 復旧・復興 技術番号 160 プース番号 F-30

東亜建設工業
TOA CORPORATION



ソイルセパレータ・マルチ工法（設備）

浚渫土砂から砂分、シルト分を分離（分級）し、建設材料としてリサイクルする技術を津波堆積物の分級に初採用

「ソイルセパレータ・マルチ工法」による津波堆積物の処理では、加水によって木片やビニール片、プラスチック片などが洗浄及び比重分別されます。従来の工程に、細かいがれきやごみを分別・回収する工程を新たに加え、ほぼ完全にそれらを除去することが可能となりました。分級処理後の粘土分を含んだ泥水も、凝集沈殿および脱水処理を行い、その安全性が確認されている場合、セメント処理などで盛土用などの復興資材として有効利用できます。

施工実績 宮城県気仙沼市内で津波堆積物分級の実証実験を実施

●部署：東亜建設工業(株) 東北支店土木部 ●TEL：022-262-6513 ●FAX：022-261-1338
●URL：http://www.toa-const.co.jp/ ●営業時間：9:00～17:30 担当者：土木部工事課 鈴木雅樹

技術番号
161

ブース番号
F-30

マジックボールによる水域除染技術

復旧・復興

技術番号
161

ブース番号
F-30



水域における放射能汚染底泥の除去技術

陸域の汚染物質は降雨などにより、やがては水域に移行し、最終的には水域の底泥に集積されます。そして、水域が農業用ため池であれば耕作地の再汚染に、漁場（湖や海域）であれば採餌を通じて魚類の汚染につながりかねません。このような汚染の拡散を防止するためには、水域に集積した汚染底泥を除去することが最も効果的です。当社は国立大学法人福島大学と共同で、当社がダムなどの貯水池、調整池の堆砂除去用に開発した「マジックボール」の形状を改良、セシウムによって汚染された水域の底泥除去技術を確立し、福島県川内村のため池における実証試験により、その効果を確認しました。

施工実績 福島県川内村の農業用ため池で実証試験を実施

●部署：東亜建設工業(株) 東北支店土木部
●URL：http://www.toa-const.co.jp/

●TEL：022-262-6513 ●FAX：022-261-1338
●営業時間：9:00～17:30

担当者：土木部工事課 鈴木雅樹

技術番号
162

ブース番号
G-07

NETIS：CG-010007-V
FRP製格子状受圧板「グリーンパネル」

復旧・復興

技術番号
162

ブース番号
G-07



FRP製 鉄筋挿入工用受圧板「グリーンパネル」

グリーンパネルに使用されている、FRP（Fiber Reinforced Plastics：ガラス繊維強化プラスチック）は、軽量・強靱・耐腐食などに優れた特性から建設産業・航空産業など様々な分野に用いられております。グリーンパネルはダイクレが長年FRPグレーチングの製造で培った技術を生かし開発した、鉄筋挿入工用の受圧板です。

施工実績 施主：国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所
工事名：石川原地区道路改良工事（平成24年11月納入・グリーンパネル167枚）

●部署：株式会社ダイクレ 東北営業所
●URL：http://www.daikure.co.jp/

●TEL：022-266-8070 ●FAX：022-266-0377
●営業時間：9:00～18:00

担当者：松見、岡本、橋本、高野

技術番号
163

ブース番号
H-03

NETIS：TH-100019-A
再生骨材Mを用いたPCa製品

復旧・復興

技術番号
163

ブース番号
H-03

宮城大学 食産業学部環境システム学科

再生粗骨材Mをプレキャストコンクリートに限定利用すれば、寒冷地でも利用可能。震災がれきの応用も可能。



再生粗骨材 M



PCa 製品

本製品は、簡易的破砕機で製造し、耐凍性を有する再生粗骨材Mとアルカリシリカ反応対策として混合セメントを併用したプレキャストコンクリート製品であり、路面排水溝への利用を可能にした。これにより、現在、地下構造物のみに限定されている再生粗骨材Mが普通製品へ利用可能となる。

施工実績 宮城県農政部他

●部署：宮城大学 食産業学部環境システム学科 ●TEL：022-245-1426

担当者：教授 北辻政文

技術番号
164

ブース番号
H-05

港湾・空港における津波・地震対策技術

復旧・復興

技術番号
164

ブース番号
H-05

東北地方整備局 港湾空港部

東日本大震災の被害を踏まえた 港湾・空港における津波・地震への最新対策技術を紹介します。



防波堤水理模型実験

東日本大震災の津波により、港湾や空港など沿岸部における土木構造物は大きな被害を受けました。

そこで、今回の震災をふまえて地震津波対策として最大級の津波においても大きく壊れない、防波堤のねばり強い構造について、模型実験により得られた知見や、施工方法、設計方法についてご紹介いたします。

また、東北地方の沖合約20kmに設置されているGPS波浪計を用いた「新たな津波情報の伝達方法」についてもご紹介いたします。

●部署：東北地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

●TEL：022-716-0004

●FAX：022-716-0017

担当者：古玉 悟

技術番号
165 プース番号
I-14 NETIS : CB-010015-V

薄型水路

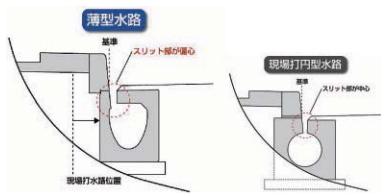
復旧・復興

技術番号
165 プース番号
I-14

ゴトウコンクリート株式会社

トンネル専用として全国実績が300kmを超えた、コスト縮減・省スペース水路。

薄型水路は一般的に使用されているプレキャスト円形水路に比べ、製品価格で約42%の大幅なコスト縮減が可能です。また集水用スリットを中心から監視員通路側へ偏心させたことにより、円形水路でインパルト部に当たってしまう場合でも、薄型水路は離れた位置に水路を布設することができます。管路スペースをより広く確保することが可能であり、トンネル断面を小さくすることが可能なケースもあります。施工はパーフェクトジョイント工法で、一日約150m以上施工可能です。通水断面は卵形形状を採用したことにより、水理性を向上させました。特に流量が少ないときに流速が速く、メンテナンス頻度の軽減、ランニングコストの削減ができます。



施工実績 普代バイパス 普代トンネル、阿武隈東道路 松ヶ房トンネル、荻平トンネル、日沿道 大茂内第二トンネル、雪沢第二トンネル、雪沢第一トンネル、津軽ダム県道付替 湯ノ沢トンネル、東北縦貫道八戸線 岩渡トンネル、山形自動車道 笹谷トンネル、秋田県 戸賀トンネル

●部署：ゴトウコンクリート株式会社 東京営業所
●URL : <http://www.goto-con.co.jp>

●TEL : 03-5974-3252
●営業時間 : 9:00~17:00

●FAX : 03-5974-3435

担当者：鈴木健太郎

技術番号
166 プース番号
I-14 NETIS : CB-070003-A

トンネルウォール

復旧・復興

技術番号
166 プース番号
I-14

ゴトウコンクリート株式会社

トンネル用プレキャスト監視員通路壁。75%の大幅な工期短縮が可能。

従来の監視員通路壁は現場打ちが一般的で、鉄筋組立、型枠設置、生コン打設、脱型、養生などの工程で施工していました。トンネルウォールはプレキャスト化することでこれらの工程を短縮でき、従来の1/4程度の工期で施工可能です。1,000mの場合、40日掛かっていたものが10日で施工できます。昇降用ステップ付き、非常駐車帯などの役物もご用意しており、現場打ちする必要はありません。また、現場打ちに比べ施工に必要な作業スペースを大幅に縮小できるため、他の工種の妨げになりません。底板長は600・450・250と3段階調整できるため、トンネル断面が小さくても対応可能で、現場打ちに比べ管路スペースをより広く確保できます。


●部署：ゴトウコンクリート株式会社 東京営業所
●URL : <http://www.goto-con.co.jp>

●TEL : 03-5974-3252
●営業時間 : 9:00~17:00

●FAX : 03-5974-3435

担当者：鈴木健太郎

技術番号
167 プース番号
I-19

3D-MC D31PX ブルドーザ (TSシステム)

復旧・復興

技術番号
167 プース番号
I-19
KOMATSU コマツ建機販売株式会社 東北カンパニー
**施工効率・精度・安全性が大幅に向上。
環境負荷低減にも貢献する『コマツの情報化施工システム』**


3D (三次元) MC (マシンコントロール) はトータルステーションや人工衛星による方法でリアルタイムにブレードなどの作業機の位置を計測し、システムが油圧を制御して作業機を設計データ通りの平面位置、高さ、勾配に自動でコントロールする方式です。TSシステムでは、ブルドーザのブレードに設置したプリズムを、自動追尾トータルステーションで測位し無線で車輦に測位情報を発信。ブルドーザに搭載したシステムが施工設計面とブレードの位置を比較し自動でブレードを制御します。このシステムは比較的工期の短い現場や小規模な現場で導入しやすく、また山間部やトンネル、都市部など上方視界の悪い現場においても幅広く活用できるシステムです。

●部署：コマツ建機販売株式会社 東北カンパニー マーケティング部販売推進グループ
●FAX : 022-236-3563

●TEL : 022-237-7443
●URL : <http://komatsu-kenki.co.jp>

●営業時間 : 8:30~17:30

担当者：鈴木、佐々木、内山

技術番号
168 プース番号
I-19

3D-MG 油圧ショベルPC200 (GNSSシステム)

復旧・復興

技術番号
168 プース番号
I-19
KOMATSU コマツ建機販売株式会社 東北カンパニー
**施工効率・精度・安全性が大幅に向上。
環境負荷低減にも貢献する『コマツの情報化施工システム』**


3D (三次元) MG (マシンガイダンス) は人工衛星による方法で、リアルタイムに作業機の位置を計測し、システムが車載モニタを通じてオペレータに作業機の位置情報、施工情報などを提供し、オペレータの操作 (作業機操作) をサポートする方式です。GNSSシステムでは2つのGNSSアンテナから得られる測位情報を基に、車輦に装備された4つのチルトセンサからの情報で、バケット刃先位置をリアルタイムに表示。オペレータはバケット刃先の座標と施工設計面についてモニタを介して把握が出来ます。このシステムはダム、造成、道路等、施工範囲が広く大規模な施工現場に適しています。

●部署：コマツ建機販売株式会社 東北カンパニー マーケティング部販売推進グループ
●FAX : 022-236-3563

●TEL : 022-237-7443
●URL : <http://komatsu-kenki.co.jp>

●営業時間 : 8:30~17:30

担当者：鈴木、佐々木、内山

技術番号 169 ブース番号 I-20 NETIS: TH-090005-A
ポリゴンドラムローラ

復旧・復興

技術番号 169 ブース番号 I-20

東日本コベルコ建機株式会社
厚層締固めに有効な多角形振動ローラ


- ・通常の振動ローラが円形ドラムであるのに対し、多角形のドラムを振動ローラに搭載することにより、より深部へ振動ローラの転圧エネルギーを伝播することができ、厚層締固めが可能となりました。
- ・多角形状のプレート部とエッジ部の連続効果により、振動ローラの転圧エネルギーを深部まで効率よく伝播させることが可能となりました。（プレート部は地面に垂直にエネルギーを伝播し、エッジ部は表面が固化するのを防ぎます。）これにより、円形ドラムに比べ、厚層の締固めが可能となり、工期の短縮が期待出来ます。

施工実績 鏡石道路改良工事（南三陸町入谷地内） 発注者：東北地方整備局 仙台河川国道事務所
 施工者：株式会社佐藤工務店

●部署：東日本コベルコ建機株式会社：販売促進部
 ●URL：http://www.kobelco-kenki.co.jp

●TEL：047-328-7117
 ●営業時間：8:30～17:00

●FAX：047-327-7068

担当者：小田桐 馨

技術番号 170 ブース番号 I-20 NETIS: KK-100065-A
AIS 機能付バックホウ

復旧・復興

技術番号 170 ブース番号 I-20

東日本コベルコ建機株式会社
**ハイブリッドショベルSK200H
 オートアイドルストップ機能搭載油圧ショベル**


アイドリングを自動停止させるAIS機能。操作レバーロックの状態が続くとエンジンを自動停止させるオートアイドルストップ機能。待機時のムダな燃料消費をなくするとともに、CO₂排出量を抑えます。また、無人機の安全確保、騒音低減など様々な効果が期待出来ます。加えて、ハイブリッドショベルSK200Hは、低燃費の実現、オフロード法2011年基準値適合の新型エンジンや大容量ROPSキャブなど、AIS機能の他にも随所に数多くの新開発技術を採用しています。

●部署：東日本コベルコ建機株式会社：北海道・東北支社
 ●URL：http://www.kobelco-kenki.co.jp

●TEL：0223-24-1141
 ●営業時間：8:30～17:00

●FAX：0223-24-4694

担当者：小野清和

技術番号 171 ブース番号 I-21
パブリックトイレ

復旧・復興

技術番号 171 ブース番号 I-21

横江コンクリート株式会社
公衆トイレをプレキャスト化。工期の短縮・品質の確保を実現します。


【工期短縮】設計、施工の効率化を実現。工期短縮はもとより現場に余分な資材を持ち込まないため、施工現場の美観保持、廃棄物抑制などにも貢献します。
 【施工が簡単】運んだトイレはクレーンで吊って据付け、配管するだけですぐに公衆トイレとして使用できます。
 【自由なオーダー】基本設計の中でパターン化された商品ですが、ニーズにあわせてプランを選べます。

施工実績 石巻市「日和山公園」 ＊キュービックストイレ3棟（男性用・女性用・多目的用各1棟）

●部署：開発営業課
 ●URL：http://www.yokoe.info

●TEL：0229-52-3935
 ●営業時間：8:00～18:00

●FAX：0229-52-2321

担当者：佐藤智昭、横江重徳

技術番号 172 ブース番号 I-21
スマートウォール

復旧・復興

技術番号 172 ブース番号 I-21

横江コンクリート株式会社
プレキャスト製で基礎一体型となったコンクリート塀。


【安全安心】基礎一体形状とすることで、地震時の転倒・倒壊を防ぎます。
 【工期短縮】工場生産のため、天候に左右されず仕上がりきれいです。また、重機施工をすることにより工期短縮にも貢献します。
 【景観への配慮】様々な化粧を施すことによって、従来のコンクリート塀にはなかった美観・仕上りを実現いたします。

施工実績 石巻市「日和山公園」 ＊キュービックストイレ3棟（男性用・女性用・多目的用各1棟）

●部署：開発営業課
 ●URL：http://www.yokoe.info

●TEL：0229-52-3935
 ●営業時間：8:00～18:00

●FAX：0229-52-2321

担当者：佐藤智昭、横江重徳

技術番号 プース番号 NETIS:KT-100053-A

173

I-22

プラロード工法（簡易仮設道路資材）

復旧・復興



旭洋設備工業株式会社


山形県鶴岡市
日本海自動車道(矢野地区)道路工事
プラロード使用状況

NETIS登録工法。簡易仮設材として広範囲に利用。クロスウェーブを使用する簡単な施工。軟弱地盤でも上部に敷鉄板を敷く事で重機・車両の通行が可能に！

- ①コンパクトな集積運搬でCO₂を大幅削減。
- ②1枚あたり7kg以下と軽量。交互に重ねていくだけの簡単な構造で人力施工。
- ③耐圧に非常に強く、上部に敷鉄板を敷設することで重機・車両の通行も可能。
- ④後整地が不要のため水田等、耕作地などへの使用は最適。

施工実績 山形県：高速道路建設工事において仮設道路として使用
宮城県：国道改良工事において仮設道路として使用
福島県：送電線工事において水田に仮設道路として使用 他 実績多数

●部署：本社営業部
●URL：http://www.kyokuyo-co.co.jp/

●TEL：022-279-0322
●営業時間：8:30～17:00

●FAX：022-279-0346

担当者：後藤智則、及川博仁

技術番号 プース番号

174

I-23

再利用・移動可能な“復興作業用宿舎”

復旧・復興



NOHARA 野原産業株式会社



ユニットハウスを利用した住居施設のパッケージ提供

復興活動に不足している作業員宿舎を遊休地に一定期間設営し、設置期間終了後は、移動・移設またはユニットを組み直して個々に事務所や倉庫などに再利用が可能です。宿舎棟48室を基準として、食堂棟・浴室シャワー棟・トイレ棟・ランドリー棟・管理棟といった付属施設を含めたパッケージ提供を行い、被災地復興のお役に立ちたいと思っております。設置を検討されている敷地に、パッケージの中から条件に応じたユニットを必要な数だけ選びレイアウトさせて頂きます。

●部署：東北復興対策本部
●URL：http://www.nohara-inc.co.jp

●TEL：022-782-3802
●営業時間：9:00～18:00

●FAX：022-782-3805

担当者：佐々木克好、原田 守